

シタル如キハ之ヲ無効トシテ可ナリ又勳章ヲ佩用スル罪ノ如キ別ニ刑ノ設ケアレハ殊ニ本條ヲ要セス又兵籍ニ入ル權及證人トナル權ノ如キハ畢竟義務ト云フヘクシテ權利ト云フヲ得サルモノナリ故ニ附加刑ノ執行ヲ遁レタル者ハ民事上無効トスルノミニシテ別段刑ヲ加ヘスシテ可ナラン歐洲各國ノ法律ニ於ケルモ斯ル刑ヲ設クルヲナシ獨リ伊太利刑法草案ニ此刑アルヲ見ルノミ以上ハ立法上ヨリ論述シタルモノニシテ成文法ニ從フキハ前ニ述ヘタル解釋ニ從ハサルヲ得ス而シテ本條ノ刑甚タ重シ今之ヲ囚徒逃走ノ罪ニ比スルニ彼レハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニシテ本條ノ刑ハ一月以上一年以下ノ重禁錮二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加セリ斯ク重クセシ所以ヲ考フルニ逃走ノ罪ヲ犯ス者現ニ縲紲苦界ニ呻吟シ常ニ身ノ勞役ヲ避ントスルハ人情ノ自然ニ出ツルモノニ

シテ憫諒スヘキ所アリ本條ノ罪ハ然ラス又官署ニ於テ公權ヲ行フヲ防クハ獄内ノ囚徒ヲ監守スルニ比スレハ難ク又之ヲ犯スモ容易ナリ故ニ其刑ヲ重クセシモノナラン

本條ノ刑ヲ重禁錮トセシハ妥當ナラサルカ如キノ感アリ元來本條ノ罪タル其性質國事犯ニハアラサレモ亦國民ノ權利ニ關スル罪ヲ犯シタルモノナレハ或ハ之ヲ輕禁錮ニ處スルヲ適當ナリトセンカ

### 第一百五十五條 監視ニ附セラレタル者其規則ニ違背

シタル時ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

本條ハ監視ノ刑ヲ執行スルニ關スル條ナリ元來監視ハ必要ノ刑ナレモ其善良ナル結果ヲ生スルト却テ惡ムヘキ結果ヲ生スルトハ之ヲ行フ方法如何ニアリ佛國ニ於テハ學者大ニ其執行方法ヲ簡易ニセシテ論辨セリ若シ此刑ヲシテ屢々警察署ニ出頭セシメ詳カニ

(第一百五十五條)



之レカ調査ヲ受ケシムルカ如キ嚴密ナル執行方法ヲ設ケハ受刑者ハ爲メニ世人ノ信用ヲ失シ世人ハ其罪人タルヲ忌避スルヨリ遂ニ之ヲ備使スル者ナク其職業ニ從事スルノ道ヲ失シ饑寒交々迫リ遂ニ已ムヲ得スシテ再ヒ惡念ヲ生シ法網ニ罹ルノ慘狀ヲ生スルニ至ラン又幸ニ此點ニ至ラサルモ執行方法精密ナルキハ本條ノ罪ヲ犯ス者多クシテ監視ハ罪人ヲ生スルノ門戸タルニ至ラントス恐レサレ可ケンヤ

第二百五十六條 前二條ノ罪ハ其刑期限内再ヒ犯シタル時ニ非サレハ再犯ヲ以テ論スルヲ得ス

本條ハ第四百十三條ト同文法ニシテ再犯ヲ以テ論セスハ再犯トセサルニ非ス再犯ヲ理由トシテ加重セサルノ義ナリ

第五節 私ニ軍用ノ銃礮強藥ヲ製造シ及ヒ所有

スル罪

凡ソ政府ニシテ能ク國家ノ維持ヲ謀ルニ於テハ兵器彈藥ノ製造ヲ以テ政府ノ獨占ニ歸セサル可カラス政府ノ此權ヲ獨占スルハ大ニ公ケノ安寧ヲ保護スルニ必要ナルモノナレハ立法者ハ人民ヲシテ此權ヲ侵サ、ラシメンカ爲メニ之ヲ侵ス者ニ對シテ嚴刑ヲ科セサルヲ得ス是レ本節ノ生スル所以ナリ而シテ本節ノ罪ハ屢々他罪ノ豫備タルトアリト雖モ本法ハ爰ニ兵器彈藥ノ製造所有ヲ以テ國事犯ノ豫備ノ所爲ト看做セルニ非ス若シ此製造所有ニシテ國事犯ノ性質ヲ含有スルキハ第二百二十五條ヲ適用スヘキモノトス只其兵器ヲ使用スル目的ノ確證ヲ得ルハ常ニ難カルヘキノミ

第二百五十七條 官命ヲ受ケス又ハ官許ヲ得スシテ陸海軍ノ用ニ供スル銃礮彈藥其他破裂質ノ物品ヲ製

(第二百五十六條) (第二百五十七條)



造シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ヲ附加ス其之ヲ輸入シタル者亦同シ

前項ノ物品ヲ私ニ販賣シタル者ハ一月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ハ製造輸入及ヒ販賣ノ三者ヲ罰ス然レモ販賣者ハ其刑ヲ異ニセリ

陸海軍ノ用ニ供スルトハ軍用ニ供ス可キモノト云フノ意ナリ軍用ニ供ス可キ物件トハ如何ナルモノヲ云フカ判然セスト雖モ凡テ軍事ニ用ユルモノハ皆軍用ニ供ス可キモノナリ故ニ彼ノ短銃ノ如キ小器ナリト雖モ憲兵ノ携帯スル所ノモノナレハ軍用ニ供スルモノナリ又大ナリト雖モ彼ノ和銃又ハ獵銃ノ如キハ軍用品ニ非サルナ

第二百五十八條

前條ノ罪ヲ犯スト雖モ職工又ハ雇人

ニシテ止タ正犯ノ使令ニ供シタル者ハ各本刑ニ照

シ二等ヲ減ス

凡ソ正犯ノ使令ニ供シタル者ハ從犯ニシテ一等ヲ減スレハ本條ノ明言ヲ待タスシテ既ニ總則ニ於テ明瞭ナリ然ルニ故ラニ茲ニ記載シタルモノハ蓋シ立法者ノ意正犯ノ指令ニ供シタルニアラス主人即チ犯人ノ命ニ供シタルモノニシテ其雇人職工モ皆正犯ナレモ尙ホ之ニ二等ヲ減スルノ意ナリ若シ然ラストセハ立法者ノ本條ヲ設ケタルハ解ス可ラサルナリ

然ラハ單ニ器具等ヲ供給セシ者ハ從犯ナルヲ以テ總則ニ因リ一等ヲ減セン乎從犯ノ刑却テ正犯ノ刑ヨリ重キ場合ヲ生スルヲアラン

(第二百五十八條)



第百五十九條 前二條ノ罪ヲ犯サントシテ未タ遂ケ

サル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

本條ハ講スヘキナシ

第百六十條 第百五十七條ニ記載シタル物品ヲ私ニ

所有シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ第百五十七條ニ記載シタル物品ヲ所有シタルノミヲ以テ罰  
ス該物品タル社會ニ最大危險ヲ生シ且ツ他ノ犯罪ヲ爲スニ便利ヲ  
與フルモノナレハナリ茲ニ所有トアルニ因リ他人ノ物件ヲ借用シ  
或ハ附托ヲ受ケ之ヲ所持スルモ自己ノ所有ニ非サル以上ハ罪トナ  
ラサルナリ

第百六十一條 第百五十七條ニ記載シタル物品ノ製

造ニ供シタル器械ニシテ單ニ其用ニ供ス可キ者ハ  
何人ノ所有ヲ問ハス之ヲ沒收ス

凡ソ社會ニ最大損害ト危險ヲ與フル物件ヲ禁止スルハ常ニ製造ト  
所有及ヒ携帯ノ三個ニアリ本節ハ製造所有ヲ禁スルノミニシテ携  
帶ノ文字ナシ原案ニハ之ヲ記載シタリ彼ノ偽料ノ如キハ製造ト所  
有トヲ禁セス只販賣ト使用ヲ禁スルノミ又刀劍ハ所有ト製造トヲ  
禁セスシテ携帯ヲ禁スレハ兵器ノ如キハ三個共ニ禁セサル可ラサ  
ルモノナリ

現今我法條ニハ携帯ノ文字ヲ記セサレハ宜シク之ヲ加フルヲ可ト  
スヘシ彼ノ刀劍ノ如キ携帯ヲ禁セラレタレハ裝劍杖ヲ携フルヲア  
リ聞ク近年裝劍杖ノ支那ニ輸出シテヨリ該國人<sup>シコミヅエ</sup>之ヲ用サテ人ヲ害  
スルヲアリト若シ夫レ如斯弊ノ生スルアルモ携帯ノ文字ナキ以上

(第百五十九條)

(第百六十條)

(第百六十一條)



ハ之ヲ罰スルヲ得ス故ニ此等ノ物件ノ携帶ヲ禁スルノ條款ヲ設ク  
ルハ早晚其必要ヲ生スルニ至ラン

(第四十二回)

### 第六節 往來通信ヲ妨害スル罪

何レノ國ヲ問ハス都テ往來通信ハ經濟上社會ノ爲メ實ニ必用ニシ  
テ又上下一般ノ爲メ甚タ貴重ナルモノナリ之レヲ妨害スル者ハ單  
ニ社會ヲ害スルノミナラス道德上ノ罪人ナレハ刑法ニ問ヒ以テ社  
會ノ安寧ヲ保護セサル可ラス是レ本節ノ設ケアル所以ナリ

### 第六十二條

道路橋梁河溝港埠ヲ損壞シテ往來ヲ

妨害シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ  
二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條以下第七十條ニ至ル迄往來通信ノ事ヲ規定セリト雖モ悉ク  
其罪ヲ網羅シタルニアラス此等ノ罪ハ特別法ヲ設ケテ詳細ニ規定  
ナルニアラスンハ到底刑法ノ能ク記載シ盡ス所ニアラス本節ノ如  
キハ唯其重モナル者ヲ掲ケタルニ過キサルナリ

本條ニ道路橋梁河溝港埠云々トアルヲ見レハ此ニ之レヲ限リ其他  
ノモノニ付テハ律ニ明條ナキヲ以テ罰スルヲ得ス故ニ本條ハ能ク  
枚舉シ盡シタリト云フヲ得ス彼ノ渡船塲ノ踏板或ハ足塲ヲ損壞シ  
タル如キハ規定ナキヲ以テ罰スルヲ得サルナリ又本條ニ損壞云々  
トノミアリ若シ通路へ大木石ヲ集積シテ往來ヲ障礙シタル所爲ニ  
付テハ明文ナシ此等ノ所爲損壞ニハ非サレモ其危險ニテ至テハ同  
一ナリ故ニ宜シク正條ヲ設ケテ之ヲ罰セサル可カラサルナリサレ  
ハ本條ノ如キハ港埠等云々ト等ノ字ヲ加ヘテ其範圍ヲ廣フシ且ツ  
(第六十二條)



損壞シ又ハ其他ノ方法ヲ以テ往來ヲ妨害シタル者云々ト記スルヲ可トス

本條ノ罪ハ有意犯ナリ故ニ罪ヲ犯スノ意ナキハ假令道路ヲ損壞スルモ本條ノ問フ所ニアラス是レ理論上ヨリ出ツル所ノ原則ナレ  
凡文章上ヨリ見解ヲ下セハ此區別ナク總則ニ於テ罪ヲ犯スノ意ナ  
キハ其罪ヲ論セストアルノミ前節ノ罪ハ假令官許ヲ得ルヲ遣  
忘シタルカ如キモ元ト無意犯ナルヲ以テ總則ノ原則ニ依ラスシテ  
必ス之ヲ罰セサル可ラス夫レ如此區別アリテ一ニ總則ニ從フ可キ  
モノハミニアラス故ニ立法者ハ之レカ區別ヲ明定スルヲ要ス此區  
別ニシテ明了ナラスンハ前節ノ如キ場合ト混スルノ弊ヲ生スヘシ  
而シテ第六十三條以下ノ如キハ有意ニアラサレハ犯ス能ハサレ  
凡本條ノ如キハ無意ト雖凡偶然ニ犯スヲナシトセス故ニ明文ヲ以

テ判然タラシムルヲ要ス草案ハ故意ヲ以テ道路橋梁云々ト記載シ  
タルカ故ニ此點ハ實ニ明了ナリキ然ルニ審査修正ノ際之ヲ刪除セ  
シハ蓋シ總則ノ原則ニ從ハシムルノ意ナルヘト雖凡前節ノ如キ  
無意犯ノ場合ト混シ易キノ思アルヲ以テ其刪除實ニ惜ム可キヲナ  
リシ

### 第六十三條 偽計又ハ威力ヲ以テ郵便ヲ妨害シ若

クハ之ヲ阻止シタル者ハ亦前條ニ同シ

本條ハ專ラ郵便ニ關スル犯罪ニシテ偽計ヲ以テ郵便ヲ妨害スルト  
ハ本道ノ通路ニ障礙アリテ通行スル能ハサル旨ヲ偽リ郵便脚夫ヲ  
ノ迂路ヲ回ラシメ或ハ其事務ヲ遲滯セシメタルカ如キヲ云フ威力  
トハ暴行脅迫ヲ爲シタルヲ云フナリ佛文章按ニハ暴行脅迫トアリ  
然ルニ本條ハ何故ニ威力ト記シタル乎或ハ威ハ脅迫ニシテ力ハ暴

(第六十三條)



行ノ意ナランカ

本條ノ罪ハ故意ニアラサレハ犯ス能ハス故ニ有意犯タルヲ明ラカニシテ固ヨリ故意ノ文字ヲ置クヲ緊要ト爲サス

本條ハ郵便事務ノヲ規定スレハ其器具ヲ破壊シタル事ノ規定ナシ故ニ郵便馬車ヲ轉倒シ或ハ郵便函ヲ破壊スル如キ妨害ヲ爲シタルキハ如何之レカ明文ナキヲ以テ本條ヲ適用スルヲ得ス然ルニ次條ニ於テハ電信器具ノ事ノミヲ規定スレモ亦偽計威力ノヲ掲ケス電信ヲ配達スル者ハ郵便脚夫ニアラス故ニ此者ニ對シテ偽計又ハ暴行脅迫ヲ爲シ電信ヲ妨害シタルキモ罰スルヲ得サル可シ獨リ郵便ニ之ヲ罰シテ電信ニ之レカ罰ヲ定メサルハ權衡ヲ得サルカ如シ今之ヲ約言セハ郵便ニハ偽計威力ノヲアリテ器具損壞ノヲ規定セハ電信ニハ器具損壞ノヲアリテ偽計威力ノ事ヲ掲ケサルナ

リ

第六十四條 電信ノ器械柱木ヲ損壞シ又ハ條線ヲ

切斷シテ電氣ヲ不通ニ致シタル者ハ三月以上三年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ器械柱木條線ヲ破壊シテ電信ノ妨害ヲ爲スト

雖モ不通ニ至ラサル時ハ一等ヲ減ス

本條第二項ハ恰モ第一項ノ未遂犯ノ如キモノナリ第一項ハ其危險甚タ大ニシテ第二項ハ其害此レヨリ少ク未タ全ク不通ニ至ラサルモノナレハ未遂犯ノ如シ未遂犯ハ總則ニ規定セルヲ以テ故ラニ此ニ一等ヲ減スト明言スルニ及ハス然ルニ之ヲ記載シタルモノ大ニ

(第六十四條)



理由アリテ存ス電信ノ器械ヲ損壞スルハ初メヨリ不通ニ至ラシムルノ目的ニアラスシテ損壞スルヲアリ故ニ此場合ハ不通ニ至ラシムルノ目的ナキヲ以テ不通ニ至ラシムルノ目的アルモノ、未遂犯ト爲スヲ得ス即チ第二項ハ損壞セハ其目的ヲ達シタルモノニテ第一項トハ別罪ナルヲ以テ特ニ之ヲ設ケタルナリ故ニ第二項ハ既遂犯ニシテ別ニ未遂犯アリ

本條ハ有意犯ナリト雖モ無意ニシテ犯スヲナシトセム因テ故意ノ文字ヲ記スルヲ必要トス

第六十五條 瀛車ノ往來ヲ妨害スル爲メ鐵道及ヒ

其標識ヲ損壞シ其他危險ナル障礙ヲ爲シタル者ハ重懲役ニ處ス

瀛車ノ往來ヲ妨害スル爲メトアルヲ以テ故意ニアラサレハ犯ス能ハス故ニ本條ハ有意犯タルヲ明白ナリ若シ妨害ノ目的ナキハ本條ヲ以テ論スルヲ得ス是レ本條ノ文章其宜シキヲ得タルモノニシテ夫ノ第六十二條ノ如キ文章ニアラス故ニ特別ニ故意ノ文字ヲ記スルヲ要セスシテ其有意犯タルヲ瞭々タリ

第六十六條ノ船舶ニ付テハ詐僞ノ標識ノヲ規定シタレモ本條ノ瀛車ニ付テハ此事ナシ瀛車ノ往來ト雖モ同シク種々ノ標識アリ之ヲ規定スルヲ要ス人或ハ曰フ詐僞ノ標識ヲ點示スルノ所爲ハ其他危險ナル障礙ヲ爲シタル者云々ノ中ニ包含セリト是レ決シテ然ラス夫ノ障礙トハ木石ヲ横タヘタル如キ有形ノ所爲ニシテ詐僞ノ如キ無形ノ所爲ニアラサレハナリ

第六十六條 船舶ノ往來ヲ妨害スル爲メ燈臺浮標

(第六十五條)(第六十六條)



其他航海ノ安寧ヲ保護スル標識ヲ損壞シ又ハ詐偽ノ標識ヲ點示シタル者ハ亦前條ニ同シ

本條ハ詐偽ノ標識ノ事ヲ規定スレハ危險ノ障礙ヲ爲スコトニ付テハ之レナシ論者或ハ曰ン渺茫タル海洋ノ中豈此慮アラシヤト然レハ宇宙間ノコト千態萬狀此事ナキヲ期セス彼ノ利根川ヲ往復スル漁船ノ如キ途中水淺ヲシテ船底砂礫ニ摩擦スル所アリト如此ノ場處ニ於テ大石等ヲ投スルアラハ航行ノ障礙ヲ爲シ其危險實ニ甚シカルヘシ是レ之ヲ本條ニ規定セント望ム所以ナリ

其他航海ノ安寧ヲ保護スル云々トアレハ河川江湖ニ於テ妨害ヲ爲シタルハ如何本條ヲ適用スルヲ得ス故ニ航行ト改ムルヲ可ナリト思考ス

斯ク文字上ニ付キ論シ來ルハ甚タ些細ノ事ノミニ拘泥スルカ如ク

ナレハ凡ソ刑法ハ一字一點ノ有無ニ由テ適用スルト否ヤトノ別ヲ生スルヲ以テ頗ル詳密ニ論スルヲ緊要トス

第六十七條 前數條ニ記載シタル罪其事務ニ關スル官吏及ヒ雇人職工自ラ犯シタル時ハ各本刑ニ照シ一等ヲ加フ

本條ハ其事務ニ關スル官吏及雇人職工ノ如キ自ラ其職ニ在リテ之ヲ犯スカ故ニ道德ニ悖戻スル甚タシク且ツ之ヲ犯スニ容易ナルヲ以テ其刑ヲ重クセシハ適當ナリト云フヘシ

第六十八條 第六十二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ殺傷シタル者ハ殴打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

(第六十七條) (第六十八條)



第六十二條ノ罪ヲ犯シテ人ヲ殺傷シタル者ハ之ヲ毆打創傷ノ各  
本條ニ照シ重キニ從テ處斷ストアルハ甚タ至當ナリト雖モ然レモ  
毆打ハ時トシテ其刑却テ輕キコトアリ草按ニハ豫メ謀テ人ヲ毆打創  
傷シタルノ例ニ照シ重キニ從テ處斷ストアリタリキ

本條ハ單ニ第六十二條ノ罪ヲ犯シテ人ヲ殺傷シタル場合ノミチ  
豫見シ第六十五條及ヒ六條ノ罪ヲ犯シ人ヲ創傷シタル場合ヲ規  
定セス論者或ハ曰フ此事タル第六十九條ヲ以テ論ス可シ何ソ本  
條ニ之ヲ記スルヲ要センヤト然レモ第六十九條ハ顛覆々沒シタ  
ルト人ヲ死ニ致シタル時トテ規定シタルノミニシテ創傷ノ事ナシ  
故ニ顛覆沒セスシテ只人ヲ創傷シタルモ第六十五條六條ニ  
依テ罰スルノミニシテ創傷ノ點ヲ問フヲ得ス不權衡ト云フヘキカ  
如シ殊ニ瀛車ノ如キハ劇シク衝突セハ假令顛覆セサルモ瀛車ヲ損

壞シ或ハ人ヲ死ニ致シ又ハ創傷セシムルコトアリ豈顛覆ト致死ノ場  
合ノミニ限ランヤ故ニ我輩ハ本條ニ之レカ規定アランコト望ムナ  
リ

第六十九條 第六十五條第六十六條ノ罪ヲ犯

シ因テ瀛車ヲ顛覆シ又ハ船舶ヲ覆沒シタル時ハ無  
期徒刑ニ處シ人ヲ死ニ致シタル時ハ死刑ニ處ス

本條ノ件ハ重大ニシテ其刑重キハ至當ナレモ障礙ノ爲メニ瀛車線  
路ヲ脱シ又船舶ヲ沙洲或ハ暗礁ニ乗上ケタル事ノ規定ナシ如此場  
合ト雖モ其危險ナキニ非サルナリ

第七十條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシ

テ未タ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス

(第六十九條) (第七十條)



## 第七節 人ノ住所ヲ侵ス罪

人ノ住所ハ尤モ重キモノニシテ其貴重ナル恰モ國家ノ城廓ニ於ケルカ如シ歐洲ニ於テハ古昔羅馬時代ヨリ人ノ住所ハ貴キモノトナシ佛國ノ如キハ住所侵ス可カラサルヲ憲法中ニ規定シタリ元來正當ノ理由ナクシテ人ノ住所ニ入ルヘキモノニ非ス故ニ本節ノ罪ヲ生セリ若シ故ナク人ノ住家ニ入ルキハ其意蓋シ盜ヲ爲サントスルノ目的ナル乎然ルキハ竊盜ノ未遂犯ヲ以テ論スルヲ得ヘシト雖モ時トシテハ之ヲ以テ論スルヲ得サルヲアリ姦通ヲ爲サンカ爲メ入りタル乎又ハ暗殺センカ爲メニ入りタル乎或ハ其目的判然トスルヲ得ス此場合ハ則チ本節ノ罪ヲ以テ論ス可キモノナリ

立法者ノ本節ヲ設ケタルハ蓋シ右ニ述フル所ノ者ニ適用センカ爲

メニ此法條ヲ規定シタルモノナレモ官吏ノ恣ニ人ノ住所ヲ侵シタル時モ亦之ヲ適用セサルヲ得ス佛國ハ別ニ之ヲ定メタルノ條款アレモ我刑法ハ此事ナシ故ニ本節ヲ以テ罰セサル可ラサルナリ

## 第七十一條 晝間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ

人ノ看守シタル建造物ニ入りタル者ハ十一日以上六月以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ左ニ記載シタル所爲アル時ハ一等ヲ加フ

一 門戶牆壁ヲ踰越損壞シ又ハ鎖鑰ヲ開キテ入りタル時

二 兇器其他犯罪ノ用ニ供ス可キ物品ヲ携帯シテ入

(第七十一條)



リタル時

三 暴行ヲ爲シテ入りタル時

四 二人以上ニテ入りタル時

晝間トハ日出ヨリ日没ニ至ル白日ノ間ニシテ晝夜ニ長短ノ別アレ  
 ハ初メヨリ其時間ヲ限ル能ハサルナリ  
 故ナクトハ正當ノ理由ナクシテ人ノ住居ニ入り其申開キヲ爲ス能  
 ハサルキチ云フモノナリ斯ク解釋ヲ下セハ意義明瞭ナルカ如クナ  
 レモ尙ホ不充分ナルヲ免レス例ヘハ今本校ノ廊下ニ入り來ル者  
 アランニ其無斷ニシテ入り來ルヲ答メハ誰某ヲ尋テソカ爲メナリ  
 ト云ヒ其實或ハ盜ヲ爲サントスルノ意ナリシヤ知ル可ラス又人ノ  
 裏口ヨリ入り來ルアリ之ヲ答ムレハ足下ニ面會セン爲メナリト云

ヒ或ハ誰某ノ家ハ何處ナリヤト云フカ如キ遁辭ヲ設ケハ本條ハ之  
 ナ如何トモスル能ハサル可シ此レヲ以テ見レハ本條ハ解釋ニ困マ  
 サルヲ得ス原案ニハ晝間故ナク竊ニ入りタルキトアリ竊ゴトハ法  
 律ノ許サマル方法ヲ以テ人ノ住居ニ入りタル場合ナリ人ノ住所ニ  
 入ルニハ其案内ヲ請ハサル可ラス然ルニ之レカ手續ヲ盡サスシテ  
 入りタル者ハ即チ竊ニ入りタルナリ故ニ竊ニノ文字ヲ加フレハ法  
 文モ明瞭ニシテ且ツ至當ナルカ如シ

治罪法第百一條第三項ニ在ル如ク家宅内ニ於テ犯シタル罪ヲ檢證  
 スル爲メ又ハ其犯人ト思料ス可キ者ヲ逮捕スル爲メ家主ヨリ官吏  
 ニ其處分ヲ請求シタルキニ非サレハ現行犯ノ時ト雖モ巡查ハ恣ニ  
 人ノ住居ニ入ルヲ得ス同第百二條ニ逮捕スヘシトアレモ只逮捕ス  
 ルニ止マリ恣ニ人ノ邸宅ニ入ルヲ得サルナリ又第百二十五條ニ召

(第百七十一條)



喚テ受ケタル被告人住宅ニ居ルモ出廷スル能ハサル時ハ判事其所  
在ニ就テ之ヲ訊問スルコトヲ得可シ第三百三十三條モ巡查ハ強テ其家  
宅ニ入ルヲ得ヘシ其他第五百五十八條第二百一條三條五條ノ如キ場  
合ハ官吏人ノ住居ニ入ルコトヲ許シタルモノニシテ其他ハ皆本條ヲ  
以テ論セサル可ラス故ニ人ノ住居ニ入ルモノ公然ニアラスシテ竊  
ニ入りタルモハ朋友知己ト雖モ罪ナキニアラサルナリ  
斯ク治罪法ノ諸條ヲ枚擧スルモ尙官吏ニ人ノ住居ニ入ルヲ許シタ  
ル例外ノ場合アルヤ未タ知ル可ラスト雖モ予ノ見ル所ニ依レハ右  
ニ述ヘシ所ニ過キサルナリ  
草按ニハ家主又ハ看守人ノ制止ヲ肯セスシテトアリ刑法ニハ之レ  
カ明文ナシ故ニ人ノ園庭ヲ一覽センカ爲メ入りタル如キ者モ罪アリ  
トモセサルヲ得サルカ如キノ不都合アラソ或ハ草按ニ倣ヒ制止ヲ

肯セストノ明文ヲ加フルヲ可トセンカ

第七十二條

夜間故ナク人ノ住居シタル邸宅又ハ  
人ノ看守シタル建造物ニ入りタル者ハ一月以上一  
年以下ノ重禁錮ニ處ス

若シ前條ニ記載シタル加重ス可キ所爲アル時ハ一  
等ヲ加フ

夜間ハ人ノ安息ヲ要スル時ニシテ更ニ監察ヲ爲シ難ク又罪ヲ犯ス  
ニ容易ニシテ其危険モ晝間ニ勝ル故ニ法律上ニ於テ一層之レカ安  
寧ヲ保護セサル可ラス而シテ夜間住所ヲ侵ス者多クハ他罪ヲ犯ス  
ノ階梯タルヲ免カレス是レ其刑重キ所以ナリ

第七十三條

故ナク皇居禁苑離宮行在所及ヒ皇陵

(第七十二條)(第七十三條)



内ニ入りタル者ハ前二條ノ例ニ照シ一等ヲ加フ

本條ハ皇室ノ尊榮ヲ保護セシメカ爲メニ通常ノ刑ニ一等ヲ加ヘタルモノナリ

### 第八節 官ノ封印ヲ破棄スル罪

本節ハ官ニ於テ施シタル封印ヲ破棄シタルノ罪ナリ封印ヲ施ス事ハ竊取ヲ豫防スルニ出ツルカ若クハ知テ害アル可キ人ノ閱見ヲ防シカ爲メ或ル物件ヲ保護スルニ用フル處置ナリ

第七十四條 官署ノ處分ニ因リ特別ニ家屋倉庫其他ノ物件ニ施シタル封印ヲ破棄シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處ス  
若シ看守者自ラ犯シタル時ハ一等ヲ加フ

本條ニ特別ノ文字ヲ故ラニ加ヘタルハ大ニ理由アルコトニシテ即チ財産差押ノ場合ニ於テ施シタルカ如キ封印ヲ云フ然レモ此特別ノ字屢々差支ヲ生セサルニ非ス諸君自ラ例ヲ擧ケ想像セラレナハ本條ノ解釋ニ苦ム場合ヲ發見セン

第七十五條 官ノ封印ヲ破棄シテ其物件ヲ盜取シ又ハ毀壞シタル者ハ盜罪及ヒ毀壞ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

本條ニ奇ナル事件アリ官ノ封印ヲ破壞シテ其物件ヲ盜取シタル時盜罪重ケレハ盜罪ニ因テ處斷スルハ勿論ナリト雖モ毀壞ノ本條ニ照シ重キニ從フ云々ト元來毀壞ノ罪ハ多クハ封印破棄ノ罪ヨリ輕シ故ニ屢々毀壞罪ノ重キニ從テ處斷スルヲ得サルヘシサレハ從テ封印

(第七十四條) (第七十五條)



印ヲ破棄シテ物件ヲ毀壞スルモ亦タ毀壞セサルモ其刑ハ概テ常ニ  
同一ナラン

第一百七十六條 看守者其懈怠ニ因リ封印ヲ破棄シ又

ハ其物件ヲ盜取毀壞スル犯人アルヲ覺ラサル時  
ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ別ニ講ス可キナシ

(第四十三回)

第九節 公務ヲ行フヲ拒ム罪

本節ハ公務ヲ行フヲ拒ム罪トアレドモ公務ヲ行フヲ拒ムノ意ナリ  
ト解セサル可ラス若シ公務ヲ行フヲ拒ムト云ハ、或ハ他人ノ行フ

公務ヲ拒ムモノ、如クナレハナリ、本節ノ罪ハ不行犯ナリ刑法ニ於  
テ罰スル所ノ罪ハ概テ行犯ナリ行犯トハ盜ヲ行ヒ人ヲ殺シ放火ス  
ル等ノ如キ行フテ罪トナルモノニシテ不行犯トハ法ノ命スル所之  
ヲ行ハスシテ罪トナルモノナリ

第一百七十七條 陸海軍ノ將校タル者出兵ヲ要求スル

權アル官署ヨリ其要求ヲ受ケ故ナクシテ之ヲ肯セ  
サル時ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以  
上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

陸海軍ノ將校タル者ハ出兵ヲ要求シ得ル官署ヨリ其要求ヲ受ケタ  
ルハ之ニ應スルノ責任ヲ有スルモノナリ故ニ若シ之ヲ肯セス  
ハ罰セサル可ラス是レ本條ノ設アル所以ナリ

(第一百七十六條) (第一百七十七條)



第七十八條 陸海軍ノ徴兵ニ編入セラル可キ者身

體ヲ毀傷シテ疾病ヲ作爲シ其他詐僞ノ所爲ヲ以テ

免役ヲ圖リタル時ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ

處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ他人ニ囑託シ其氏名ヲ詐稱シ代テ徴募ニ應セ

シメタル者亦同シ其囑託ヲ受ケテ徴募ニ應シタル

者ハ第二百三十一條ノ例ニ照シテ處斷ス

本條ハ明瞭ニシテ解釋ヲ要セスト雖此ニ一ノ疑問ヲ存ス本條ニ

詐僞ノ所爲ヲ以テ免役ヲ圖リタル時云々ト若シ徴兵ニ應スルヲ厭

ヒ其適齡前ニ於テ己ノ手指ヲ斷テ或ハ其他疾病ヲ作爲シタルハ

直ニ公訴ノ起ル可キ者ナル乎又ハ適齡ニ至テ公訴ノ起ル可キモノ

ナル乎ノ問題はレナリ如此場合ハ假令疾病ヲ作爲スルモ徴兵ニ應

ス可キ時期來ラサレハ罪トナラサルモノアリトス何ントナレハ適

齡ニ至ラサル前ハ其人死スルカ或ハ其他ノ事故ニ因リ徴兵ヲ免カ

ル、マ未タ其時期ニ達セサレハ豫知ス可キニ非ス故ニ其人適齡ノ

時期來ラサレハ免役ヲ圖リタリト云フヲ得サレハナリ

第七十九條 醫師化學家其他職業ニ因リ官署ヨリ

解剖分析又ハ鑑定ヲ命セラレタル者故ナクシテ之

ヲ肯セサル時ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ明瞭ニシテ講述ヲ要セス

第八十條 裁判所ヨリ證人トシテ證據ヲ陳述スル

コヲ命セラレタル者故ナクシテ之ヲ肯セサル時ハ

(第七十八條) (第七十九條) (第八十條)



M.P.  
亦前條ニ同シ

前條及ヒ本條ハ之ヲ治罪法ニ比セハ其權衡符合セサル可シ治罪法  
第七十六條ニ証人呼出ニ應セサル時ハ二圓以上二十圓以下ノ罰  
金ヲ言渡シ尙ホ應セサル時ハ拘引狀ヲ發スルコトアルヘシト而シテ  
裁判所ニ出廷スルモ証言セサル時ハ本條ニ問フ可キモノナリ醫師  
化學家モ呼出ニ應セサルハ罰金ヲ言渡サルヘシト雖モ証人ニ對  
スル如ク拘引狀ヲ發シ引致スルヲ得ス(治罪法第百九十二條)故ニ醫師化學家  
ハ本條ヲ以テ論ズルヲ得ス是ニ由テ之ヲ觀レハ醫師化學家ハ裁判  
所ノ呼出ニ應セサレハ僅ニ其罰金十圓以下ニ止マリ呼出ニ應シテ  
出廷スルモ陳述セサレハ四十圓以下ノ罰金ヲ科セラル、カ如キ奇  
ナル結果ヲ生スルニ至ル可シ然レモ治罪法ハ裁判所ニ出サルルノ  
場合ヲ規定シタルノミニシテ此第七十九條ハ他ノ官署ヨリ呼出

ス場合モ包含セルヲ以テ其不都合ヲ生スルハ唯裁判所ヨリ呼出シ  
タルルノミナリ

事實參考人ニ付テハ刑法ニ規定ナシ事實參考人トハ治罪法ニ云フ  
如ク公權ヲ剝奪セラレタル者又ハ民事原告人及ヒ被告ノ親屬又ハ  
幼者等ニシテ是等ノ者出廷セサルモ治罪法ニ問フコトナク又出廷シ  
テ陳述セサルモ刑法ニ問フコトナシ然ルニ事實參考人ト雖モ証人鑑  
定人ト同シク社會ニ對スル義務ニ至テハ異ナル所ナシ故ニ之レカ  
明條ヲ設ケテ罰スルヲ至當ト爲スニ似タリ

### 第百八十一條 傳染病流行ノ際又ハ傳染病ノ疑アル

船舶入港スルニ當リ醫師其病患ヲ検査シ又ハ消滅  
ノ方法ヲ陳述スルコトヲ命セラレタル者故ナクシテ  
(第百八十一條)



之ヲ肯セサル時ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

獸類傳染病流行ノ際獸醫此條ノ罪ヲ犯シタル時ハ一等ヲ減ス

公務ヲ行フコトヲ拒ムノ罪本法ノ規定スル所ニ止マラス其他數多アルヘシト雖モ明條ナキモノハ罪トシ論スルヲ得ス世ノ開明ニ進ムニ從ヒ公務ヲ行フ可キコトノ増加スルニ至ルモノナレハ本節ノ罪モ世ノ開明ト共ニ増加スルニ至ル可シ

茲ニ本章ノ講ヲ終ルニ臨テ一事ノ述フヘキアリ浮浪及ヒ乞丐ノ罪是レナル此罪ヲ證シテ害スルモノニシテ草拔ハ之ヲ規定シタレモ審査ノ時之ヲ刪除セリ歐洲各國ノ法律往々此罪ヲ規定シ殊ニ佛國

ニ於テハ重ク之ヲ罰セリ

浮浪ノ罪トハ常住ノ家ナク職業ナク財產モナキ者ニシテ其道路ニ彷徨スルハ社會ノ危險アルカ爲メニ捕ヘテ以テ之ヲ罪ス然ルニ此罪ニ付テハ刑罰權ノ原素タル道德上ノ悖戾ヲ見ルコト頗ル難カル可キナリ

草案ニハ此罪ヲ規定シタレモ審査ノ際ニ於テ之ヲ刪除セシハ賞賛ス可キコトナリ英國ニテニ之ヲ罰スル寛ナリ其他西班牙等ニテハ或ハ之ヲ罰シ或ハ之ヲ罰セサルコトアリ又或國ニ於テハ之ヲ刑法ニ問ハスシテ行政處分ニ委セリ抑モ此浮浪ノ罪ヲ罰スル所以ノモノハ道德上既往ノ損害ト社會公益上將來ノ危險トヲ臆測シタルニ出テタルモノニシテ其之ヲ處分スルハ實ニ難シトス何ントナレハ其浮浪者タルヲ知ルハ容易ノ事ニアラス唯其容貌悄然トシテ路傍ニ徘徊

(第百八十一條)



徇スルヲ見テ直ニ捕ヘテ之ヲ罰スル如キアラハ其處置ヤ專横ニ涉リ人民ノ權利ヲ害スル甚ダシキニ至ルモノナレハナリ故ニ浮浪ノ罪ハ刑法ニ問ハスシテ行政處分ニ任スルヲ可ナリトス  
 乞丐ヲ爲ス者ハ人ノ家前ニ來テ食ヲ乞フニ因リ浮浪者ノ如ク知リ難キモノニ非ス故ニ刑法上此罪ヲ違警罪ニ問ヘリ佛國ニ於テモ之ヲ罰セリ之ヲ罰スルニ付キ論アリ貧者若シ生活ノ方法ナキ場合ハ勢他人ニ食ヲ求メサルヲ得サルニ至ラン故ニ之ヲ禁セント欲セハ先ツ貧民救助院等ヲ設ケ授産ノ道ヲ開キ而シテ後乞丐ヲ爲ス者アラハ捕ヘテ之ヲ罰セハ酷ニ渉ルノ恐レナク又大ニ道理人情ニ適合スルヲ得可キナリ

#### 第四章 信用ヲ害スル罪

信用ヲ害スル罪トハ公衆ノ信憑ニ背クモノニシテ本章ノ罪多クハ

詐僞ノ所爲ニ關セサルハナシ故ニ爰ニ諸種ノ偽造罪ヲ聚記シテ一章ト爲シタルナリ

#### 第一節 貨幣ヲ偽造スル罪

貨幣偽造ノ罪ハ刑法學上最モ議論ヲ來ス所ニシテ又實ニ無數ノ難問ヲ生スルノ件ナリ此罪ハ古來歐洲各國共ニ至嚴ノ刑ヲ以テ之ヲ罰シタリ是レ此罪ヨリ生スル所ノ損害ヲ大ニ恐レタルニ因ル又此嚴刑ヲ科スルノ理由トシテハ此罪ニ付スルニ其嘗テ有セサル所ノ性質ヲ以テシタリキ

羅馬ニ於テハ貨幣偽造ヲ罰スルニ獨リ貨幣偽造ノ點ニ於キ之ヲ罪トスルニ止マラスシテ尙ホ之ヲ國君ニ對スルノ罪トナセリ蓋シ貨幣ヲ製造スルハ國君ノ權ナリ故ニ之ヲ偽造スルヲ以テ其權ヲ奪フモノト爲セシナリ是レ貨幣偽造ノ罪ヲ叛逆罪ノ中ニ置キシ所以ナ

(第百八十一條)



リ是故ニ其刑モ亦タ其名ニ適シ自由人ニ在テハ之ヲ罰スルニ流刑  
 ナリテシ奴隸ニ在テハ之ヲ死刑ニ處シ竟ニ一般ニ苛酷ノ刑ヲ科ス  
 ルニ至レリ此思想ハ佛國其他歐洲各國ニ波及シ其刑タル常ニ同シ  
 カラスト雖モ亦タ概テ死刑及モ無期刑ノ間ニ上下シタリキ  
 此當時ニ在テ貨幣偽造ノ罪ヲ國君ニ對スル罪ト爲シタルハ貨幣ヲ  
 製造スルノ權ヲ以テ國君ノ特權ト爲シタルニ由ル然レモ此罪モ亦  
 他ノ罪ト同シク其有スル所ノ性質ニ從テ之ヲ區別スルヲ要ス若  
 シ製造者ノ目的實ニ國權ヲ害スルニ在リトスルモハ疑モ無ク政事  
 ニ關スルノ所行ニシテ君權ニ害ヲ來タスヲ以テ右ノ理由モ亦タ理  
 アリト謂フ可シ然レモ元來貨幣ヲ偽造スル者ハ唯タ不正ノ利ヲ得  
 ノヲ欲シ其目的タルヤ盜罪ヲ犯スニ在リ而シテ其意思ハ自ラ此  
 所行ニ特別ノ性質ヲ與フルモノナレハ謀反ヲ以テ之ヲ論シ罰スル

ハ實ニ不當ト謂フ可キナリ

又當時ニ在テハ此刑ヲ重クスルノ理獨リ政事上ノ思想ニ出ツルノ  
 ミナラス尙ホ犯罪ヲ豫防スルノ主旨ヨリ出タリ即チ當時真正ノ貨  
 幣粗惡ニシテ之ヲ偽造スルヲ甚タ容易ナルカ故ニ嚴刑ヲ科シテ其  
 偽造ヲ防カントセシナリ

中古以來漸ク罪ノ性質ヲ論スルノ人出テ此刑モ亦タ漸ク減輕其度  
 ニ適スルニ至リ殊ニ佛國革命ノ際憲法議院ノ如キハ古來ノ風習ヲ  
 一掃シ刑ヲ有期ノ刑ニ下タスニ至リタリキ勿論幾クモ無クシテ再  
 ヒ刑ヲ重クシタリト雖モ此際ハ國君ニ對スルノ罪ト爲シテ刑ヲ重  
 クシタルニ非スシテ此罪ノ損害ノ大ナルヲ恐レタルニ由レリ

我輩ハ是ヨリ貨幣偽造罪ノ本質ヲ論究セン本來貨幣ノ偽造ハ社會  
 ノ公權ニ害ヲ及ホサルニ非ス即チ政府ノ特權ヲ僭竊スルヲ是ナリ

(第百八十一條)



然レ此特權ハ元ト是レ君主權ノ一箇ノ附屬物ニシテ社會ノ公益ノ爲メ政府ニ於テ施行スル所ノ專賣權ノ如キモノニ過キサレハ假令ヒ之ヲ僭竊シタレハトテ社會ノ組織ノ公權ニ害ヲ及ホシタリト云フコトヲ得ス從テ古來貨幣偽造ヲ以テ君主ニ對スル罪ト爲シタルハ固ヨリ非ナリ然ラハ則チ貨幣偽造ハ何種ノ罪ニ屬スヘキヤ曰ク甚タ重キ情狀ヲ有スル詐欺取財ノ罪ニ過キササルナリ即チ犯罪ノ目的ハ詐欺取財ニシテ貨幣偽造ハ畢竟其方法タルニ過キササルナリ實際上此種ノ罪ハ貨幣ノ迅速ナル流通其執行ヲ容易ナラシムルノ理ニ由テ自ラ重キ性質ヲ有スルナルヘシ又タ此等ノ罪ハ輒スシ交際ノ安寧ヲ害スルニ由リテ特別ノ有効ナル豫防ヲ要スルナルヘシ然レ其危險ハ一般ニ人之ヲ想像スルカ如ク重カラヌシテ之ヲ防クノ困難モ亦タ罪ト權衡ヲ得サルカ如クニ刑ヲ重スクルノ理由

タルヲ得ス是ニ由テ之ヲ觀レハ此罪ニ大ナル刑ヲ科スヘキ理アル場合ハ此罪ノ大ニ目的ヲ達シタルノ時ニ限ラサル可ラス例ヘハ數萬ノ貨幣ヲ偽造シテ之ヲ通用ニ置キタルカ如キ是ナリ然リト雖モ又或ル論者ノ如ク此罪ヲ經視ス可カラス此論者ノ說ニ依レハ偽造貨幣ノ罪ハ盜罪ヨリ輕シ其理由ニ曰ク偽造貨幣ノ通用スル場合ニ於テハ製造者ハ其何人ニ害ヲ及ホスヤヲ知ラス世人ハ永ク此貨幣ノ價格ニ欺カル、モ知ル可ラス此貨幣一人ノ手ヨリ他人ノ手ニ移リ善良ナリトシテ之ヲ領収シタル者又タ善良ナリトシテ之ヲ他ニ與ヘ終ニ損失ヲ受クルヲ無キモ亦計ル可ラス故ニ損害ヲ感セシムルノ時ハ不定ナリ損害ヲ受クル所ノ人モ亦タ隨テ不定ナリ貨幣ハ畢竟約束上物ノ價ヲ代理スル所ノ一箇ノ標識タルニ過キス偽造ノモノ眞正ノモノト同シク通用スルノ間ハ損害ヲ受ケ

(第百八十一條)



タルモノアルヲ得ス故ニ貨幣ヲ偽造スルモノハ其損害ノ點ニ付テハ他人ノ物ヲ盜ム者ニ比スレハ損害ヲ加フルト少シト想像スルヲ得ヘシ其罪タルヤ茫漠トシテ定マル所ナキカ如シ故ニ犯者ノ罪モ亦タ輕カルヘシ

此議論ノ如キハ決シテ至當ヲ得タリト爲ストヲ得ス偽造者其貨幣ヲ人手ニ交付スルキハ則チ己ニ善良トシテ之ヲ領収スル者ヲ欺キ其罪ノ成立自ラ疑ヲ挾ムト能ハス若シ之ヲ領収シタル者其偽造ナルヲ知ラスシテ他人ニ交付スルカ如キハ偽造者ニ關係ヲ有セサル場合ニシテ以テ偽造者ヲ宥恕スルノ一ノ理由タルヲ得ス何トナレハ偽造貨幣ノ人手ニ移ルヤ偽造者ノ罪ハ己ニ遂ケタレハナリ且ツ盜罪ハ其隠レテ見ハレサルキハ其危險モ亦タ隨テ愈大ナリ故ニ犯者ノ有罪ノ度モ亦タ隨テ増加スヘシ何トナレハ是レ容易ニ人

ノ信用ヲ欺クノ方法ヲ見出シタルモノニシテ人皆ナ信シテ其策中ニ陷レハナリ故ニ我輩ヲ以テ之ヲ觀レハ偽造貨幣ヲ以テ極惡重大ノ罪ト爲ストヲ得サレト亦之ヲ盜罪ト同一視スルコトヲ得サルナリ

又諸國ノ立法者ハ此罪ヲ刑法中ニ置クニ付テ公益ニ關スル罪ノ性質ヲ與ヘンコトヲ欲シタリ是レ蓋シ貨幣ノ物タルヤ常ニ公衆ニ通用シテ而シテ一般ヨリ之ヲ觀レハ其集合自ラ公衆ノ資産ヲ爲スカ如キアルヲ以テナリ然レトモ又學者ノ說ニ依レハ此思想ハ理ニ適セリト云フコトヲ得ス其說ニ曰ク己ニ適用ニ置タル偽造ノ貨幣ハ其實私ヲ有權ニ害ヲ來タスニ止マルノミ何トナレハ其害ハ唯タ善良ノモノトシテ之ヲ領収シタル後其偽造ナルヲ發覺シタルモノ、ミニ及フヲ以テナリ流通ノ迅速ナルヲ自ラ罪ヲ犯ストヲ容易ナラシム

(第百八十一條)



ルモノアリト雖レ然レモ隨テ罪ノ性質ト結果トヲ變スルヲ能ハス  
 一國ノ貨幣ノ集合ハ公衆ノ資産ヲ成サ、ルヤ猶ホ他ノ商品物若ク  
 ハ動産ノ集合ノ公衆ノ資産ヲ成サ、ルカ如ク各貨幣ハ一箇毎ニ之  
 ナ考フルキハ一ノ私有權ニ屬ス故ニ此權ニ害ヲ來タスハ其害ヲ  
 受クル者ハ唯々此偽造貨幣ヲ有スルモノ、ミ是レ決シテ公益ニ關  
 スル罪ノ性質ヲ有スルモノニ非ルナリ此罪ヲ公益ニ關スル罪中ニ  
 列スルモノハ畢竟古來ノ風習ヨリ來リタルモノニ過キサルナリト  
 蓋シ我輩ハ此論ヲ以テ至當ナリト爲サ、ルヲ得サルナリ  
 儲テ以上貨幣偽造罪ノ性質略々定マリタレハ是ヨリ此罪ノ元素ニ就  
 テ論セン吾刑法ハ能ク其區別ヲ爲セリ然レモ吾輩ハ此區別ニ拘ハ  
 ラス先ツ理論ニ照シテ之ヲ講究セン  
 詐、偽、ハ貨幣ヲ製造スルヲハ此罪ノ第一等タリ然レモ亦之ヲ二ツノ

種類ニ分ツヲ得即チ量目及ヒ價格ヲ變スルヲ無クシテ之ヲ偽造  
 シタルモノト其眞價ヲ減シテ之ヲ偽造シタルモノト是ナリ  
 此二ノ所行ヲ分ツ所ノ區別ハ中古以來人ノ已ニ論スル所タリ論者  
 云ク此兩罪ニ同一ノ刑ヲ科スルハ當時ノ立法者ノ通則タルカ如  
 シ然レモ眞貨ノ價格ヲ有スル貨幣ヲ偽造スル者ハ一箇ノ道理ニ背  
 クト雖モ眞價ヲ減シタル貨幣ヲ偽造スル者ハ二箇ノ道理ニ背ク即  
 チ第一ノ場合ニ於テハ貨幣製造所ノ利益ヲ奪ヒ政府ノ稅權ニ害ヲ  
 來スニ止マリ第二ノ場合ニ於テハ此害ニ止マラスシテ社會公益上  
 ニ妨害ヲ來タシ公衆ヲ欺クノ一ノ大ナル害ヲ加フルニ非スヤト貨  
 幣ヲ偽造シテ法律上ノ貨幣ノ價格及ヒ眞價ヲ有セシムルモノハ一  
 權利ヲ僭竊ス即チ貨幣製造所ノ利益ヲ奪ヒ政府ノ極印ヲ偽造ス此  
 所行ハ固ヨリ罰ス可キモノタリ然レモ其結果ハ只々政府ヲ害スル



ニ止マリ私事ノ關係ニハ殆ト損害ヲ來タスヲ無シ且ツ犯者ハ盜罪ヲ犯サント欲シタルニ非ス又タ現ニ之ヲ犯サ、ルナリ故ニ理論ニ從ヘハ其刑ヲ減輕ス可キモノナリ但々此種ノ偽造ハ概ネ其例アルヲ見ルヲ無カルヘシ故ニ此區別ハ理論上當サニ然ルヘシト雖モ實際ニ在テハ其用ヲ爲スヲ無カラフ

サレハ偽造貨幣ト稱スルハ必ス實際上眞貨幣ノ價格ヲ有セサル貨幣ヲ偽造スルモノ是ナリ然レモ此ニ製造ハ豫備ノ所爲ニシテ犯罪ハ行使ニ因テ始テ完キモノトナリ貨幣偽造ヲ構造スル罪惡ハ偽造者ノ目的タル行使ニ在ルヲニ注目セサル可カラス勿論立法者ハ時ニ此製造ノミチ罰スルヲ得蓋シ其結果ニ拘ハラズ製造ノ所行ヲ罰スルヲ立法者ニ許スモノハ偽造ノ貨幣ヲ行使スルノ甚タ容易ナルヲ運行ノ甚タ迅速ナルコト商業ノ安寧ヲ害スルヲ及ヒ偽造者

ハ必ス之ヲ行使スルナルヘシトノ推測アルニ由ル然レモ行使セサル偽造ノ有罪ノ度ハ行使シタルモノニ比スレハ輕シ何トナレハ偽造者ハ之ヲ行使スルナルヘシトノ推測ハ實際或ハ符合セサルヲアルヘク或ハ未タ之ヲ行使セサルニ當テ自ラ偽造ノ貨幣ヲ毀テ其罪ヲ消滅セントスルヲ無キヲ保セサレハナリ吾刑法ニ於テ偽造ニ止マルモノト偽造シテ行使シタルモノトヲ區別シ輕重ヲ立テシハ蓋シ此ニ由テナリ

又タ偽造者ノ罪ノ度ヲ輕重スルヲ得ルニ箇ノ場合アリ即チ損害ノ少キヲ摸樣ノ粗惡ナルヲ是ナリ吾人ノ良智ニ照スニ多數ノ偽造貨幣ヲ行使シ社會ニ普及セシメタルモノト止タ一二ノ貨幣ヲ偽造シテ之ヲ行使シタルモノトハ自ラ異ナラサルヲ得ス前ナル者ハ今日商業ノ交際ニ損害ヲ來シ後ナル者ハ僅カニ數人ノ利益ヲ害シ

(第百八十一條)



タルニ止マル故ニ前ナル犯者ハ後ナル犯者ニ比スレハ危險ヲ社會ニ及ホスヲ甚タ大ナルハ言テ俟タス是ヲ以テ學者此區別ヲ爲サント欲シタリ然リト雖モ是等ノ區別ハ概テ法律上ニ於テ之ヲ立ツルヨリモ寧ロ裁判官ノ判定ニ一任スルコト至當ナルコト似タリ何トナレハ偽造ニ因テ生スル所ノ損害ハ甚タ錯雜ニシテ初メヨリ一定ノ規ヲ立ツルヲ能ハサルモノナレハナリ吾刑法ハ貨幣ノ偽造ヲ二級ニ區別シ金銀貨ノ偽造ト銅貨ノ偽造トノ間ニ輕重ヲ爲シ偽造ノ多寡ニ至テハ之ヲ區別セス之ヲ區別セサルハ蓋シ此多寡ノ如キハ犯者ノ有罪ノ度ヲ變更スルノ結果ヲ有セサルモノト爲セルコト由ルナラン

偽造ノ粗惡ニ就テモ亦大同シ其偽造タルヤ甚タ粗惡ヲ極メ少シシ貨幣ノ善惡ヲ見ルヲ得ルモノヲ欺クニ足ラサルヲアルヘシ果シテ然ラハ其惡結果ハ皆無ト云テ可ナリ此場合ニ於テハ犯者ノ惡意ハ十分ニ見ハルト雖モ其結果ヲ生スルヲ能ハサルモノナリ即チ有形ノ事件ナキ犯罪ノ念慮ニ止マリタルモノト殆ト一般ナルカ如シ此場合ニ於テモ亦前段ト同シク立法者偽造ノ巧拙ニ就テ一定ノ規ヲ立ツルヲ甚タ困難ナリ蓋シ是レ亦タ裁判官ノ判定ニ一任セサルヲ得サルモノナリ

吾刑法ハ貨幣ノ偽造ト變造トノ區別ヲ爲セリ變造トハ蓋シ量目價格ヲ増減スルモノハ云フナラン銅貨ニ金銀ヲ鍍シ銀貨ニ金ヲ鍍スルノミノ所爲ノ如キハ之ヲ變造トモ謂フヲ得サルヘシ請フ先ツ此點ニ就テ論セン此等ノ犯者ハ法律上罰ス可キノ詐欺ヲ行ヒタルヤ疑チ容レスト雖モ之カ偽造ヲ爲シタルモノト自ラ其性質ヲ異ニシ又タ其之ヲ犯スノ容易ナルヤ彼ノ偽造ノ深ク謀テ稍ク爲シタルモ

(第百八十一條)



ノト目ヲ同シクシテ語ル可ラサルナリ又々他ノ一方ヨリ之ヲ觀レハ此種ノ變造ヨリ生スル所ノ害タルヤ偽造ニ比スレハ甚々輕キモノナリ何トナレハ金銀ヲ鍍スルト雖モ其價格ハ自ラ其貨幣ニ見ハル、ヲ以テ其所行タル只々詐欺シテ財ヲ取ルノ性質ニ止マレハナリ

量目ヲ削テ其眞價ヲ減シタルモノハ其事成ルヤ己ニ一罪ヲ構造ス然レモ此罪タルヤ偽造ニ於ケルカ如キ加重ノ條件ナク其損害モ亦多カラス何トナレハ此貨幣ヲ取受シタルモノ其瑕瑾ヲ覺ルニ當リ失フ所止マ減殺シタル量目ニ在レハナリ其價格ヲ増加シタル場合ニ於ケルモ亦タ同シ然ラハ則チ偽造シタルモノト同一ニ論ス可ラサルヤ明カニシテ吾立法者カ其刑ヲ輕クシタルモ亦タ此理ニ由リシナラン

我刑法ハ亦タ偽造變造ノ情ヲ知テ之ヲ行使シタルモノハ偽造變造シテ行使シタルモノ、刑ニ二等ヲ減セリ蓋シ亦タ大ニ其理由アリ若シ之ヲ行使シタル者偽造者ノ共犯ニシテ偽造者ト謀ヲ通シ一人ハ偽造ヲ爲シ其一人ハ之ヲ行使スルモノトセハ此二人ハ皆ナ同階級ノ罪アリテ其刑モ亦タ同シカラサルヲ得ス然レモ若シ行使シタル犯者偽造ノ事業ニ干預セス其犯者ヲ知ルヲナク只々其結果ニ因テ利益ヲ得ントスルカ如キハ其刑偽造者ニ異ナラサルヲ得サルニ非スヤ又々刑法ハ偽造ノ貨幣ヲ眞貨ト見認メテ人ヨリ取受シタル後其偽造タルヲ知テ行使シタル者ハ大ニ其刑ヲ減セリ何ソヤ此犯者ハ之ヲ偽造シタルモノニ比スレハ有罪ノ度益其輕キヲ加フレハナリ



(第四十四回)

前講ニ於テ貨幣偽造ノ罪ニ關スル理論ヲ略述セリ然レハ本日ハ各正條ニ入テ講説スヘシ

第一百八十二條 内國通用ノ金銀貨及ヒ紙幣ヲ偽造シ

テ行使シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

本條ノ罪ヲ構成スルニハ左ノ四元素ヲ要ス

第一 惡意

第二 眞貨ハ摸擬

第三 貨幣ハ我國ハ法律上ノ通用

此三箇ノ元素ハ貨幣偽造罪ヲ構成スルニハ充分ナリト雖モ本條ノ

罪ヲ構成スルニハ猶ホ一箇ノ元素アルヲ要ス行使スルヲ即チ是ナリ

惡意ハ概テ諸般ノ犯罪ノ缺ク可ラサル一元素タリ貨幣偽造ニ於テモ亦タ然リ故ニ之ヲ行使スルノ意思ナクシテ或ハ美術ノ目的等ヲ以テ之ヲ摸擬シタルモノハ罪トシ論スルヲ得ス貨幣偽造事件ニ關シテハ其惡意ハ其行使若クハ偽造者カ其行使ヲ以テ目的ト爲シタルヲノ証ニ因テ發見ス然レモ行使ノ目的ハ盜ヲ爲スニ在ルヲ必要トセス看ヨ本條ニ謂フ處ノモノハ眞價ト異ナラサル價格及ヒ量目ヲ有スル貨幣ノ製造ト此眞價ヲ有セサル貨幣ノ製造トヲ區別セサルヲ此二ノ所行ノ有罪ノ度ハ吾輩ヲ以テ之ヲ觀レハ已ニ之ヲ概言セシカ如ク自ラ異ラサルヲ得ス然レモ吾刑法ハ之ヲ區別セサルヲ以テ其旨意ニ從ヘハ惡意ハ犯者ノ盜意ヲ有スルト盜意ヲ有

(第一百八十二條)



セスシテ唯タ貨幣ヲ製造スルノ權利ヲ僭竊シ貨幣製造所ノ利益ヲ害セントスルニ止マリタルモノトテ區別セサルナリ

又タ第二ノ元素タル貨幣ノ摸擬ニ就テ之ヲ論セン此摸擬タルヤ偽造ノ罪ヲ構成スル爲メニハ幾許ノ度ニ達セサルヲ得サル乎其形ヲ爲シタル以上ハ極メテ粗惡ナリト雖モ之ヲ罪トシ論スルノ基礎ト爲スヲ得ヘキ乎吾法律ハ偽造ノ巧拙ニ關シテハ毫モ區別ヲ爲サ、ルヲ觀レハ總テ之ヲ罰スルヲ得ヘシト云ハサルヲ得サルニ似タリ然レモ吾輩ヲ以テ之ヲ觀レハ其罪自ラ同シト爲スヲ得ス何トナレハ偽造ノ巧ナルモノハ社會ニ危險ヲ來タスヤ偽造ノ拙ナルモノニ同シカラス且ツ其巧ナルヤ其罪ノ結果殊ニ重クシテ自ラ有罪ノ最高點ヲ明示スルヲ以テナリ然レモ吾刑法ニ之ヲ明言セザルハ何ソヤ立法者ノ意蓋シ以爲ラク之ヲ區別セントスルモ終ニ區別シ

盡スヲ能ハスシテ錯雜ヲ來タシ却テ法律ヲシテ不明了ニ至ラシムルヲ以テ寧ロ之ヲ裁判官ノ判定ニ任スルノ愈レルニ若カスト夫レ貨幣偽造ノ罪ハ本來必ス其貨幣真正ノ貨幣ノ外觀ヲ有スルヲ要ス偽造ノ粗惡甚タシキカ如キハ真正ノ貨幣未タ偽造ノ害ヲ受ケタリトセス此ノ如キ場合ニ於テハ犯意アリト雖モ有形ノ所行ニ至テハ未タ嘗テ之レアララスト云ハサルヲ得ス何トナレハ毫モ結果ヲ生セス毫モ損害ヲ來タシ得サルノ事件ヲ罪トシ論スルハ理ノ許サ、ル所ナレハナリ要スルニ此所行ハ是レ罪ノ決定ニ過キス故ニ有罪ノ度ノ減少ニ非スシテ未タ有罪ヲ成サ、ルモノナリ

此區別ハ固ヨリ理論ニ出ツルノミナラス往々歐洲諸國ノ裁判例ニ散見ス今マ其一ヲ擧ケンブリクセール裁判所ニ於テハ貨幣ニ似テ記号極印等ナキモノヲ行使シタル件ヲ裁判シテ以テ刑法ノ正條ニ

(第百八十二條)



該テサルモノト爲セリ其理由ニ云ク金属ヲ以テ製シタル貨幣ノ摸樣ハ其全部若クハ幾分之ヲ製造スル權利アル者ヨリ出テタル記号極印等ヲ有スルニ非サレハ貨幣ト爲スヲ得ス故ニ立法者ニ於テ貨幣偽造ノ罪ヲ構造スルモノト論スルハ此貨幣ノ類似ノモノヲササルヲ得サルナリト

是ニ由テ之ヲ觀レハ偽造ノ巧拙ノ如キハ一般ニ法律ノ規定スル所ニ非スシテ概テ裁判官ノ判定ニ任シ刑ノ輕重ヲ生スルモノナリ然レモ若シ其拙ナルヤ實ニ甚タシクシテ之ヲ行使スルニ由テ生スル所ノ損害絶無ニ屬スルカ如キニ至テハ則チ是レ罪ヲ構造スルヲ能ハサルナリ何トナレハ此製造シタル貨幣ハ摸擬セント欲スル眞貨ノ外觀ヲ有セサルヲ以テ偽造ヲ以テ之ヲ見ルヲ得サレハナリ然レモ其能ク摸擬シテ貨幣偽造ヲ以テ論スヘキヤ否ヤノ點ヲ定

ムルハ事實裁判官ノ權内ニ屬ス是レ事實ノ論ニ屬スルモノニシテ法律ノ論ニ屬スルモノニ非サレハナリ故ニ大審院ニ於テハ此點ニ就テハ之ヲ判定スルノ權ヲ有セス

第三ノ元素ハ内國ニ於テ法律上通用ノ貨幣タルト是ナリ(法律上ノ通用トハ何人ト雖モ之ヲ受クルト拒ムヲ得サルモノヲ云フ)故ニ此通用タルトハ必ス之ヲ裁判宣告ニ明言スルトチ要ス若シ明言セサルモハ裁判破毀ノ基礎タルトチ得

右ノ理由ナルニ由テ左ノ結果ヲ生ス第一ニハ商業上ノ交際ニ於テ私ニ通用ヲナスニ過キサル所ノ貨幣ヲ偽造スルモノハ貨幣偽造ノ罪ヲ以テ論ス可ラス之ヲ行使シタルモノハ須カラク詐欺取財ヲ以テ論スヘキモノナリ又々第二ニハ假令モ内國ノ貨幣ト雖モ政府己ニ之カ法律上ノ通用ヲ止メタルモハ其偽造モ亦々隨テ貨幣偽造ヲ以



テ論ス可カラス畢竟此ノ二ノ場合ハ法律ノ正文ヨリ出テタル解釋也偽造者ノ罪ニ於テハ或ハ通用ノ貨幣ヲ偽造スルト異ナラサルコトアルヘシ然レモ法律ハ法律上通用ノ内國貨幣及ヒ内國ニ於テ法律上ノ通用ヲ有スル外國法律ニ特別ノ保護ヲ加ヘサル可ラス是レ通用ト不通用トノ區別アル所以ナリ但マ此法律上ノ通用ハ假令ヒ内國ノ一部分ニ止マリテ全國一般ニ及ホサ、ルモノト雖モ亦タ皆ナ通用ノ貨幣ト爲サ、ル可ラス何トナレハ通用ヲ許ス以上ハ是亦タ全國ニ通用スルモノト同一ノ保護ヲ與ヘサル可カラサレハナリ本條ニハ偽造シテ行使シタル者ハ云々トアリ偽造ノモノニシテ行使セサレハ未タ本條ノ罪トナラサルナリ何トナレハ偽造ハ豫備ノ所爲ニシテ行使ハ其目的ナレハナリ故ニ行使ハ主ニシテ偽造ハ其方法ナリ若シ偽造變造成テ未タ行使セサルモハ第百八十六條ニ依テ

處斷スルモノトス

第二項 本條ハ第一項ヨリモ更ニ輕キ犯罪ヲ規定セリ即チ變造ノ罪是レナリ此犯罪タル道德ニ悖戾スルノ度ハ同一ナリト雖モ社會ノ損害ニ至テハ甚タ甚シ何トナレハ偽造ハ鑄形ヲ用ヒテ之ヲ爲スモノニシテ一度適當ニ其鑄形ヲ製シ得タル上ハ一舉シテ許多ノ偽貨ヲ製造スルヲ得ヘシト雖モ變造ニ付テハ其貨幣一個毎ニ各々多少ノ時間ト製作トヲ要スレハナリ變造トハ如何ナル事ヲ云フカ法律ハ之レカ解チ與ヘスト雖モ是ニニ方アリ

第一 金銀貨幣量目ノ價格即チ實價ヲ減少スルコト此方法ハ金銀貨ノ縁ヲ削リテ金分ヲ取り或ハ含密術ヲ施シテ貨幣全面ノ金分若干量ヲ取ルカ如キ是レナリ

(第百八十二條)



第二 貨幣ノ價格ヲ增加スルヲ此所爲ハ眞價ヨリ更ニ大ナル價格ヲ示シ以テ其命價ヲ增加スルモノニシテ例ヘハ五圓貨幣ヲ十圓ト爲シ十圓ヲ二十圓トスルカ如キ是レナリ

銀銅貨ニ金ヲ鍍シ又ハ銅貨ニ金銀ヲ鍍スル如キハ蓋シ變造中ニ入ル、ヲ得ス其理由ハ己ニ之ヲ詳述セリ  
此他ニ變造ト爲ス可キモノナシ本條ノ變造トハ蓋シ此二者ヲ指シタルモノナルヘシト雖斤量目ヲ減少スル如キ者ヲ以テ之ヲ變造中ニ包含セシムルハ少シク妥當ナラス故ニ變造ノ文字ヲ改メ貨幣ノ價格ヲ減少シ又ハ其命價ノ額ヲ増加シ云々ト記セハ明確ナラン歟  
草按ニ於テハ歷然トシテ明記セシカ何故カ本條ノ如ク改メヨリ價格ヲ増加シ金銀ヲ鍍スルキハ變造ニアラスシテ偽造トナル場合アリ例ヘハ五厘銅貨ニ金銀ヲ鍍シ併セテ五厘ノ文字ヲ改メタルキ

ノ如キハ即チ變造ニアラスシテ偽造ナリ何ントナレハ五厘ノ命價ヲ改削シ且金銀ヲ燒付テ其形貌外觀ヲ變シ全ク新規ナル貨幣ヲ製作シタルト同一ナレハナリ故ニ斯ル場合ハ變造ニアラス偽造ナリトス

第百八十三條

内國ニ於テ通用スル外國ノ金銀貨ヲ

偽造シテ行使シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ二年以上五年以下ノ

重禁錮ニ處ス

本條ハ外國貨幣ヲ内國ニ通用スル場合ニシテ此通用モ亦法律上ノ通用ヲ云フ彼ノメキシコ弗ノ如キ是ナリ而シテ本條ノ罪ハ前條ニ比シ其刑輕キ所以ノモノハ外國ノ貨幣ニシテ我國ノ國權ヲ害スル  
(第百八十三條)



第百八十四條 官許ヲ得テ發行スル銀行ノ紙幣ヲ偽

造シ若クハ變造シテ行使シタル者ハ内外國ノ區別

ニ從ヒ前二條ノ例ニ照シテ處斷ス

本條ハ政府ヨリ發行スル紙幣ト政府ノ允許ヲ受ケ發行スル銀行紙幣トヲ同等ニ置ケリ我國ハ許多ノ銀行ニ於テ政府ヨリ許可シタル離形ニ據リ銀行紙幣ヲ發行スルノ允許ヲ受ケ政府ニ於テハ其銀行ヨリ公債證書ヲ抵當トシテ差出サシムルヲ以テ公衆ニ對シ其紙幣ノ價格政府ニ擔當スルハ世人ノ普ク知ル所ナリ

第百八十五條 内國通用ノ銅貨ヲ偽造シテ行使シタ

ル者ハ輕懲役ニ處ス

若シ變造シテ行使シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

銅貨ヲ偽造スル者ハ蓋シ頗ル稀ナル可シ何ントナレハ銅貨ヲ偽造スルニハ眞銅ノ多量ト他ノ金屬トヲ混合スルニ非サレハ之ヲ爲ス能ハサルカ故ニ偽造者ハ却テ損失ヲ招クモノナレハナリ且ヤ此偽造罪ハ金銀貨ノ偽造ニ比スレハ社會ノ損害ヲ表スルト至テ甚シ何ントナレハ銅貨ノ價格ハ甚タ僅少ニシテ各人ノ一時ニ授受スル所ノ分量モ夥多ナラサルカ故ニ此犯罪ノ犠牲ト爲リタル者ノ損害甚ク少々ナルヲ以テナリ故ニ其刑ヤ從テ輕シ

茲ニ我國ニ通用セサル外國ノ貨幣ヲ偽造シタル者ニ付テハ之レカ規定ナシ外國貨幣ノ我國ニ通用スルモノハ第百八十三條ニアレヒ我國ニ通用セサル外國貨幣ヲ偽造スルニ付テモ亦明條ナキヲ以テ

(第百八十四條) (第百八十五條)



罰スルヲ得ス若シ之ヲ行使シタルキハ詐欺取財ヲ以テ論ス可キノ  
 ミ  
 外國貨幣ヲ偽造スルモ我國ニ於テハ痛痒相關セサルカ如シト雖  
 此偽造貨幣ヲ外國ニ輸出スルキハ恐ル可キ關係ヲ來ス可シ何ソト  
 ナレハ此場合ニ於テ若シ之ヲ罰セストセハ外國政府ヨリ犯人引渡  
 ノ談判ヲ請ケタルキハ如何トモスルコトヲ得サレハナリ其請求ニ應  
 シテ該犯人ヲ引渡ス如キハ亦爲スコトヲ得サル所ナリ乃チ之ヲ罰セ  
 ン乎未タ人ヨリ財物ヲ獲取セサレテ以テ詐欺取財ニ問フヲ得ス夫  
 レ犯人ヲ引渡サス又之ヲ罰セストセハ必スヤ外國政府ハ不滿ヲ唱  
 ヘ結局戰爭ニ事ヲ訴ヘサルヲ得サルノ惡結果ヲ醸生スルニ至ラン  
 故ニ事未タ此ニ達セサルノ前ニ於テ罰ス可キノ明條ヲ設クルヲ要  
 ス草案ニハ之ヲ規定セリト雖モ我刑法ニ之ヲ刪除セシハ其何ノ故

タルヲ知ラサルナリ

第百八十六條 前數條ニ記載シタル貨幣ノ偽造變造

曰ニ成テ未タ行使セサル者ハ各本刑ニ照シ一等ヲ  
 減シ其未タ成ラサル者ハ二等ヲ減ス  
 若シ偽造ノ器械ヲ豫備シテ未タ看手セサル者ハ各  
 二等ヲ減ス

本條ハ單ニ偽造ノミニテ罪トナリ其行使シテ完全ノ目的ヲ達スル  
 ト否ヤトヲ問ハス之チ一罪トシテ罰シタルモノナリ元來貨幣偽造  
 罪ノ成立ハ行使ニ在リ然ルニ偽造ノミチ以テ罰スルハ罪ノ變体ナ  
 リ

然ラハ偽造シテ未タ行使セサルキハ未遂犯ノ如シト雖モ未遂犯ニ

(第百八十六條)



非スシテ豫備ノ所爲ナリ然ラハ之ヲ罰スル如何スヘキヤ豫備ノ所爲ハ罰スルヲ得ス又未遂犯ハ一等或ハ二等ヲ減セサルヘカラス故ニ本條ハ之レカ例外ヲ設ケ偽造ノミヲ以テ一罪ト爲シ之ヲ罰ス其未タ成ラサルモノハ豫備ノ未遂ノ如キモノナリ  
第二項 本項ハ全ク豫備ノ所爲ナレトモ貨幣偽造ハ其害多キヲ以テ特ニ之ヲ罰ス本來豫備ノ所爲ハ罰セサルヲ本則トスレトモ皇室ニ對スル罪内亂ニ關スル罪外患ニ關スル罪及ヒ貨幣偽造罪ノ四個ハ其害最モ多キヲ以テ其豫備ヲ罪スルナリ

第百八十七條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知テ雇ヲ

受ケタル職工ハ前數條ニ記載シタル犯人ノ受クヘキ情ニ照シ各一等ヲ減ス

若シ職工ノ補助ヲ爲シテ雜役ニ供シタル者ハ職工ノ刑ニ照シ一等又ハ二等ヲ減ス

雇ヲ受ケタル職工其偽造ノ情ヲ知テ加功シタル者ナルトモ要スルハ論ヲ俟タス何ントナレハ止タ金屬ヲ鑄解シ若クハ紙幣ヲ偽造スヘキ銅板ヲ磨ク爲メニ使用セラレ而シテ本人其情ヲ知ラサル如キニ於テハ毫モ之ヲ罰スヘキノ點アラサレハナリ  
職工ノ補助ヲ爲シタル者ノ如キハ固ヨリ其罪輕キモノナリ何ントナレハ其本罪ニ加功スル實ニ間接ニシテ殆ント尋常ノ事業ト異ナルナケレハナリ故ニ其犯罪ノ責任ヲ歸スルト少ナカラサルヲ得サルナリ

第百八十八條 貨幣ヲ偽造變造スルノ情ヲ知テ房屋

(第百八十七條) (第百八十八條)



ヲ給與シタル者ハ偽造變造ノ各本刑ニ照シ二等ヲ減ス

第百八十九條 偽造變造ノ貨幣ヲ内國ニ輸入シタル者ハ偽造變造ノ刑ニ同シ

第百九十條 偽造變造ノ情ヲ知テ其貨幣ヲ收受シ之ヲ行使シタル者ハ偽造變造シテ行使シタル者ノ刑ニ照シ各二等ヲ減ス

其未タ行使セサル者ハ各三等ヲ減ズ

偽造貨幣ノ行使及ヒ輸入ハ製造者自ラ之ヲ行フハ即チ是レ偽造貨幣ノ目的ヲ達シタルノ所業ナリトス若シ他人之ニ干預シ偽造者

ト共ニ謀リ此行使若クハ輸入ニ着手シタルハ偽造者ノ共犯タリ此共犯ハ實際概テ必スアルヘキモノナリ其偽造ナルヲ知テ之ヲ收受シ而シテ之ヲ行使スルモノ製造者ト共ニ謀ラサルカ如キハ甚タ少レナルヘシ然レモ此場合モ亦絶テ無シトスルヲ得ス是レ本條ノ由テ起ル所以ナリ今茲ニ一例ヲ舉ケンニ貨幣偽造罪ノ證據ナリトシテ裁判所ノ書記局ニ在ルモノヲ竊取シ之ヲ行使シタルカ如キ者ナリ

本條ハ其偽造若クハ變造ナルヲ知テ故ラニ之ヲ收受シテ行使シタルモノヲ指ス若シ其情ヲ知ラスシテ之ヲ收受シタル後ニ其偽造或ハ變造ナルヲ知リ得テ猶ホ之ヲ行使シタルモノハ則チ本條ニ入ラスシテ第百九十三條ニ該當ス可キモノナリトス

第百九十一條 前數條ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ

(第百八十九條)(第百九十條)(第百九十一條)



刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

第九十二條 貨幣ヲ偽造變造シ及ヒ輸入取受シタル者未タ行使セサル前ニ於テ官ニ自首シタル時ハ

本刑ヲ免シ六月以上三年以下ノ監視ニ付ス

若シ職工雜役及ヒ房屋ヲ給與シタル者未タ行使セ

サル前ニ於テ自首シタル時ハ本刑ヲ免ス

本條ニ自首シタル時ハ本刑ヲ免ストアルハ第二百二十六條ノ理由ト同一ナリ因テ此ニ之ヲ贅セス

第九十三條 貨幣ヲ取受スルノ後ニ於テ偽造又ハ

變造ナルヲ知リ之ヲ行使シタル者ハ其價額ニ倍

ノ罰金ニ處ス但其罰金ハ二圓以下ニ降スヲ得ス

本條ハ自ラ偽造シタルニ非ス偽造貨幣ナルヲ知ラスシテ之ヲ受取リ後始メテ之ヲ知り而シテ其損害ヲ避ケン爲メ之ヲ行使シタル場合ヲ云フモノナリ是レ人情ノ免レサル所ナルヲ以テ其刑ヲ輕クセリト雖モ其實既ニ偽造ナルヲ知テ之ヲ行使シタルハ竊盜ト言ハサルヲ得ス何トナレハ偽造貨幣ヲ以テ他人ニ財物ヲ詐取セラレタル代リニ又他人ヨリ財物ヲ取ラントスルモノナレハナリ

第二節 官印ヲ偽造スル罪

印章文書偽造ノ罪ハ偽造貨幣ニ次キ公衆ノ信ヲ害スル所ノ罪ニシテ其官印偽造ハ最モ重シ故ニ之ヲ信用ヲ害スル罪ノ章ノ第二節ニ置ケリ

第九十四條 御璽國璽ヲ偽造シ又ハ其偽璽ヲ使用

(第九十二條) (第九十三條) (第九十四條) 二百五十九



シタル者ハ無期徒刑ニ處ス

本條ノ罪ハ何レノ國ニ於テモ實際甚タ稀ナルヘシ其然ル所以ハ御璽國璽ハ唯立法ニ關スル文書又ハ政府ニ屬スル文書ノ正本等ニ押捺スルノミコソ人民ハ其文書ヲ見ルノ要ナキヲ以テナリ故ニ我邦ニ於テモ未ダ曾テ御璽國璽ヲ偽造シタル等ノ丁アルヲ聞カス佛國ニアリテモ亦未ダ其例アラスト云フ然レハ特ニ本條ヲ設クルヲ要セサルカ如シト雖凡之ヲ設ケサルキハ爾來外國交際ノ繁多ナルニ隨ヒ万一此犯罪者アルモ己ニ第二條ノアルアルヲ以テ罰スルヲ得サルノミナラス印章中最モ貴重ナル印即チ御璽國璽ノ偽造者等ヲ罰セスノ是レヨリ下レル官印ノ偽造者等ヲ罰スルハ法ノ体面上宜シキヲ得タルモノニアラス且ツ此犯罪者ハ未ダ曾テアラサリシ迄ニテ御璽國璽ヲ偽造スルモノハ其性質犯罪者タルニ相違ナケレ

ハ完全ナル刑法ヲ編制セント欲セハ必ラス之ヲ規定セサルヲ得サレナリ

本條ノ刑ヲ重クシタル所以ハ御璽國璽ヲ偽造シ又ハ使用スルキハ國權ヲ害スルノ實ニ大ナルニ因ル

本條ハ貨幣偽造罪ノ如ク御璽國璽ヲ偽造シタル罪ト之ヲ使用シタル罪トニ就テ區別ヲ爲サス故ニ偽造者又ハ他人ノ偽造シタルモノヲ使用シタルモノ及ヒ此二罪ヲ併セ犯セル者其刑皆同一ナリ

茲ニ注意スヘキコトアリ其偽璽ヲ使用シタル者ハトアルヲ以テ單ニ文面上ヨリ之ヲ見レハ偽造ノ御璽國璽ヲ使用シタルモノ、如クナレトモ本條ノ精神ハ然ルニアラス他人カ偽造シタル御璽國璽ナルヲ知テ之ヲ使用シ又ハ偽造ノ御璽國璽ヲ押捺シタル文書ナルヲ知テ使用シタル者皆本條使用ノ中ニ入ルヘキモノト草案ニハ偽

(第百九十四條)



造ノ國璽ヲ捺シタル文書ヲ僞用シタル者ハ云々トアリタリ審査ノ時本條ノ如ク改メタルナリ

第九十五條 各官署ノ印ヲ僞造シ又ハ其僞印ヲ使用シタル者ハ重懲役ニ處ス

本條ノ其僞印ヲ使用シタル者ハト云フモ前條ト同シシ他人カ僞造シタル官署ノ印ナルヲ知テ之ヲ使用シ又ハ僞造ノ官印ヲ押捺シタル文書物件ナルヲ知テ使用シタル者皆斯中ニ含蓄ス  
官署ノ印トハ官署ニ屬スル印ヲ謂フナリ草案ニハ官院省使府縣廳及ヒ各裁判所ノ官印云々トアリ蓋シ之ヲ各官署ノ印ト改メタルハ其文ヲ簡ニシ而シテ官署ト名クヘキモノハ皆包括セシムルノ意ニ出タルモノニシテ其旨意ヲ變更シタルニアラサルヘシ若シ草案ノ如ク官署ヲ指定スルキハ郡區役所ノ如キモノハ斯中ニ入ラサルヘ

シ

某官某印ト彫刻シタルモノハ官署ノ印ナルヤ否ヤ官署ナル文字上ヨリ云ヘハ無論官署ノ印ト謂フヲ得サルノミナラス治罪法ニ依ルモ亦然リ其第二十五條ニ官吏ノ作ル可キ書類ハ其所屬官署ノ印ヲ用ヒ年月日及ヒ場所ヲ記載シテ署名捺印シ每葉ニ契印ス可シ若シ官署ノ印ヲ用フルヲ能ハサル場合ニ於テハ云々トアリ此捺印トハ判事某ト彫刻シタル如キモノヲ謂ヒ官署ノ印トハ某裁判所ト彫刻シタル如キモノヲ謂フヤ必セリ然ラハ則チ本條ノ官署ノ印トハ官署ニ屬スル印ニシテ判事某ト彫刻シタル類ハ本條ニ含蓄セサルモノト決セサルヲ得サルニ似タリ然リト雖凡之ヲ官署ノ印ニアラストセハ第二百八條ノ私印僞造トナスヘキ歟其官吏ノ私事ニ用ユル印ニアラサレハ私印ト謂フヘカラサルヤ明クシ且ツ之ヲ草案ニ照

(第九十五條)



スニ前二條ニ記載シタル以外ノ官印及ヒ或ル文書產物商品等ニ押用スル官ノ記號極印ヲ偽造シ又ハ其偽印ヲ押シタル文書ヲ僞用シタル者ハ輕懲役ニ處スト云フノ條アリ其前二條トハ官院省使府縣廳及ヒ各裁判所國璽ノ印ニ付キ規定シタルモノナリ依テ前二條ニ記載シタル以外ノ官印トハ郡區役所郵便局電信局等ノ印ヲ含蓄スルモノトス又判事某ト彫刻シタル印ノ如キモ此中ニ入ルヘシ然ルヲ本條ニ各官署ノ印ト改メ前二條ニ記載シタル以外ノ官印ト云フヲ削除シタルヲ視レハ立法者ノ意ハ官署ノ印ノ中ニ含蓄セシムルニアリシヲ知ルニ足ル故ニ予ハ官署ノ印ナリト斷定ス

又一問題アリ印類ヲ偽造スルニアラスシテ印ヲ手記シタル者ハ偽造者ナルヤ否ヤ是レ實際甚タ稀ナルヘシト雖モ精巧ノ者ニ至リテハ爲シ能ハサルニアラス又甲ノ紙ニ印ヲ手記シ之ヲ乙ノ紙ニ押シ

タル者ハ如何予ヲ以テ之ヲ觀ルニ印トハ印類ヲ謂フ故ニ印類ヲ偽造シタルニアラスレハ罰セス蓋シ立法者ハ右ノ如キ場合ヲ豫想セサリシカ如シ若シ右ノ如キ場合ヲ以テ偽造ト做スキハ印影ヲ寫真ニテ取り又ハ石版畫ニナシタルノ類モ亦偽造トナサ、ル可ラス決シテ此理ナキナリ

又一問題アリ官印ヲ偽造スルニ全ク眞印ト同一ニセスシテ或ハ其字畫ハ眞印ニ異ナラサルモ一二ノ欠缺又ハ増補ヲ爲シタル類或ハ其字畫ヲ異ニシタル類ハ官印偽造ト謂フ可ラサル歟蓋シ是等ハ異日罰責アルヲ慮リ逆シメ爲スモノナシトセス昔者慶安ノ亂由井正雪ハ紀州賴宣ノ印ヲ偽造スルキ賴宣ノ印ハ虎ノ丸ノ内ニ賴宣ト云フ文字ヲ彫刻シタルモノナルヲ賴ノ字ノ東ノ遍ヲ一畫缺キタリ云フ是ノ如キハ異日偽造罪ヲ免レンガ爲メニ爲シタルニアラス

(第百九十五條)



シテ事覺ル、日頼宣ニ嫌疑ナカラシメンカ爲メニ爲シタルモノナ  
リト雖モ又自己ノ罪ヲ免レンカ爲メニスルモノアラシキヲ以テ之  
ヲ觀ルニ印章ノ文字些少ノ變換アリト雖モ容易ニ眞印ト判別スル  
ヲ得スシテ眞印ト誤認シ易キ場合ハ官印偽造トナサ、ル可ラス但  
此判定ハ實際ニ於テ法官ノ鑒識ニ存ス蓋シ偽造ハ到底眞印ニ異ナ  
ルヤ必セリ然レモ一見其變換ヲ判別ス可ラサルヨリ往々詐僞ニ陷  
ル者アリ故ニ些少ノ變換ヲ爲スト雖モ一見其眞僞ヲ判別ス可ラサ  
ルニ於テハ之ヲ偽造ト謂フ固ヨリ妨ケナシ

第九十六條 產物商品等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ  
偽造シ又ハ其偽印ヲ使用シタル者ハ輕懲役ニ處ス  
書籍什物等ニ押用スル官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ  
其偽印ヲ使用シタル者ハ一年以上三年以下ノ重禁

鑑ニ處ス

記號トハ官衙ニ於テ箱車等其他產物商品ニ附スル所ノ印標數字等  
ヲ謂ヒ印章トハ金銀細工物ノ品位ヲ保證スル爲メニ鑿錘テ用ヰテ  
打ツ所ノ記號ノ類ヲ謂フ

茲ニ注意スヘキトアリ使用ハ官印ト官ノ記號印章トニ付テ異ナル  
モノアリ偽造ノ官印ヲ使用スル罪ハ唯偽造ノ官印ヲ文書ニ押捺ス  
ルノミナラス其文書ヲ使用シタルニアラサレハ成立タス之ニ反シ  
テ偽造ノ記號印章ヲ使用スル罪ハ情ヲ知テ產物商品等ニ打チタル  
ヲ以テ即チ成立ツモノトス蓋シ是時ニ於テ偽造ノ爲メニ自己ノ希  
望セシ所ノ不正ノ利ヲ獲タレハ也

第二項ハ實際不用タルヲ免レス本項云フ所ノ偽造ヲ爲ス者恐ラシ  
ハ之レナシ好シヤ之ヲ偽造スル者アリテ押捺セハ其押捺シタル物

(第九十六條)



件ハ官ノ所有トナルカ如キノミニシテ官ハ反テ利益ヲ得ルモ損害ヲ受クルコトナシ草案ニハ本項ナシ而シテ或ル文書云々ノ字アリタリ

第百九十七條

御璽國璽官印記號印章ノ影蹟ヲ盗用

シタル者ハ前數條ニ記載シタル偽造ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

若シ監守者自ラ犯シタル時ハ偽造ノ刑ニ同シ

盗用トハ盗ンテ用フルモノ又ハ擅ニ用フルモノヲ謂フ盗ノ字義強盜竊盜ノ盜ト同シカラス佛文草案ニ「アツボシシヨン、イレガール」即チ不法ノ押捺ナル字ヲ用ヰタリ亦以テ其意ノアル所ヲ見ルヘシ故ニ盗用トハ不法ノ押捺ナリト解スヘシ例ヘハ夫ノ戸長カニ重抵當

ノ証書ニ戸長役場ノ印ヲ押捺スル若キハ所謂盗用ナリトス

茲ニ盗用ノ罪ノミチ定メ盗用シタル文書ナルコトヲ知テ使用シタルモノ、罪ヲ定メサルハ脱漏ナリ例ヘハ人アリ官印ヲ盗用シテ押捺シ而シテ他人ハ其情ヲ知テ之ヲ受取り使用シタルモ之ヲ押捺シタルモノハ盗用ノ罪アレド此他人ハ罪ナシ故ニ本條ニ又ハ其情ヲ知テ使用シタル者云々ト増加スルヲ以テ可トナス

又一ノ脱漏アリ真正ナル官印ヲ押捺シタル文書ヨリ其影蹟ヲ切取シ之ヲ偽造シタル他ノ文書若クハ真正ノモノナルモ未ダ官印ヲ押捺ス可ラサル他ノ文書ニ貼附シタル時例ヘハ大藏省ヨリ他人ニ負債ノ証書ヲ渡シタルモ舍密等ノ術ヲ以テ其印影ヲ他ノ紙ニ抄寫スル若キコトナシトセズ是レ本條ノ謂フ所ノ盗用ニ非ス乃チ之ヲ罰スルコトヲ得サルナリ草案ニハ特ニ此條ヲ設ケ他ノ文書物品ニ移シ以

(第百九十七條)



テ偽造シタル文書ヲ僞用シタル者云々トアリ又右ノ脱漏ヨリシテ  
 他ノ文書物品ニ移シタルヲ使用シタルモノヲモ罰スルヲ得サル  
 第二ノ脱漏アリ是等ハ宜シク増加スヘキモノトス  
 本條ノ罪ハ偽造ノ刑ニ照シ一等ヲ減スル所以ハ發見スルヲ得サル  
 片ハ他日復々他ノ犯罪ノ用ニ供スルヲアルヘキ僞印ヲ造リタルモ  
 ノニアラサレハ官印ヲ監守スル者特ニ注意ヲ加フルキハ再ヒ不正  
 ノ押用ヲ爲スヲ防クヲ得ヘク且ツ偽造ハ時間ト勞力トヲ要スル  
 モノナレハ豫備ノ意深クシテ惡意多シト雖本條ノ罪ハ即時ニ犯  
 シ得ルモノナレハ其惡意ノ度少キニ因ル又監守者ニ付テ特ニ一等  
 ナ陸シ偽造ノ刑ト同一ニナシタル所以ハ社會ノ危險特ニ甚シク其  
 道德ニ背クモ亦大ナルニ因ル

第九十八條 官ヨリ發行スル各種ノ印紙界紙及ヒ

郵便切手ヲ偽造變造シ又ハ其情ヲ知テ之ヲ使用シ  
 タル者ハ一年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以  
 上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

其情ヲ知テ之ヲ使用シタル者トハ偽造ノ界紙ヲ用キテ證書ヲ記シ  
 偽造ノ印紙ヲ貼用シ偽造ノ印紙界紙ヲ發賣スル等ヲ謂フナリ  
 本條ノ罪ハ重罪ノ刑ヲ以テ罰スル程ノモノニアラスト雖亦甚タ  
 輕カラサル罪ナリ故ニ輕罪中最重ノ刑ヲ以テ罰スルナリ

第九十九條 已ニ貼用シタル各種ノ印紙及ヒ郵便  
 切手ヲ再ヒ貼用シタル者ハ二圓以上二十圓以下ノ  
 罰金ニ處ス

明治十四年第七十二號公布第六條ニ法律規則中罰例アリト雖亦刑  
 (第九十八條)(第九十九條)



法ニ明條アルモノハ刑法ニ依テ處斷ストアレハ本條及ヒ前條ノ罪  
ハ他ノ法律規則ト抵觸スルキハ本條及ヒ前條ニ依テ罰セサル可ラ  
ス

第二百二條

此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシテ未  
タ遂ケサル者ハ未遂犯ノ例ニ照シテ處斷ス

官印偽造ノ未遂犯罪トハ既ニ其偽造ノ業ニ着手シ而シテ發覺シタ  
ルモノヲ謂フ

偽造ノ官印ヲ使用スル未遂犯罪ハ犯人利益ヲ得ルノ目的ニテ偽造  
ノ文書ヲ官衙若クハ私人ニ提供シ而シテ其詐偽發覺シテ効ヲ成サ  
ル時是レ也

第二百一一條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ

處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ付ス

此節ニ記載シタル罪ヲ犯シ輕罪ノ刑ニ處スル者ハ監視ニ附ストア  
ルヲ見レハ罰金ノミノ刑ニ處スルモノ即チ第九十九條ヲ犯シタ  
ル者ニモ監視ヲ附スヘキモノ、如クナレハ元來監視ハ体刑ニノミ  
附加スヘキ刑ナレハ罰金ノ刑ニ處スヘキモノニハ附加スルヲ得サ  
ルモノトス故ニ本條ハ第九十八條ノ次ニ置クカ或ハ輕罪ノ刑云  
々ヲ改メテ禁錮云々ト記スルヲ可トナス司法省ノ内訓ニモ監視ハ  
体刑ニ附加スルニ止ル者トストアリ

(第四十五回)

第三節 官ノ文書ヲ偽造スル罪

本節ハ官ノ文書ヲ偽造スル罪トアレハ偽造ノミナラス毀棄ノ罪モ

(第二百二條)(第二百一一條)



之レアリ官ノ文書トハ其意甚タ汎ク公ノ文書ノ一ヲモ包含セリ本節ノ罪ハ適用スル場合至テ少シ凡ソ官ノ文書ヲ偽造スルニハ官印ヲ偽造セサレハ其効用ヲナサス故ニ文書ヲ偽造スルニハ官印ヲ偽造スルヲ以テ數罪俱發一ノ重キ官印偽造罪ニ依テ處斷スレハナリ是ニ由テ之ヲ觀レハ本節ハ無用ナルカ如シト雖モ敢テ然ルニアラス且ツ本節ハ困難ナルモノアリ諸君ノ注意アラソク望ム本節ノ罪タルヤ交際ノ繁劇ナルニ從テ文書ヲ記スルト多ク隨テ之ヲ犯スモノモ其數ヲ増シ且ツ其犯ス方法モ種々アルニ至ルヘシ例ヘハ原被告裁判所ヨリ召喚ヲ受ケ疾病ナリト詐リ醫師ノ診斷書ヲ偽造シ之ヲ裁判所ニ呈出シタル時ハ偽造文書ト稱スルヲ得ヘキヤ又觀レニ裁判所ノ呼出狀ヲ造リ之ヲ人ニ送達シタル時ハ如何法文上ヨリ觀レハ皆偽造文書ニシテ重罪ナレモ未タ必ラシモ然ラサル

ナリ

官文書毀棄ノ事ニ付テハ曩日實例ノ出現セシコトアリ裁判所ノ呼出狀ヲ送達セシニ此ノ如キ呼出狀ヲ受クルノ理ナシト云テ之ヲ破毀シ火中ニ投シタリ依テ豫審廳ハ重罪ト做シ重罪公判ニ移セシカ竟ニ無罪ノ言渡アリタリ其言渡ノ主旨ハ本人既ニ呼出狀ヲ受取り了リタレハ官文書タル性質ヲ消滅セルヲ以テ一ノ廢紙タルニ過キスト云フニアリ此理由ニ依レハ未タ受取ラサルモハ重罪ト做シテ問フヘキカ如シ此ノ如ク受取リタルト否ヤトニ因テ大差違ヲ生ス實ニ危殆ナリト謂フヘシ但此事ハ其法條ニ至リ更ニ詳陳スヘシ以上云フ如ク本節ハ其意茫漠トシテ且ツ事錯雜ス實ニ至難ト謂フヘシ乃チ之ヲ講スルモ亦易々ノ業ニアラサルナリ是レ最モ諸君ノ注意ヲ望ム所以ノモノナリ

(第二百一條)



偽造文書ノ罪ニ付テハ法律ハ古來其定解ヲ與フルモノナク佛國刑法ハ少シク其偽造ノ方法ヲ密ニ記スルニ止マレリ唯米國刑法ニ其定解ヲ與ヘタリ

今ヤ進テ文書偽造罪ノ原則ヲ説明スルノ時機ニ至レリ其原則ニシテ明カナレハ他ハ自ラ判然タル可シ抑々其罪タル必ス左ノ三要件ヲ具備セサルヘカラス

第一 信實ニ違フ事

第二 人ヲ害スルノ意アル事

第三 損害ヲ生スル事又ハ生シ能フ事

第一 信實ニ違フ事若シ其信實ニ違ハサルコトヲ記載スルキハ文書偽造ニアラサルナリ例ヘハ甲者アリ乙者ニ對シテ金圓ヲ貸與セリ然ルニ乙者之ヲ返還セス又証書ヲモ出サス因テ甲者ハ自ラ其証書

ヲ記シ乙者ノ印ヲ奪フテ之ニ押捺シ或ハ強テ乙者ノ手ヲ執テ之ヲ記セシメ且ツ之ニ捺シセシメタル如キ場合アレハ其貸借ハ實際アリタルコトナレハ之ヲ稱シテ信實ニ違フト云フヲ得ス乃チ偽造ニアラサルナリ

凡ソ此信實ニ違フ事ニ付テハ有形ト無形トノ別アリ有形ノ信實ニ違フトハ元ト形跡アリテ其事實ヲ偽造シタルモノヲ云フ即チ百圓ノ証書ヲ二百圓ト改ムルカ如キ是レナリ

無形ノ信實ニ違フトハ其意味ヲ偽造シタルモノニシテ即チ全ク原因ナキコトヲ記載スル是ナリ例ヘハ甲者乙者ニ對シテ金圓ヲ貸シタルコトナキニ貸渡シタル証書ヲ偽造スル如キハ無形ナリ又例ヘハ未ダ曾テアラサル所ノ偽勅ヲ造リ之ヲ新聞紙上ニ記載シタル如キハ勅書ノ偽造ニアラス其意味ヲ偽造シタルモノニシテ亦無形ナリ



爰ニ少シク異ナリタル場合アリ甲者乙者ニ代理委任ノ契約ヲ爲シ其委任狀ヲ書セシメタルニ乙者之ニ賣買ノ契約ヲ記シタリ此賣買タルヤ全ク無キコニシテ其無形ノ意味ヲ偽造シタルモノナリ又公証人代理委任ノ証書ヲ記載スルノ依頼ヲ受ケ之ニ賣買証書ヲ記シタル如キモ同一ニシテ皆無形ノ信實ニ違フタルモノナリ

第二 人ヲ害スルノ意アル事凡ソ罪ト爲スニハ必ス其意ナカルヘカラス意ナキ所爲ハ罪ト爲ラサルナリ此意タル種々アリ人ヲ殺サントスルノ意アルキハ故殺ナリト雖此偽造罪ニ至テハ唯偽造スルノ意ノミニテハ不可ナリ尙ホ一步ヲ進メテ其目的タル他人ヲ害スルノ意ヲ以テ偽造シタルヲ要ス否ヲスシテ假令信實ニ違ヒ且ツ損害ノ生スルモ其意全ク偽造サレタル人ノ利益ヲ圖ランガ爲メニ偽造シタル如キハ偽造罪ニ非サレナリ我刑法ニ於テモ己ニ此點ヲ

明テカニセリ觀ヨ偽造スルモ行使セサル時ハ罪トセス是レ人ヲ害スルコトナキ故ナリ

例ヘハ刑事被告人種々ナル無實ノ偽言ヲ書面ニ認メ之ヲ法廷ニ提供シタル時ハ偽造ナルヤ否ヤ此書面タル辨護ノ方法ニシテ其申立ツルコトハ實事ニ違フタルコトナシト云フニアラス只我申立ツル所ハ即チ此文書ノ意味ニ相違ナシト云フノ意タルニ過キサルヲ以テ其偽造ニアラサルヤ明カナリ又夫ノ戯レニ裁判所ノ呼出狀ヲ造リ之ヲ人ニ送達シタル者ノ如キハ所謂害意アラサルヲ以テ亦偽造文書ニアラサルナリ

第三 損書ヲ生シ又ハ生シ能フコト唯リ損害アリシキノミナラス損害ヲ生シ能フキハ偽造罪ナリ此條件ニシテ具ハラサレハ文書偽造罪ト爲ス可ラサルナリ是ヲ以テ夫ノ醫師ノ診斷書ヲ偽造シ之ヲ裁



判所ニ提出シ出頭セサル如キ聊カ損害ノ生スルヲナシ何トナレハ元來書面ヲ呈出セスシテ出頭セサルモ欠席裁判法ノアルアレハ其書面ヲ呈出シタルカ爲メニ特ニ害アルヲナケレハ也又富士山ヲ賣却スル旨ノ証書ヲ記スルカ如キモ其損害ノ生シ能フヘキヲニアラス故ニ文書偽造ニアラサルナリ

茲ニ至難ノ問題アリ甲者委任狀ヲ記セシメンカ爲メニ白紙ニ捺印シテ之ヲ乙者ニ交付セリ然ルニ乙者ハ之ニ委任狀ヲ記セスシテ賣買證書ヲ記シタリ是レ偽造文書ナルヤ否ヤ此判定ハ唯刑法ノミナラス民事上ニモ及ホスモノトス若シ之ヲ以テ偽造文書トナセハ該證書ハ第三ノ人(即チ甲乙以外ノ人)ニ對シテ効力ナキヲ以テ甲者ハ第三ノ人ニ對シテ毫モ責任ナシ之ニ反シテ偽造文書ニアラストセハ第三ノ人ニ對シテ責任ヲ負ハサル可ラス人或ハ云フ甲者ハ乙者

其人ヲ信用シタル以テ捺印シタル白紙ヲ交付シタルモノニシテ即チ我權利ノ幾分ヲ分與シタルモノナレハ背信罪タルハ免ンスト雖モ偽造文書罪トスルヲ得スト予以爲ラク然ラス佛蘭西刑法(第四百七條)ニ於テハ明ラカニ此種ノ犯罪ヲ規定シタレモ我刑法ニハ之ヲ觀ス是レ刑法ハ此種ノ犯罪ヲ以テ偽造文書トナサ、ルノ意ニアラサル歟決シテ否ラス凡ソ法ニ文明ナキモハ性質ニ付テ論セサル可ラス今此性質ヲ釋スルニ偽造文書タルト更ニ疑ヒヲ容レサルナリ何ントナレハ以上述ル所ノ信實ニ違フ一人ヲ害スルノ意アルト損害ヲ生シ又ハ生シ能フトノ一要件ハ全ク具備シテ毫モ缺クル所ナケレハ也夫レ此ノ如ク性質上ヨリ視レハ偽造文書罪ナレモ甲者モ亦疎忽ニ人ヲ信用シタルノ過ナルヲ免レサルヲ以テ佛蘭西刑法ハ特ニ偽造文書罪ノ中ヨリ之ヲ拔キ背信ノ罪ノ中ニ加ヘタルナリ



刑法草案原文ニハ明條アリタリ刑法ニハ明條ナキヲ以テ犯罪ノ性質ヨリ之ヲ論シ偽造文書トナサ、ル可ラス

以上述ル如クナルヲ以テ偽造文書罪ハ必ラス以上ノ三要件ヲ具備セサルヘカラス若シ其一ヲモ缺クハ偽造文書罪ヲ構成セス

第二百二條

詔書ヲ偽造シ又ハ増減變換シタル者ハ無期徒刑ニ處ス其詔書ヲ毀棄シタル者亦同シ

本條ハ簡單ナリト雖モ亦解シ易カラサルノ條ナリ抑詔書ヲ偽造スルトハ何レノ點ヲ指シテ云フ乎其文章ヲ偽造スルモ此中ニ入ルヘキヤ例ヘハ云々ノ勅諭アリト文章ヲ偽造シタル類是レナリ法文ニ依レハ文書ヲ偽造シタルモ如クナレモ予ノ考案ニ於テハ無形ノ意味即チ文章ヲ偽造スルコトモ亦包含セルモノトス  
本條ニハ行使ノ文字ナキヲ以テ之ヲ行使セサルモ單ニ偽造スルノ

ミニテ罪トナルモノナリ是レ其犯罪ノ最モ重キヲ以テナリ元來偽造變造ハ罪ヲ行フノ豫備ナリ豫備ハ罰セサルヲ本則トス今之ヲ一罪トナシテ罰スルナリ

本條ノ罪ハ之ヲ犯ス者實ニ稀ナルヘシ然レモ既ニ官印偽造ノ罪ニ於テ首ニ掲クルニ御璽國璽ヲ偽造シタル者ノ罪ヲ以テセリ乃チ官文書偽造ノ罪ニ於テモ亦必ラス首ニ掲クルニ本條ヲ以テセサル可ラス而シテ本條ノ罪ハ之ヲ犯スモノ、實ニ稀ナルニモ拘ハラヌ之ヲ規定スルヲ要シタル所以ハ御璽國璽ヲ偽造スルノ條ヲ規定シタルノ理由ニ全シ是レ已ニ悉シタレハ今復タ贅セス

本條以下第二百二條第二百三條第二百四條等ニ於テ大ナル脱漏アリ即チ偽造變造ノ情ヲ知テ行使シタルモノ、罪是レナリ既ニ官印偽造罪ノ節ニ於テハ其使用シタルモノ、罪ヲ規定シ乍ラ茲ニ至リ

(第二百二條)



テ之ヲ載セサルハ脱漏ニアラスシテ他ニ其理由アルヲ視サルナリ  
 或ハ曰ク第二百三條以下ハ偽造シタルノミコテ行使セサルキハ未  
 タ其害アラス要スルニ行使ヲ責ムルニアリ故ニ偽造變造ノ情ヲ知  
 テ行使シタル者ハ自ラ偽造變造セスト雖モ偽造變造シテ行使シタ  
 ルモノヲ以テ罰セサルヘカラス詔書ハ未タ行使セスト雖モ偽造ス  
 レハ則チ罪トナルモノニシテ己ニ行使スルモ仍ホ偽造ノ刑ヲ得ル  
 モノナレハ偽造ノ情ヲ知テ行使シタル者ハ自ラ偽造セスト雖モ偽  
 造ヲ以テ罰スヘシト牽強タルヲ免レザルノ説ナリ

### 第二百三條 官ノ文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行

使シタル者ハ輕懲役ニ處ス

其官ノ文書ヲ毀棄シタル者亦同シ

官ノ文書トハ如何ナル文書ナル乎曰ク官吏又ハ官署ヨリ發スル文  
 書ヲ謂フ本條ハ偽造シタルノミニテ行使セサルキハ罪トナラス其  
 意蓋シ目的ナク且ツ利益ナクシテ斯ル犯罪ヲ企ツルモノナシト云  
 フニアリ即チ文書偽造ノ目的ハ行使ニアリテ偽造ハ其豫備ノ所爲  
 ナレハナリ然レモ偽造シタルノミニシテ甚タ危險アリ例ヘハ予大  
 藏省ノ倉庫ニ入り其帳簿ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ藏メ置クト雖  
 モ必ラス爲メニ害ヲ生スルニ至ルヘシ或者曰ク帳簿ハ元來藏メ置ク  
 モノナレハ假令人ノ知ラサルモ藏メ置キタルハ即チ己ニ行使ナリ  
 ト此説非ナリ行使トハ之ヲ用ヰテ他人ヨリ財物ヲ欺キ取リタル如  
 キヲ云フモノニシテ倉庫ニ藏メ置キタル如キハ行使ニアラサルナ  
 リ私文書ニ付テモ亦同一ニシテ例ヘハ予ニ對スル貸金証書ヲ偽造  
 シ之ヲ筐中ニ藏メ置キ未タ行使セサルモノアリ是レ予ノ生存中ハ



畏ル、ニ足ラスト雖も予ノ死後ニ至リ其偽造証書ヲ以テ請求セラレハ予ノ相續人ハ爲メニ其金圓ヲ返辨セサルヲ得サルニ至ルニアラン是ニ山テ之ヲ觀レハ其危險甚タ大ナリト謂フヘシ故ニ行使セサレハ罰セサルハ當チ得タルモノニアラサルナリ

第二百四條 公債證書地券其他官吏ノ公証シタル文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス若シ

若シ無記名ノ公債証書ニ係ル時ハ一等ヲ加フ

本條ニ記載スル所ノ文書ハ純粹ナル官文書ニアラス何ントナレハ公債証書及ヒ地券ハ官ヨリ發スト雖も其所有ハ人民ニアリ又官吏ノ公証シタル文書トハ書入質証書ノ局長ノ與書割印ヲ爲シタル者

等ニ過キサレハナリ

無記名ノ証書ニ係ルキ一等ヲ加フル所以ハ其偽造ノ容易ニ發見シ難キニ因ル

第二百五條 官吏其管掌ニ係ル文書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ前二條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

其文書ヲ毀棄シタル者亦同シ

官吏其管掌ニ係ル文書ヲ偽書スル如キハ犯シ易クシテ防キ難キヲ以テ其危險特ニ甚シ又其道德ニ反スルモ大ナリトス故ニ其刑ヲ重フセリ

官吏其官署ニ備ヘ置クヘキ書類ヲ偽造スルモ備ヘ置ク丁ハ行使ニ

(第二百四條)(第二百五條)



アラス依テ本條ニ問フヲ得ス行使ノ字最モ注意セサル可カラス  
第二百六條 官ノ文書ヲ偽造スルニ因テ官印ヲ偽造  
シ又ハ盜用シタル者ハ偽造官印ノ各本條ニ照シ重  
キニ從テ處斷ス

本條ノ罪ハ數罪俱發一ノ重キ官印偽造罪ニ問フヘキハ當然ニシテ  
特ニ本條ヲ俟テ而シテ知ラサルナリ本條ハ何ノ爲メニ設ケタル歟  
實ニ其用ヲ視ス且ツ此ニ之ヲ記載セハ私印私書偽造罪ニ付テモ之  
ヲ記載スヘキニ唯本節ニノミ之ヲ掲ケタルハ其何ノ意タルヲ知ラ  
サルナリ

第二百七條 此節ニ記輔シタル罪ヲ犯シ減輕ニ因テ  
輕罪ノ刑ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ

付ス

以上述ル所ハ本節ノ大略ナリトス尙ホ其悉シキハ之ヲ次回ニ讓ラ  
ン

(第四十六回)

前回ニ於テ文書偽造罪ノ原則ト第二百二條以下ノ大意トヲ講述セ  
リ本日尙詳細ニ之ヲ再講セン

(第二百二條)

前回ニ述ヘシ如ク詔書偽造ニ二種アリ有形無形ノ偽造是ナリ而シテ  
又無形ノ偽造ニニアリ即チ全ク無キ所ノ詔書ノ意味ヲ偽造スルト  
詔書ヲ書ク可キ官吏詔アリタル其詔ノ文章ノ意味ヲ偽造スルト是  
ナリ然リ而シテ其全ク無キ所ノ詔書ノ意味ヲ偽造スルキハ罪トナ

(第二百六條)(第二百七條)



ルヲアリ或ハ罪トナラサルヲアリ即チ揭示シテ公衆ニ示シタルキハ罪アリトス例ヘハ戸長會テ無キ所ノ詔書ノ意味ヲ偽造シ揭示場ニ掲ケ公衆ニ示シタルキハ罪アリトス然レハ唯之ヲ新聞社ニ送附シタルノミノ如キハ偽造罪トナラサルナリ

此ニ増減變換トアリ是レ真正ノ詔書ニ付テ爲シタルヲ云フモノニシテ即チ其詔書中ニ記載セル月日或ハ文書中ノ條件ヲ變換スル如キヲ云フ然ルニ其詔書中ノ文字ヲ塗抹シタルモ未タ其文字ノ見分ケ得ル時ハ如何之ヲ塗抹スルノ權利ナキ者ニシテ之ヲ爲スルハ罪アレハ文字ノ見分ケ得ルキハ増減變換ト云フヲ得ス然レハ未遂犯ヲ以テ論ス可キ乎未遂犯ハ意外ノ障碍又ハ舛錯ニ因テ其所爲ヲ遂ケサルキヲ云フモノニシテ此場合ハ自ラ全ク遂クルノ意思ニ非サルヲ以テ罪トナラサルナリ

其詔書ヲ毀棄シタル者亦同シト詔書偽造ノ罪ハ至テ稀ナリ殊ニ毀棄罪ノ如キハ殆ト無シト云フモ可ナリ毀棄ノ罪ハ偽造罪ヨリモ其惡意僅少ナルニ因リ其罪モ輕カル可キニ偽造變造ト同非ニ處スルハ余ノ解スル能ハサル所ナリ

(第二百三條)

官ノ文書ヲ偽造シ云々官ノ文書トハ如何ナルモノヲ云フカ曰ク官吏又ハ其資格ヲ有スル者ノ記シタル文書ニシテ官署ヨリ發シタル者ヲ云フ

此偽造ニモ有形ノ偽造ト無形ノ偽造トノ二別アリ而シテ官ヨリ達スル文章ヲ偽造シ之ヲ新聞紙上ニ記載シタル如キハ罪トナラズ然レハ官令ヲ掲載スヘキ職務アル新聞紙ニ記シタル時ハ罪アリトス又揭示場ニ揭示シタルキモ亦罪アリトス通常ノ新聞紙ニ記セシ如

(第二百七條)



キハ只虚言ヲ爲シタルニ過キス虚言ハ固ト罪トナラサルモノニノ  
之ヲ罰セサルナリ

又此ニ官ノ文書ヲ作り得ヘキ資格ヲ有シタル人無形ノ偽造即チ官  
文書ノ意味又ハ未タ曾テアラサル所ノ事ヲ偽造シタル時モ偽造罪  
ナリ

爰ニ無効ノ事ヲ偽造シタル場合ハ如何例ヘハ文部省ニ屬ス可キ教  
育ノ事ニ關シタルコトヲ大藏卿ノ名ヲ記シテ偽造シタル時ノ如キ是  
ナリ如此事ハ其例少シト雖モ大藏省内務省農商務省等其事務ノ相  
連絡スルモノハ之ヲ偽造スルモ容易ニ見分ケ得ル能ハス本來此如  
偽造ハ權限外ノ事ナリ權限外ノ事ハ無効ナルモノナリ故ニ無効タ  
ル權限外ノ事ヲ記シタル偽造ハ偽造罪ヲ以テ論スルヲ得ス之ヲ無  
罪トスルハ實ニ危險ナル如クナレモ此危險ヲ以テ權限外ノ文書ヲ

偽造スルモノ之ヲ罰セサルヲ得ストモハ大藏省ノ達ス可キ事ヲ明治  
法律學校ノ名ヲ以テ布達スル如キモノ之ヲ罰セサルヲ得ス豈笑フ可  
キコトナラスヤ故ニ大藏卿ノ名ヲ以テ文部省ニ屬スル教育ノ事ニ關  
スル布達ヲ偽造シタル如キ權限外ナルコトノ明瞭ナル時ハ無効ノ文  
書タルヲ以テ無罪ナリ而シテ其何レノ官省ニ屬スル文書タルカヲ  
認定スルハ裁判官ノ任ナリ

爰ニ難事アリ前ノ大藏卿タリシ人ノ名義ヲ以テ文書ヲ偽造シテ行  
使シタルモハ如何例ヘハ前ノ大藏卿タリシ大隈重信君ノ名ヲ記シ  
大藏省ノ文書ヲ偽造シ今日ノ日付ヲ以テ行使シタルモハ如何是レ  
無効ナルヲ以テ無罪ナリト云ハサルヲ得ス何ントナレハ大隈君ハ  
己ニ大藏卿ヲ辭職セラレタレハ我々通常人ト異ナル所ナシ然ルニ  
其通常人ノ名ヲ記シテ之ヲ偽造シ行使スルモ更ニ何ノ効モアラサ



レハナリ然ルニ大隈君ノ大藏卿タリシ時ノ日付ヲ記載シタルキハ如何予ハ有効ナルヲ以テ偽造罪ナリト信ス

夫レ如此僅ニ日付ノ前後ニ由テ偽造罪タルト否ヤトノ大差違ヲ生スルハ甚タ不權衡ナルカ如シト雖此點ニ付テハ予猶ホ疑團ナキニ非ス然レモ蓋シ其人官ニ在リシキノ日付ナレハ他人ヲ欺キ易ク從テ其危險少ナカラサルヲ以テ之ヲ罰セサルヲ得サルナリ

第二項 官ノ文書ヲ毀棄シタルモノ亦同シト此毀棄ト偽造トハ其犯意ト云ヒ又其事柄ニ至ルモ皆異ナレリ然ルニ之ヲ偽造ト同條ニ規定シタルハ不可ナリ此毀棄ハ詔書毀棄ノ場合ヨリモ多カル可シ而シテ之ヲ毀棄スルモノ悉ク之ヲ罰スルニ非ス必ス左ノ二要件ヲ具備セサル可ラス

第一 損害アル事

第二 害意アル事

信實ニ違フ條件ハ備ラサレモ右二要件ハ必ス具備セサル可ラス然ルニ往々官ノ文書ヲ毀棄シタル者ハ其文書ノ如何ナルヲ問ハズ悉ク之ヲ罰スヘキカ如ク記載シタルハ不可ナリ官ノ權利義務ニ關スル文書ヲ毀棄シタル者云々ノ意ニ改正スルヲ要スル如シ

(第二百四條)

公債證書地券等ノ如キハ官ヨリ之ヲ發スレモ官ノ文書ト云フヲ得ス何ントナレハ人民ノ所有シ得可キモノナレハ官ノ文書ト異ナレハナリ又官吏ノ公証シタル文書トハ戶長役場ニ於テ地所又ハ建屋ノ書入質ノ公証ヲ爲シタル如キモノヲ云フ

本條モ行使セサレハ罪トナラサレモ偽造又ハ増減變換シタルノミニテ未タ行使セサルモ其危險大ナルハ前條ノ場合ト同一ナルヲ以

(第二百七條)



テ之ヲ罰スルノ必要アルカ如シ

本條ノ罪ヲ以テ罰スル場合ハ至テ稀ナルヘシ何ントナレハ此等ノ  
証書ニ於テハ官印ナケレハ其効チ有セス又世人モ之ナケレハ請取  
ラサルヘシ故ニ本條ノ罪ヲ爲スヤ必ス官印偽造罪ヲ爲スニ至ル可  
シ因テ二罪俱發一ノ重キ官印偽造罪ニ問フヘキヲ以テナリ獨リ之  
ヲ適用スルモノハ増減變換ノ場合アルノミ

(第二百五條)

行使ノ文字本條ニ至テ益其不可ナルヲ覺ユ本條ノ場合ハ往々行使  
セサルナリアリ戸長役場ニ於テ其管掌ニ係ル文書ヲ偽造シ之ヲ備ヘ  
置キタルト如キハ行使ト云フヲ得ス而シテ如此場合ハ多クアル  
モノナレトモ之ヲ罰スルヲ得ス宜シク改正スヘキノ法條ナリ  
毀棄者ヲ偽造又ハ變造ト同罪ニ處スルノ不可ナルハ前條ニ論辨シ

タが如シ

(第二百六條)

本條ノ如キハ無用ノ法條ナリ若シ官ノ文書ニ付テ之ヲ規定セハ亦  
宜ク私証書ノ條ニ於テモ之ヲ規定スヘシ然ルニ特リ本條ニノミ之  
ヲ掲ケタルハ其意ヲ解スル能ハス元來本條ノ設クナシト雖モ數罪  
俱發ヲ以テ問フヘキハ理ノ當ニ然ルヘキナリ何ソ此條チ俟テ而  
シテ知ンヤ之ヲ此ニ掲クルハ反テ疑點チ生スルニ至ル可シ何ント  
ナレハ官ノ文書ニノミ之ヲ掲ケ私文書ニ之ナキカ故ニ或ハ私文書  
ニ付テハ之ヲ罰セサルカ如キ反對ノ解釋法ヲ以テ解釋シ得ヘケレ  
ハナリ

(第二百七條)

第四節ニ於テハ未遂犯ノヲ記載セリト雖モ本節ニ於テハ之カ記

(第二百七條)



載ナキ所以ノモノ元來重罪ハ其未遂犯ヲ罰スヘキトハ総則ニ規定セリ而シテ本節ノ罪ハ皆重罪ナレハ別ニ之ヲ記載スルヲ要セサレハナリ然レモ重罪ノ未遂犯ヲ罰スルニハ行使ノ字義ヲ明ニセサル可ラス今公債証書ヲ偽造シ他人ヨリ金圓ヲ借受ケタルハ行使ナレモ其人未タ金圓ヲ貸シ與ヘサルハ唯其証書ヲ示シタルノミニ過キスシテ金圓ヲ借受ケサル前發覺シタルハ未遂犯ナリ又例ハ金圓貸借証書ヲ偽造シ之ヲ裁判所ニ訴ヘ義務ノ執行ヲ請求シタル時ハ如何此場合ニ於テ未タ其訴ニ付キ裁判アラサル前ニ發覺シタルハ未遂犯ナリトス

(第四十七回)

第四節 私印私書ヲ偽造スル罪

本節ノ罪ハ官文書偽造ノ罪ト其旨同一ナリ而シテ前節ハ官印偽造ト官文書偽造トヲ二節ニ區別シタルモ本節ハ私印偽造ト私書偽造トヲ同一節中ニ置ケリ是レ其規定ス可キ場合ノ少キト刑ノ殆ト同一ナルヲ以テナリ殊ニ私印ニ關スル事ヲ規定セシハ止タ二百八條アルノミ我國ノ法律ハ此ニ官私ヲ分チタルモ官私ニ對スル偽造罪ハ其性質同一ニシテ何レモ概ネ詐欺取財ヲ爲スノ方法ナレハ官私ノ區別ヲ爲スヲ要セサルナリ然ルニ之ヲ區別シタルモノハ蓋シ刑ノ輕重ヲ異ニスルノ故ナラン

本節ノ罪ヲ構成スルニモ亦前節ノ罪ト同ク三條件ヲ要ス

第一 信實ニ違フ事

第二 害意アル事

第三 損害ヲ生スル事又ハ生シ能フ事

(第二百七條)



以上ノ條件ニ付テハ已ニ前講ニ説明セシヲ以テ此ニ害意ノ專ニ付  
 キ一例ヲ舉ルニ止メシテハ此ニ醫師ノ証書ヲ偽造シ人ヲ毒殺ス  
 ルノ目的ヲ以テ藥舖ヨリ毒藥ヲ購求シ之ヲ人ニ吞マシメタルハ  
 證書偽書ト毒殺トノ二罪俱發ヲ以テ論ス可キヤ否ヤ又例ヘハ茲ニ  
 化學家アリ舍密術ヲ施サンカ爲メ劇藥ヲ買ハント欲スルモ醫師ノ  
 證書ナケレハ之ヲ買フ能ハス因テ其證書ヲ偽造シ劇藥ヲ買フタル  
 如キハ如何若シ證書ナクシテ劇藥ヲ買フタルハ違警罪ナリ劇藥  
 ヲ買ハシカ爲メ證書ヲ偽造シタルハ即チ劇藥ヲ求メントスルノ目  
 的ヲ達センカ爲メノ方法ニシテ害意アルニ非ス然ルニ之ヲ罰セン  
 カ其目的ニ於テハ害意ナキモ止マ其方法ノ同一ナル故ヲ以テ第一  
 例ノ如キ惡ムヘキモノト同一ニ偽造罪ニ問ハサルヲ得ス是レ甚ダ  
 不權衡ナリ之ヲ罰セザラシカ夫ノ惡ムヘキ第一例ノ如キモ偽造ノ

點ハ罰スルヲ得サル可シ然ラハ之ヲ處スル如何第一例ノ如キ人ヲ  
 殺ス爲メ購求シタル者ハ害意アルヲ以テ無論罰ス可シ第二例ノ如  
 キハ罰ス可キニ非ス斯ク差違アルモノハ其方法ノ異ナルニアラス  
 畢竟害意アルト否ヤトニ因テナリ是レ私印私書ヲ偽造スルモ必ス  
 夫ノ三原素ヲ具備セサル可テサル所以ナリ  
 我刑法ハ偽造文書ノ原素ヲ記載セサルヲ以テ其原素ノ有無ニ拘ハ  
 ラス之ヲ罰スルカ如シ唯リ此原素ノ事ヲ掲クサルノミナラス偽造  
 ノ方法ヲモ明言セス故ニ他人ノ名義ヲ用ヒ其人ノ筆蹟ニ肖サル所  
 ノ書簡ヲ作ル如キモ猶偽造罪ヲ以テ罰スルカ如シト雖モ假令他人  
 ノ名義ヲ用ヒテ書スルモ害意ナキハ偽造罪ヲ以テ論ス可キモノ  
 ニ非サルナリ

第二百八條 他人ノ私印ヲ偽造シテ使用シタル者ハ

(第二百八條)



六月以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ他人ノ印影ヲ盜用シタル者ハ一等ヲ減ス

本條ノ他人トハ自己ヨリ對スル他人ニシテ親屬ヨリ對スル他人ニ非ス故ニ親屬ノ印ヲ偽造スルモ此中ニ包含シタルモノナリ然ルニ若シ自己ノ印ヲ偽造シタル時ハ如何我國ノ法ハ印ヲ造リタルキハ其印鑑ヲ區役所又ハ戶長役場ニ届ケ置ク可キモノナリト雖モ其印ノ外ハ決シテ造ルヲ得サルモノニ非ス故ニ此場合ハ唯其印鑑ト異ナルニ過キサルモノニシテ偽造罪ヲ以テ論ス可ラス若シ此偽造ヲ用ヒ他人ヨリ財物ヲ詐取シタルキハ其結果タル詐欺取財ヲ以テ問フ可キノミ

使用トハ如何ナル事ヲ云フカ白紙ニ印影ヲ押捺シタル如キハ未ダ以テ使用ト爲ス可ラス使用トハ他ノ目的ヲ達センカ爲メ其押捺シタル文書等ヲ以テ財物ヲ詐取シタル如キヲ云フ可シ故ニ未ダ其目的ヲ達セサル前ニ於テ發覺シタルキハ未遂犯ナリ然レモ之ヲ裁判所ニ訴ヘ其證書ノ如ク判決アリタルキハ假令財物ヲ得サルモ既ニ裁判アリタル以上ハ其得タルト同一ノ効アルヲ以テ充分使用シタルモノト爲シ既遂犯ニ論ス可キナリ

然ラハ使用ハ凡テ罰セサルヲ得サルカ否ナ然ラス證書ヲ偽造シ之ヲ他ノ場合ニ使用シタルキ例ヘハ證書ノ偽造タルヲ知ルモ之ヲ受取り置サレハ不都合ナル場合即チ支配人ニ對シテ不都合ナルカ爲メ其證書印影ノ偽造ナルヲ知リテ之ヲ受取り又知テ渡シタル如キ雙方ノ合意ニ因テ授受シタルキハ使用ノ罪ニ問フ可ラサルナリ何



ントナレハ本例ノ如キハ雙方ノ承諾アルノミニシテ少シモ害意アラサレハナリ然ルニ本條ノ文章上ヨリ觀レハ此等ノ者モ罰スルカ如キハ單ニ使用シタル者云々トノミアルヲ以テナリ故ニ詐欺ノ所爲ヲ以テ使用シタル者云々ト解スレハ妥當ナラン

第二項 本項盜用ノ文字不明了ナレハ唯印ヲ盜ミ之ヲ押捺シタルノミニテハ盜用ニ非ス其盜捺シタル證書等ヲ使用シ他人ヨリ財物ヲ詐取シタルキニ於テ始メテ盜用ト云フヘキナリ

第二百九條 爲替手形其他裏書ヲ以テ賣買ス可キ証書若クハ金額ト交換ス可キ約定手形ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ輕懲役ニ處ス  
其手形証書ニ詐僞ノ裏書ヲ爲シテ行使シタル者亦

同シ

本條以下ハ私文書偽造ナリ爲替手形其他裏書ヲ以テ賣買ス可キ證書云々爲替手形ハ是迄行ハレタレハ裏書ヲ以テ賣買ス可キ證書ハ未タ我國ニ多カラス然レハ商業盛大ナルニ從テ此手形ノ流通次第ニ盛ナルニ至ルヘシ又金額ト交換ス可キ約定手形トハ何人ト雖レ其手形ヲ有スル者ハ其手形面ノ金額ヲ請取り得ヘキモノヲ云フ即チ無記名手形ノ如キ是ナリ

増減變換トハ文字ヲ増減改竄スルモノニシテ月日ヲ變シ或ハ姓名金額等ヲ増減變換スルヲ云フ而シテ此ニ使用ト云ハスシテ行使ノ文字ヲ用キタレハ其意味ニ至テハ異ナルナシ

本條ノ刑ハ他ニ比シテ其重キ所以ノモノハ蓋シ佛國ニ於テハ官文書私文書商業ノ文書トチ區別シ商業ヲ保護センカ爲メニ一等ヲ重

(第二百九條)



クセリ故ニ本條モ又之ニ倣ヒ商業上ノ信用ヲ厚フシ之ニ障害ナカ  
テシメンガ爲メナリ

第二項 若シ無効ノ裏書ヲ爲シタル時例ヘハ不能力者ノ爲シタル  
如ク詐僞ノ裏書ヲ爲シタル時ハ如何元來不能力者ハ裏書ヲ爲スモ  
無効ナルヲ以テ此場合モ無罪ナルカ如シト雖モ既ニ右ニ所謂ル三  
條件ヲ具備スル以上ハ之ヲ罰セサル可カラサルナリ

第二百十條 賣買貸借贈遺交換其他權利義務ニ關ス

ル證書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者ハ  
四月以上四年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓  
以下ノ罰金ヲ附加ス

其餘ノ私書ヲ偽造シ又ハ増減變換シテ行使シタル者

ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十  
圓以下ノ罰金ヲ附加ス

前條ニ於テ貨幣ノ代用ヲ爲ス所ノ商業上手形類ノ偽造罪ヲ定メ本  
條ニ於テハ商業ト民事トニ關スルヲ問ハス其他ノ私書ニ付テ規定  
シタリ而シテ本條第一項ハ直接ニシテ確實ニ人ノ資産ヲ害スヘキ  
書類ニシテ第二項ハ不定ノ利益ヲ表スル書類ニ係ル是レ前條ハ罰  
スルニ重罪ヲ以テシ本條ハ第一項ト第二項トニ付テ輕重ヲ爲シタ  
ル所以ナリ

其餘ノ私書トハ權利義務ニ關セサルモノヲ謂フ即チ手簡又ハ單一  
ナル受取書ノ如キ是レ也斯ル手簡ノ如キ權利義務ニ關セサルモノ  
ヲ偽造罪トシテ罰スルハ嚴ニ過クルカ如シト雖モ又大ニ危險ナル  
場合アルヲ以テ之ヲ罰セサルヘカラス但單ニ其餘ノ私書トアルヲ

(第二百十條)



以テ苟クモ私ノ文書ナレハ本項ニ問フヘシト爲スハ非ナリ宜シク  
 既ニ説キタル夫ノ三原素ニ注意スヘシ三原素具備セサレハ決シテ  
 罰スルヲ得サルナリ且ツ手簡ノ如キ權利義務ニ關セサルモノヲ  
 偽造スルハ危険ナルヲ以テ罰セサルヘカラサルノミナラス時ニ或  
 ハ第二項ノ場合ハ反テ第一項ノ場合ヨリモ其損害ノ大ナルヲアラ  
 ソ例ヘハ豪農富商ノ名義ヲ以テ些細ナル賣買ノ証書ヲ偽造スルモ  
 ノト同名義ヲ以テ其名譽ヲ害スヘキ手簡ヲ偽造スルモノトナ比較  
 セハ第二項ヲ犯シタル害ハ第一項ヨリ大ナルヲ明ラカナリ然レモ  
 這ハ例外ノ場合ヲ想像セタルモノニシテ法律ニ於テ規定シタル所  
 ハ一般ノ場合ニ就テ刑ニ輕重ノ別ヲナシタルモノナリ  
 本條ハ眞成ノ私文書偽造罪ナリ此場合ハ實際最モ多シ第二項ノ如  
 キ場合ハ略取誘拐ノ時ニ生スルヲアルヘシ例ヘハ惡漢一女子ヲ畧

取誘拐シテ其女子ノ手簡ヲ偽造シ之ヲ親誣ニ贈リ以テ假ヲ乞フノ  
 類是レナリ

文書偽造ヲ以テ繼續犯ナリト疑フモノアリト雖モ已ニ諸君ハ繼續  
 犯ノ如何ヲ了知セラレタルヲ以テ復タ毫モ此疑ヒナカルヘシ抑々  
 文書ヲ偽造シテ金圓ヲ詐取ル其文書一方ノ者ノ手ニ存スト雖モ是  
 レ唯犯罪ノ形跡ノ殘レルノミ文書偽造ハ偽造行使ノ點ヲ罰スルモ  
 ノナレハ偽造行使ノ所爲繼續スルニアラサルヨリハ繼續犯ニアラ  
 サルヲ明ラカナリ

第二百十一條 此節ニ記載シタル輕罪ヲ犯サントシ  
 テ未ダ遂ケサル者ハ未遂犯罪ノ例ニ照シテ處斷ス  
 偽造行使未遂ノヲニ付テハ前講已ニ悉シタレハ今復タ説カス

第二百十二條 此節ニ記載シタハ罪ヲ犯シ輕罪ノ刑

(第二百十一條)(第二百十二條)



ニ處スル者ハ六月以上二年以下ノ監視ニ附ス

本節ニ於テ脱漏シタルモノアリ偽造變造ニ加功セス唯其情ヲ知テ使用シタルモノ、刑是レ也草案ニハ之ヲ規定シタリシカ刑法ニ之ヲ脱セリ貨幣偽造官印偽造ノ節ニハ之ヲ規定シ官私ニ書偽造ノ節ニハ之レナシ夫レ偽造ノ情ヲ知テ使用シタル者ハ充分其目的ヲ達シタルモノナレト明文ナキヲ以テ之ヲ罰スルヲ得ス唯其生シタル結果即チ詐欺取財ニ於テ罰スヘキアルノミ  
情ヲ知テ使用シタル者ハ真成ノ目的ヲ達シタル者ナレハ重ク罰シテ可ナルカ如シト雖モ善ク其事狀ヲ觀察セハ偽造シテ行使スル者ヨリモ其罪ノ度輕シトナス何ントナレハ罪トナルヘキ原種ヲ製造シタルニ非サレハ也  
茲ニ少シク説明スヘキトアリ祖父母父母夫妻子孫及ヒ其配偶者又

ハ同居ノ兄弟姉妹互ニ盜ムモノハ其刑ヲ科セス詐欺取財ニ付テモ亦全シ然ルニ若シ偽造文書ノ方法ニ依リ右親屬間相詐欺取財セハ如何ン曰ク偽造文書ノ點ニ就テモ尙ホ罰スルヲ得ス何トナレハ既ニ其目的タル詐欺取財ヲ罰セスニテ唯リ其方法ノミヲ罰スルノ理ナクテハナリ尙ホ此點ハ他日詳テカスヘシ

第五節 免狀鑑札及ヒ疾病証書ヲ偽造スル罪

本節ノ罪ハ有形上偽造文書ノ罪ト異ナラサレモ其目的ニ至リテハ大ニ異ナルモノアリ文書偽書ハ其目的詐欺取財ニアレモ本節ノ罪ハ或ハ公務ヲ免レ或ハ警察ノ規則ヲ免レントスルニアリ乃チ其目的ヤ小ニ其害ヤ淺シ是レ其偽造文書罪ニシテ特ニ刑ヲ輕フスル所以ナリ但偽造文書ノ原案ヲ具備セサル可ラサルヲハ前ニ全シ

第二百十三條 官ノ免狀又ハ鑑札ヲ偽造シテ行使シ

(第二百十三條)



タル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以  
上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但官印ヲ偽造シ又ハ

盗用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シテ處斷ス

本條ハ官ノ免狀鑑札ヲ偽造シテ行使シタル罪ナリ此罪ヲ構成スル  
ニハ左ノ條件ヲ要ス

第一 信實ニ違フ事

第二 害意アル事

第三 損害ヲ生スル事又ハ生シ能フ事

害意トハ警察規則ノ目的ヲ齟齬セシメントスルニ在リ故ニ此事ナ  
キハ罰スルヲ得サルナリ佛蘭西ニ此例アリ一僧侶妾ヲ携へ旅行  
セリ其旅行免狀ニ僧侶ノ肩書アリシヲ以テ僧侶ニシテ妾ヲ携へ旅

行セハ通行上不都合アラントシテ慮リ僧侶ノ肩書ヲ削除シテ旅行セ  
リ因テ僧侶ハ變造ノ罪アリトシテ罰セラレタリ大審院モ此判決ヲ  
不當ト爲サ、リシカ學者ハ大ニ之ヲ非難シ此旅行免狀ヲ變造セシ  
ハ只其通行上ニ差支ナカラシメンカ爲メニシテ警察上ノ規則ヲ害  
スルコトナシ故ニ之ヲ罰スルハ不當ナリト論ズ、タリ後大審院モ終ニ  
其說ヲ採ルニ至レリ以テ害意ナケレハ罰スルコトヲ得サルヲ知ルヘ  
シ  
免狀トハ旅行免狀等ニシテ鑑札トハ銃獵鑑札等ノ如キモノヲ云フ  
此罪ヲ以テ罰スルハ至テ稀ナル可シ何ントナレハ官ノ免狀鑑札ヲ  
偽造スルニハ必ス官印ヲ偽造スルカ或ハ盗用セサレハ人ノ信用ヲ  
得ル能ハス故ニ之ヲ偽造シ或ハ盗用セハ數罪俱發一ノ重キ官印偽  
造ノ各本條ニ因テ處斷ス可キモノナレハナリ



第二百十四條 屬籍身分氏名ヲ詐稱シ其他詐僞ノ所爲ヲ以テ免狀鑑札ヲ受ケタル者ハ十五日以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

官吏情ヲ知テ其免狀鑑札ヲ下付シタル者ハ一等ヲ加フ

本條モ亦害意アルコトヲ必要トス例ヘハ二個ノ名前ヲ有スル者アリトセンニ區役所ニハ甲助ト届ケアリシニ平常ハ乙藏ト稱セリ若シ此者ニシテ乙藏ノ名前ヲ以テ鑑札ヲ請ケタル時ハ如何本條ヲ以テ論ス可キモノニ非ス何ントナレハ警察ノ目的ヲ齟齬セシ

ムルノ害意ナケレハナリ

第二百十五條 公務ヲ免カル可キ爲メ醫師ノ氏名ヲ用ヒ疾病ノ證書ヲ僞造シテ行使シタル者ハ自己ノ爲メニシ他人ノ爲メニスルヲ分タス一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス醫師囑託ヲ受ケテ其詐僞ノ証書ヲ造リタル者ハ一等ヲ加フ

本條ノ罪ハ僞造證書ノ一ナルニ此ニ之ヲ掲載シタルモノハ其罪屢生スルモノニシテ之ヲ僞造文書罪ニ問ヘハ重ク且ツ其場合ニ隨ヒ罰スルヲ得サルコトアルニ因レリ

公務トハ本編第三章第九節ニ掲載セル公務ヲ謂フ今被告トシテ民

(第二百十四條)(第二百十五條)



専裁判所ヨリ呼出テ受ケ醫師ノ疾病證書ヲ偽造シテ提供シ出頭セサルハ罰スヘキ乎我裁判断例ニ於テ之ヲ罰スルカ如シ然レモ是レ甚ダ不可ナリ公務トハ刑法上ニ制裁アルモノヲ謂フ其制裁ナキモノハ決シテ公務ト謂フヲ得ス故ニ民事裁判所ニ出ル如キハ公務ニアラス若シ出廷セサレハ缺席裁判アルニ過キス是ヲ以テ公務ヲ免レタルモノトシテ罰スヘカラサルナリ

今証人トシテ裁判所ヨリ呼出テ受ケタルモノアリ當日他行シタリトノ戸長ノ証明書ヲ偽造シ人ヲシテ提供セシメタリ本條ニハ疾病證書ノイテ規定シタルノミニテ斯ル場合ヲ豫想セス之ヲ官ノ文書トナサンカ未ダ妥當トナサス且ツ重罪ト爲ス程ノモノニアラス惟フニ法ノ脱漏ナラン但草案ニハ官吏ノ姓名ヲ用ヒテ貧窮證書不在證書其他故障證書ヲ偽造シテ行使シタル者トアリタリ予其删除セ

ラレタル所以ヲ知ラサルナリ

公務ヲ免ルヘキ爲メ醫師ニ囑託シテ疾病證書ヲ偽造セシメ行使シタル者ハ如何曰ク本條第一項ニ依テ處断スヘシ何トナレハ正犯ナレハナリ

## 第二百十六條 陸海軍ノ徴兵ヲ免カル可キ爲メ疾病

ノ證書ヲ偽造シテ行使シタル者及ヒ囑託ヲ受ケテ其詐僞ノ證書ヲ造リタル醫師ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

本條ニ於テ加等スル所以ハ兵役ニ就クハ國民タルノ一大義務ニシテ尋常公務ノ比ニアラス隨テ之ヲ免レタルモノハ尋常公務ヲ免レタルヨリ其害大ナリトス又甲ノ免レタル兵役ハ必ラス乙ノ身ニ及

(第二百十六條)

三百十七



フケヘレハ他人ヲ害スルモ鮮ナカラス特ニ我邦ノ如キハ徵兵ヲ嫌  
忌スル甚シキノ惡弊アレハ務メテ之ヲ除去セサル可ラス乃チ之ヲ  
免レタルモノハ嚴ニ處セサル可ラサルニ因ル

第二百十七條 免狀鑑札及ヒ疾病ノ證書ヲ増減變換

シテ行使シタル者ハ亦偽造ノ刑ニ同シ

本條ハ特ニ設定スルヲ要セス各々其偽造ノ本條ニ加フレハ則チ足  
レリ然ルレハ唯煩ヲ省クノミナラス官私文書偽造ノ條ト同一ニ出  
ルチ以テ体裁宜シキヲ得ンカ

本節モ亦偽造變造ニ與セスシテ唯情ヲ知テ行使シタル者ノ罪ヲ規  
定セス

(第四十八回)

第六節 偽證ノ罪

偽證ノ罪タルヤ自ラ重キ性質ヲ有ス是レ此罪ハ證人タルハ誓ニ背  
キ、裁判官ヲ欺キ、社會ヲ害スルノ三害アルヲ以テナリ然レモ其關係  
スル事柄ト場合トニ因リ輕重ノ別アリ

我刑法ハ偽證罪ヲ分テ被告人ヲ曲庇スル罪ト陷害スル罪トノ二個  
ト爲シ其刑ニ輕重ノ別ヲ立テタル所以ノモノハ蓋シ辯ヲ俟タスシ  
テ明カナリ則チ曲庇ノ罪ハ或ハ利益ヲ得テ犯スヲアレモ多クハ被  
告人ヲ憫諒スルノ餘リ其情義忍ヒサル所ヨリ犯スモノニシテ其意  
思惡ム可キノ點少ナク又被告人ニ害ナク社會ノ害モ亦大ナラス古  
語ニ曰ク不辜ヲ殺サンヨリハ寧ロ不經ニ失セヨト是レ其曲庇ノ罪  
ハ其刑輕キ所以ナリ反之陷害ノ罪ハ其意思實ニ惡ム可ク管ニ裁判

(第二百十七條)



ヲ誦語セシムルノミナラス被告人ヲ害シ隨テ社會ヲ害スルコト大ナリ是レ其此二罪ヲ分テ刑ニ輕重ノ別ヲ立テタル所以ナリ

法文ノ記スル所ハ偽證ノ定解未タ充分ナラス因テ先ツ偽證罪ニ係ル理論ニ述ヘ然ル後各條ニ進マント欲ス諸君請フ之ヲ記セヨ  
偽證罪ヲ構造スルニハ左ノ條件ヲ要ス

第一 惡意アル事

第二 眞實ニ違フ事

第三 害アル事

第一 惡意アルコト、人必スシモ誤リナキ能ハス是レ人類ノ免ル能ハサル所ニシテ目ニ見耳ニ聞クモ心此ニアラサレハ見テ視ニス聞テ聽ニス故ニ現場ノ事件モ其見聞ヲ誤ルヤ知ル可ラス是ヲ以テ裁判ニ於テ誤見ヲ陳述スルモ惡意ナキ以上ハ罪トナラサルナリ

第二 眞實ニ違フコト事實ニ違フコトヲ陳述シテ罪トナルコトハ其事實ヲ陳述スル者ノ必ス證人タルヲ要ス是ヲ以テ治罪法第百八十一條ノ證人トナルヲ得サル者偽證ヲ爲スモ罪トシ罰スルヲ得ス元來此等ノ者ノ言固ヨリ法律上信ス可ラサルモノトナシ唯其參考ニ供スルニ過キサルノミ然ルニ若シ此等ノ者偽テ宣誓ヲ爲シ或ハ裁判官誤テ宣誓ヲ爲サシメ證人トシタルニ此者被告人ヲ曲庇シ或ハ陷害シタル時ハ如何是レ大ニ議論アル所ナレト佛蘭西裁判例ニ依レハ之ヲ罰セリ其理由ハ一旦式ヲ行ヒ證人トナリタルキハ裁判官其言ヲ確信スルヲ得ヘシ且ツ充分事實ヲ陳述スルノ義務ヲ負フテ以テ偽證罪ヲ構造ス可キモノナリトセシナリ  
又證人自己ノ罪ヲ蔽ハンカ爲メ偽證ノ陳述ヲ爲スコトアリ例ハ茲ニ共犯者三人アリ甲乙ハ被告トシテ呼出テ受ケ其同謀者タル丙之



レカ證人トナリタルニ丙ハ己レノ罪ノ發覺セシテ怖レ甲乙ノ罪ヲ曲庇シタルハ如何是レ學者ノ噴々論スル所ニシテ佛蘭西大審院ノ判決ニ依レハ既ニ誓ヲ爲シタルハ信實ヲ陳述スヘキニ之ニ反シテ偽ヲ陳フルハ誓ニ背クノ罪アルニ因リ偽證ノ罪ヲ以テ論ス可キモノナリトセリ然ルニ學者頻リニ其非ヲ論シテ曰ク此者ハ破誓ノ罪ト信實ヲ偽リタル罪アレト本來此等ハ被告人タル可キモノナレハ誓ヲ爲シ自己ノ爲メニ證言セシムルヲ得サルハ法ノ原則ナリ加之被告人ナルモノハ信實ヲ陳述ス可キヲ誓フヘキモノニアラス況ンヤ自己ノ身ヲ保護スルハ人情ノ免レサル所ナルニ於テチヤ是ヲ以テ本問ノ如キハ罰スルヲ得サルモノナリト遂ニ大審院モ此說ノ至當ナルニ服シ前ト反對ノ裁判ヲ爲スニ至レリ故ニ偽證ノ罪アル場合ハ證人トナリ得ヘキ資格アルモノニシテ且ツ他人ノ爲

メニ證言シタルトキナラサル可ラス  
 證人タル者ノ信實ヲ僞ルトハ如何ナル事ヲ爲シタルト云フカ裁判所ニ於テ陳述ヲ爲サ、ルキ即チ能ク其事實ヲ知ルモ拒テ之ヲ陳述セサルキハ僞證罪ナルカ否ナ公務ヲ行フ事ヲ拒ム罪ニシテ僞證罪ニアラサルナリ  
 又中途ニテ陳述ヲ止メタル時ハ如何未タ罪トナラサルナリ然レモ前言ノ誤リナルヲ覺ルモ之ヲ改メサル時例ヘハ被告人ハ人ヲ殺セリト陳述シ後其被告人ノ人殺ヲ爲サ、ルヲ知ルモ其前言ヲ改メサルキハ罪アリトス又前後矛盾ナルヲ陳述シタルキモ罪ナリ何ントナレハ其陳述ノ前後何レカ信實ナラサレハナリ  
 然ルニ如何ナル僞言ト雖モ總テ僞證ノ罪ナリト云フニ非ス其事件ノ本接ニ關シタルキハ僞證ヲ以テ論スレモ附從ノ事件ニ對シ僞言



スルモ偽證ノ罪ヲ以テ論スルヲ得サルナリ附從トハ何ソヤ犯罪ノ時或ハ其場所ニ關シテ陳述スルカ如キヲ云フ但シ時及ヒ場所ノ犯罪ニ必要ナル條件トナル場合ハ此限ニアラス

第三 損害アルヲ要ス凡ソ惡意アリテ事實ニ違フヲ陳述スレハ必ス損害ヲ生スルモノナリ然レモ時トシテ損害ナキ事アリ例ヘハ証人ニシテ氏名ヲ詐リ或ハ身分ヲ詐リ被告人ノ親屬ニアラスト陳シ證人トナリタルモ如何是レ裁判官ノ心意ニ幾分カ障碍ヲ來スヲナキニ非サレモ其害タル僅少ナルヲ以テ罪トナラス是レ附從ノ事件ナレハナリ

又此ニ惡意ヲ以テ不實ノ事ヲ陳述シ半ハニシテ前言ヲ取消シタル時ハ如何罪トナラサルナリ何ントナレハ假令惡意不實ノ二原素ヲ備フルモ己ニ前言ヲ取消シタルモハ損害ノ生スルヲナク且ツ公益

上ヨリ見ルモ之ヲ罰セサルモハ悔悟心ヲ誘導スルノ利益アレハナ

又詐偽ノ陳述ヲ爲シ疾病ノ爲メ半途ニテ之ヲ止メ其詐偽ノ陳述ヲ取消サ、ル時ハ如何亦罪トナラサルナリ夫レ偽證ノ罪タルヤ一ヨリ十二至ル迄全ク陳述シ終リ其陳述ノ果シテ偽リナルモハ罪トナルモノニシテ後ニ取消スモハ罪トナラサルモノナリ然ルニ此場合ノ如キハ半途ニテ陳述ヲ停止シ未ダ全ク偽證罪完決セサルノミナラス疾病トナラサリシ時ハ或ハ自ラ之ヲ取消スヤモ知ル可ラス故ニ未ダ罪ト爲ヌヲ得サルナリ

第二百十八條 刑事ニ關スル證人トシテ裁判所ニ呼

出サレタル者被告人ヲ曲庇スル爲メ事實ヲ掩蔽シテ偽證ヲ爲シタル時ハ左ノ例ニ照シテ處斷ス

(第二百十八條)



一重罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ二月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

二輕罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

三違警罪ヲ曲庇スル爲メ偽證シタル者ハ違警罪ノ本條ニ依テ處斷ス

刑事ニ關スル證人ト特記シタルモノハ民事又ハ商事ノ証人ト區別セシカ爲メナリ此ニ被告人ヲ曲庇スル爲メトアルニ因リ惡意アル

トチ要スルハ明カナリ

事實ヲ掩蔽スルトハ事實ヲ隱スヲナレトモ隱スヲナクシテ曲庇スル爲メ陳述スル場合アリ例ヘハ被告人ハ人ヲ殺シタリ然レモ正當防衛ノ爲メニ殺セリト言フカ如キハ是レ事實ヲ掩蔽セスシテ曲庇シタルモノナリ故ニ掩蔽ノ文字不充ナルカ如シボアソナード先生起草案ニ因レハ誤謬アル事件ヲ確實ナリト言ヒ若クハ實事ヲ掩蔽シ其他總テ詐僞ノ方法ヲ以テ故ラニ偽證シタル時云々トアリタルヲ以テ其文意瞭然ナリ

第一 重罪ヲ曲庇スル爲メ云々重罪ニハ性質上重罪ナルアリ或ハ宥恕等ヲ以テ重罪ヲ輕罪トスルコトアリ然ルニ此ニ所謂ル重罪トハ性質上ノ重罪ナリヤ又結果ニ因テノ重罪ナリヤノ疑アリ然レモ此ニ云フ重罪トハ結果ニ因テノ重罪ニ非ラスシテ重罪裁判所ニ於テ



曲庇スル爲メ偽證シタル者ヲ云フナリ何ントナレハ若シ結果ニ因テ定ムルモノナリトセハ其被告人ノ身分ニ因テ重罪ヲ輕罪トナシ或ハ無罪トスル時ハ重罪事件ヲ曲庇シタル者アリト雖ヒ輕キ刑ニ處スルカ或ハ又罰スルヲ得サルニ至レハナリ是ヲ以テ重罪ヲ曲庇スルトハ重罪裁判所ニ於テ曲庇シタル者ナリト解ス可キナリ然ルニ重罪裁判所ノ重罪ト云フキハ豫審ニ於テ偽證スルキハ罰スルヲ得サルニ至ラン故ニ斯ク解釋スルモ亦十分ナラス原按ニ於テハ重罪公訴事件ニ付云々トアリタリキ

第二百十九條 偽證ノ爲メ被告人正當ノ刑ヲ免カシ

タル時ハ偽證者ノ刑前條ノ例ニ照シ各一等ヲ加フ

本條偽證ノ爲メ被告人正當ノ刑ヲ免レタルキハ社會ノ害大ナルカ故ニ其刑一等ヲ加フ

第二百二十條 被告人ヲ陷害スル爲メ偽證ヲ爲シタ

ル者ハ左ノ例ニ照シテ處斷ス

一重罪ニ陷ラシムル爲メ偽證シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

二輕罪ニ陷ラシムル爲メ偽證シタル者ハ六月以上二年以下ノ重禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

(第二百十九條)(第二百二十條)



三違警罪ニ陥ラシムル爲メ偽證シタル者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

重罪ニ陥ラシムル爲メトハ文章明瞭ナラス何ントナレハ重罪裁判所ニ於テ違警罪ニ陥ラシムル爲メ偽證スルヲアリ或ハ輕罪裁判所ニ於テ重罪ニ陥ラシムル爲メ偽證スルヲアリ然ルモ各其陷レントスル目的ニ因テ罪ヲ定ムルカ如キニ至レハナリ故ニ重罪被告事件ニ付云々ト解セサル可カラズ

第二百二十一條 偽證ノ爲メ被告人刑ニ處セラレタル後ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ偽証者ヲ其刑ニ反坐ス若シ反坐ノ刑前條ニ記載シタル偽證ノ刑

ヨリ輕キ時ハ前條ノ例ニ照シテ處斷ス

其刑期限内ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ現ニ經過シタル日數ニ照シテ反坐ノ刑期ヲ減スルヲ得但減シテ前條偽證ノ刑ヨリ降スヲ得ス

反坐トハ佛語之ヲタリヨント云ヒ報復ノ意ニシテ即チ偽證ヲ以テ罪ニ陥レタルモ其者ノ受ケタル刑ト同一ノ刑ヲ以テ之ニ報ユルヲナリ此刑古昔ハ盛ンニ行ハレタリ夫レ如此偽證者ヲシテ被陷害者ノ受ケタル刑ト同一ノ刑ニ處スルヲ以テ前條ノ如ク別ニ其刑ヲ定メスシテ可ナルカ如シ然レモ被陷害者ニシテ未タ刑ノ執行ヲ受ケサル前ニ於テ偽證ノ罪發覺シタル時ハ實際其害ノ生セサルニ猶ホ偽證者ヲ其刑ニ反坐スル如キハ甚々嚴ニ過クルヲ以テ前條ノ如



シ其刑ヲ別個ニ定メタルナリ

第二百二十二條 偽證ノ爲メ被告人死刑ニ處セラレタル時ハ反坐ノ刑一等ヲ減ス其未タ刑ヲ執行セサル前ニ於テ發覺シタル時ハ二等ヲ減ス

若シ被告人ヲ死ニ陥ル、ノ目的ヲ以テ偽證ヲ爲シタル時ハ死刑ニ反坐ス其未タ刑ヲ執行セサル前ニ於テ發覺シタル時ハ一等ヲ減ス

偽證ノ爲メ被告人死刑ニ處セラレタル時ハ偽證者ヲシテ死刑ニ處ス可キニ一等ヲ減スル所以ノモノハ裁判官ニ於テモ被告人ヲ裁判スルニ偽證者ノ偏言ノミヲ確信シタルノ過失アルニ偽證者ヲ死刑ニ反坐スルハ甚タ酷ナルヲ以テナリ

若シ被告人ヲ死刑ニ陥ル、ノ目的ヲ以テ偽證シタル時ハ謀殺ト同一ナルニ因リ其刑ヲ減等セサルナリ  
偽證ノ罪ニ付テハ尙ホ議論アルヲ以テ後回ニ之ヲ陳辨セン

(第四十九回)

前講ニ於テ第二百二十一條以下ノ講述未タ盡サ、ル所アリ故ニ本日尙之ヲ再講セン

(第二百二十一條) 偽證ノ爲メ被告人刑ニ處セラレタル時云々トハ宣告ヲ受ケタルルカ又ハ裁判確定シタルルカ或ハ刑ノ執行ヲ受ケタル時ヲ云フカ曰ク裁判確定ノ時ヲ云フモノナリ何ントナレハ宣告ノミニテ確定セサル間ハ偽證ノ結果生セサレハナリ然ルニ之ヲ次條ニ照スニ全ク刑ノ執行ヲ受ケタル時ヲ云フ如クナレ

(第二百二十二條)



凡既ニ裁判確定セハ刑ヲ執行ス可キ効力アルヲ以テ好シヤ執行ニ着手セサルモ執行ト同一ニ看做サ、ル可ラス

第二項 其刑期限内云々トハ偽證ノ爲メ刑ヲ受ケタル者ノ刑期中ニシテ其刑全ク終ラサル故ニ己ニ經過シタル刑期ヲ計算シテ反坐スルモノナリ然ルモハ偽證ノ爲メ有期徒刑三年ヲ經過シ或ハ無期徒刑二年ヲ經過セハ三年ノ有期徒刑二年ノ無期徒刑トナルカ如キ奇ナル刑ヲ生スルニ至ルヘシ或ヒトノ説ニ依レハ現ニ經過シタル日數ニ照シテ反坐ノ刑期ヲ減スルヲ得トアリ故ニ必スシモ經過シタル刑期迄減スルヲ要セス此場合ノ如キハ其刑ノ最短期ヨリ以下ニ降ス可カラスト此説從フヘカラス何ントナレハ期限アル刑ハ其長短期ニ處スルヲ得レ凡無期徒刑ニ至テハ最短期ナシ因テ有期徒刑ノ最長期十五年ニ一年ヲ加ヘ無期徒刑ノ最短期ヲ十六年トセンカ尙

不都合タルヲ免レス即チ第二百二十二條ニ死刑ニ陥レタル者未ダ執行セサル前ニ發覺シタルモハ二等ヲ減ストアリ死刑ニ二等ヲ減セハ有期徒刑トナルヲ以テ十二年以上十五年以下ノ刑トナル然ルモハ無期徒刑ニ陥レタル者ハ却テ重ク最短期ト雖モ十六年ノ刑ニ處セラル、カ如キ不權衡ヲ生スレハナリ

又他ノ説ニ從ヘハ己ニ經過シタル日數ヲ計算シテ其偽證者ノ刑ヲ減等スルモノナリト然レ凡此説ハ條律ノ反坐ノ刑期ヲ減ス云々ノ文字ニ適セサルノミナラス刑ヲ減等スルトセハ反坐ノ性質ニ反スルモノナリ何ントナレハ重罪ニハ剝奪公權監視等ノアルモノナルニ反坐ノ刑ヲ減等シテ輕罪ニ至レハ此附加刑ヲ科スルヲ得ス是亦從フ可ラサルノ説ナリ

然ラハ如何セハ可ナランカ法文ノ意ニ從ヒ偽證ノ爲メ刑ヲ受タタ



ル者ノ現ニ經過シタル刑期迄反坐ノ刑ヲ減ス可キモノニシテ決シテ其刑ノ性質ヲ變スルヲ得サルモノト解セサル可ラス然ルキハ三年ノ有期徒刑、二年ノ無期徒刑ノ如キ奇ナル刑ヲ生スレハ是レ已ムヲ得サルヲニシテ即チ立法者ノ茲ニ設ケタル例外ノ刑ナリ若シ他ノ刑ヲ科スルトセハ反坐ノ性質ヲ失フニ至ル可シ立法者ハ己ニ第五十三條ニ假出獄ナルモノヲ設ケタルニ因リ無期徒刑ニ處セラレタル者十五年ニ至テ假出獄ヲ許サレタルキハ其刑十五年ノ無期徒刑ニシテ即チ例外ナリ之レト同シク本條ノ反坐ノ刑ヲ減等シタルモ亦例外ナリト云フヘシ

斯クノ如クスルキハ重罪ノ反坐ノ刑モ其本質ヲ失フヲナク重罪ノ附加刑ヲ偽證者ニ附加シ終身公權ヲ剝奪スルヲ得故ニ右ニ述フル所ノ場合ハ夫ノ假出獄ノ時ト同ク立法者ノ設ケタル例外ナリト

看做サ、ル可テス

(第二百二十二條) 被告人偽證ノ爲メ死刑ニ處セラレタルキハ裁判官ニ於テモ偽證者ノ言ヲ信シタルユヘ幾分カ過失アルニ因リ偽證者ヲ死刑ニ反坐スルハ嚴ニ過クルヲ以テ一等ヲ減スルナリ未タ刑ヲ執行セサルキハ二等ヲ減スルトアルニ依リ本條ハ裁判確定ノ時ト執行ノ時トヲ區別シタルモノナリ

第二項 被告人ヲ死ニ陥ル、目的ヲ以テ偽證シタルキハ減等ノ限ニアラズ是レ最モ惡ムヘキ所行ニシテ謀殺ト云フモ敢テ不可ナケレハナリ

反坐ノ刑ハ獨リ我國ノミナラズ歐洲各國ノ法律大抵偽證ノ罪ニ之ヲ適用セリ此刑ハ「タリヨ」(報復)ノ意ヨリ出ツ「タリヨ」トハ同害相償フノ義ニシテ人ヲ殺ス者ハ之ヲ死刑ニ處シ物ヲ盜ム者ハ之カ

(第二百二十二條)



財産ヲ剝奪スルカ如キヲ云フ此刑ヲ設クルノ方法ハ甚タ便宜ナル  
 カ如クナレハ實際行フ能ハサルモノナリ例ヘハ毆打ノ如キ或ハ盜  
 罪ノ如キハ猶ホ少シク可ナレハ姦罪ノ如キハ到底「タリヨ」法ヲ施  
 スコ能ハス然ルニ唯偽證罪ニ至テハ全ク之ヲ行フコトヲ得ルカ如  
 キヲ以テ各國皆偽證罪ニノミ此方法ヲ用ヒタリ然ルニ偽證罪ト雖  
 亦猶ホ行フ能ハサルモノアリ國事犯ニ付テ偽證セハ國事犯ノ刑ノ  
 反坐即チ流刑或ハ禁獄ニ處セサル可ラス本來刑ノ區別ハ其罪ノ性  
 質ヨリ出デタルモノナリ然ルニ彼ノ偽證者ノ如キ破廉耻甚タシキ  
 者ヲシテ國事犯ノ刑ヲ受ケシムルハ甚タ其當ヲ得タルモノニ非サ  
 ルナリ

第二百二十三條 民事商事又ハ行政裁判ニ關シテ偽

證ヲ爲シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處  
 シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

前條迄ハ刑事ニ關スル偽證ナレハ本條ハ民事商事行政裁判ニ關ス  
 ル偽證ナリ是レ其害身体ニ及ハサルヲ以テ刑ヲ輕クシタルナリ

第二百二十四條 鑑定又ハ通事ノ爲メ裁判所ニ呼出  
 サレタル者偽證ノ陣述ヲ爲シタル時ハ前數條ニ記  
 載シタル偽證ノ例ニ照シテ處斷ス

鑑定人又ハ通事等モ宣誓スルモノ故詐僞ノ陣述ヲ爲シタル時ハ偽  
 證ノ罪ヲ受ケサル可ラス此ニ裁判所ニ呼出サレタル者云々トアレ  
 亦證人疾病ノ時ハ豫審判事其家ニ就キ審問ス故ニ呼出シタル者ニ  
 非ラス然レハ此等ノ場合ハ呼出狀ヲ發スルヲ以テ尙可ナレハ勅任

(第二百二十三條)(第二百二十四條)



官ニ對シテハ呼出狀ヲ發スルヲ得ス然レハ勅任官ハ第二百八十條  
| 第二百二十四條ノ罪ヲ犯スモ罰スルヲ得サルニ至ラン故ニ呼出ノ  
文字不都合ナリ因テ之ヲ鑑定又ハ通事ノ爲メ裁判所ヨリ依頼サレ  
タル者又ハ命セラレタル者詐僞ノ陳述云々ト改ムルヲ至當トスル  
ニ似タリ

第二百二十五條

賄賂其他ノ方法ヲ以テ人ニ囑託シ

テ僞證又ハ詐僞ノ鑑定通事ヲ爲サシメタル者ハ亦  
僞證ノ例ニ同シ

其他ノ方法トハ其意甚タ汎シト雖モ本條ハ元ト教唆ノ罪ト同シキ  
ヲ以テ教唆ノ元素ヲ具備セサル可ラス因テ教唆ノ如ク命令賄賂詐  
僞暴行等ヲ以テ僞證者ノ精神ニ勢力ヲ及ホシ其精神ヲ束縛スル所

爲アルヲ要ス若シ僞證ヲ一言依頼シタル時ハ如何未タ以テ教唆ト  
云フ可カラサルニ因リ本條ノ罪ト爲スヲ得ス何ントナレハ未タ其  
精神ニ勢力ヲ及ホサレハナリ

本條ハ教唆ト同シキニ因リ其結果モ亦同キヲ要ス故ニ僞證ヲ承諾  
スルモ裁判所ニ於テ實事ヲ陳ヘタル時ハ罪トナラス本條ノ罪トナ  
ルニハ必ス其效唆ノ結果ヲ生シタル時ナラサル可カラス故ニ第百  
八條ノ規則ヲ此ニ適用スルヲ得ルモノナリ

又僞證ノ依頼ヲ受ケタル者其僞言タルヲ知ラス眞實ノコナリト信  
シ法廷ニ於テ證言シタルモハ僞證罪トナラス唯其本人タル教唆者  
即チ囑託者罪アルノミニテ其囑託サンタル者ハ罪トナルコトナシ面  
シテ其囑託者タル本人ハ純粹ノ正犯ナリ

被告人他ニ囑託シテ僞證セシメタル時ハ如何被告人自ラ僞言ヲ陳

(第二百二十五條)



フルハ辯護權ノ中ニ入ルヲ以テ罪トナラサレヒ人ヲシテ爲サシメタル時ハ罪アリトス何トナレハ人ヲシテ僞言ヲ爲サシメタルモノハ辯護權以外ノ事タレハナリ

茲ニ親屬ノ本條ノ罪ヲ犯スモ尙罰スルカ如シ原案ニハ本條及ヒ第二百十八條ニ親屬ノ此罪ヲ犯スルハ之ヲ論セストアリタレハ之ヲ删除セリ蓋シ親屬ハ證人トナラザルノ故ヲ以テ删除セシモノナラシ然レハ是レ當ラサルカ如シ何ントナレハ若シ此明文ナキハ親屬ノ僞テ證人トナリタルハ又ハ裁判官ノ誤リヨリ證人ト爲シタル時僞證セハ之ヲ罰セサル可ラサルニ至レハナリ夫ノ犯人ヲ藏匿スル罪ノ如キモ尙犯人ノ親族ナルハ其罪ヲ論セス然ルニ唯僞證ノ場合ニ於テ之ヲ罰スルハ權衡ヲ得タルモノニ非ス故ニ原按ノ如ク親屬ニ係ルハ其罪ヲ論セサルノ明文アリタシ

## 第二百二十六條 此節ニ記載シタル罪ヲ犯シタル者

其事件ノ裁判宣告ニ至ラサル前ニ於テ自首シタル時ハ本刑ヲ免ス

本條ハ自首ノ例外ナリ何ントナレハ自首ハ本來一等又ハ二等ヲ減スルノミナルニ之ヲ全免スレハナリ是レ自首ヲ誘導シ無辜ヲ罰セサラシメンコトヲ欲シテナリ而シテ此自首モ亦總則ノ原則ニ從フ可キモノナレハ其僞證ノ未タ發覺セサル間ニ於テセサレハ不可ナリ若シ僞證シテ未タ裁判宣告ニ至ラサルノ間前言ノ誤リナルコトヲ述ヘ之ヲ取消シタルハ如何此時ハ僞證罪ヲ以テ論スルヲ得ス何ントナレハ自ラ取消スルハ害ノ生スルコトナケレハナリ

## 第七節 度量衡ヲ僞造スル罪

(第二百二十六條)



度量衡ニ關スル規則ハ我國既ニ充分ニ備ハリ官ノ許可ヲ得タル者ニアラサレハ其製造販賣ヲ爲スヲ得ス故ニ許可ヲ得スシテ之ヲ製造シ又ハ之ヲ販賣スル者ヲ罰セサレハ度量衡ノ規則モ畫餅ニ屬スルニ至ラン是レ本節ノ設アル所以ナリ

第二百二十七條 度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シテ販賣

シタル者ハ二年以上五年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス但官ノ記號印章ヲ偽造シ又ハ盜用シタル時ハ偽造官印ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

度量衡ヲ變造スルトハ量目又ハ重量ヲ變シタル如キヲ云フナリ此ニ販賣トアルヲ以テ若シ之ヲ贈與シ又自ラ使用シタルモノハ罪ト

ナラス然レモ之ヲ使用シテ利ヲ得タルキハ詐欺取財ヲ以テ論ス可キノミ故ニ偽造變造シテ使用シタル者云々ノ文字ヲ加フレハ完全ナランカ

第二百二十八條 偽造變造ノ情ヲ知テ其度量衡ヲ販

賣シタル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ減ス

販賣シタル者云々若シ販賣スルニ至ラス只店頭ニ並列シタル時ハ如何ノ罪トナラス又未遂犯ニモ非サルナリ販賣トハ購求者ト賣主ト契約ヲ爲シタル時ヲ云フモノニシテ店頭ニ並列スル如キハ其危険ナキニアラサレモ本條ノ販賣ノ文字ヨリ解釋シ來ルキハ之ヲ罰スルヲ得サルナリ

第二百二十九條 商買農工定規ヲ増減シタル度量衡

(第二百二十七條)(第二百二十八條)(第二百二十九條) 三百四十五



ヲ所有シタル者ハ一月以上三月以下ノ重禁錮ニ處  
シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

若シ其度量衡ヲ使用シテ利ヲ得タル者ハ詐欺取財  
ヲ以テ論ス

本條ニ偽造變造ト云ハスシテ定規ヲ増減スルノ文字ヲ用ヒタルハ  
我國近時度量衡ノ改正アリテ尙ホ舊器ヲ存ス而ノ其存在スルモノ  
ハ官之ヲ檢シタレト尙ホ未タ遺漏ナシトセス之ヲ偽造或ハ變造ト  
稱スルヲ得サルヲ以テ定規ノ文字ヲ用ヒタルモノナリ  
商賈農工ニシテ定規ヲ増減シタル度量衡ヲ其職業場或ハ店等ニ於  
テ所有スルキハ之ヲ使用スルノ危險アルヲ以テ本條ヲ設ケタルモ  
ノナレトモ本條ハ單ニ所有トアルニ因リ或ハ其職業場ニ非サル別宅

ニ置クカ又ハ博物館等へ出品シ置クモ所有權アルキハ罰セサル可  
ラサルノ不都合アリ故ニ其職業場ニ於テ所有スル者云々トセハ如  
何ン

又法文ニハ所有トアルニ因リ假令其職業場ニ現有スルモ已レノ所  
有物ニ非ラスシテ借用物ナルキハ罪ナキニ似タリ故ニ所有ノ文字  
ハ到底多少ノ困難ヲ免レサルカ如シ

本條ノ刑ハ少シク重キニ過クルカ如シ何ントナレハ彈藥ヲ私ニ所  
有スル者ハ危險大ナレトモ其刑僅ニ罰金ニ止マレリ然ルニ本條ノ刑  
ハ重禁錮ニ至レハナリ

第二項ハ疑トシ生シ易キノ法文ナリ元來不正ノ度量衡ヲ使用シテ  
利ヲ得タル時ハ本項ノ明言ヲ待タスシテ理論上詐欺取財ヲ以テ問  
フ可キモノニシテ其商賈農工タルト何人タルトヲ問ハス然ルニ本



項故ラニ之ヲ明言スルニ因リ商賈農工ノ外ハ假令使用シテ利益ヲ得タル者アルモ罪ナキカ如キ反對ノ解釋法ヲ下サ、ルヲ得サルニ至レハナリ

第二百三十條 人ノ囑託ヲ受ケテ度量衡ヲ偽造シ又ハ變造シタル者ハ其囑託シタル犯人ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ス

本條ハ解釋ニ因マサルヲ得ス何ントナレハ人ノ囑託ヲ受ケ偽造變造シタル時ハ直ニ罪トナレニ第二百二十七條ノ自ラ偽造シタル者ハ之ヲ販賣セサレハ罪トナラサレハナリ而シテ又囑託ヲ受ケタル者ハ其囑託ヲ爲シタル犯人ノ刑ニ照シ各一等ヲ減ストアレニ其囑託者ニシテ之ヲ販賣セサレハ罪トナラサルニ如何シテ一等ヲ減ス

ル乎決シテ能ハサルヲナリ又囑託者之ヲ販賣セスシテ破毀シタルトハ囑託ヲ受ケタル者ノ罪ハ既ニ成立シタレニ囑託者ハ未ダ罪トナラサルカ如キ奇ナル場合ヲ生スルニ至ル可シ

(第五十回)

第八節 身分ヲ詐稱スル罪

本節以下ハ甚タ簡易ニシテ議論ヲ生スヘキノ點少ナシ因テ單簡ニ講說セン

身分ヲ詐稱スルコトノ罪トナルハ警察上ノ處分ヲ誤ラシムルヲ以テナリ元來此罪ハ道德ニ背戾スルコト僅少ニシテ社會ヲ害スルコト殆ト無シト雖ニ警察ノ取締上ヨリ之ヲ罰スルモノナリ又身分ヲ詐稱スルハ多ク他ノ罪ヲ犯サントスル豫備トナルモノナレニ本節ノ罪

(第二百三十條)



ハ傲慢心ヨリ出ツ或ハ他ノ罪ヲ犯スノ目的ヨリ出ツルヲアリト雖  
凡其事未タ他ノ罪域ニ進マサル場合ヲ規定シタルモノニシテ他ノ  
罪トハ少シモ關係スル所ナキナリ

第二百三十一條 官署ニ對シ文書又ハ言語ヲ以テ其  
屬籍身分氏名年齢職業ヲ詐稱シタル者ハ二圓以上  
二十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ノ罪ハ官署ニ對シテ詐稱スルニ限ルモノニシニ人民相互ニ身  
分ヲ詐稱スルハ止マ虚言タルニ過キサレハ之ヲ罰セサルナリ

第二百三十二條 官職位階ヲ詐稱シ又ハ官ノ服飾徽  
章若クハ内外國ノ勳章ヲ僭用シタル者ハ十五日以  
上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ

罰金ヲ附加ス

本條ノ罪ハ前條ノ罪ヨリ一步進ミタルモノナレモ稍重キヲ覺ユル  
ニ過キス凡ソ僭用トハ用ユ可キ權ナシシテ用ヰタル者ヲ云フ僭用  
シテ罪トナルハ如何ナル場合ナルカ今人民自己ノ家屋内ニ在テ官  
服ヲ着シ勳章ヲ佩用スル如キハ本條ノ所謂僭用ト云フ可キカ否ナ  
本條ノ僭用トハ公然僭用シタル者ヲ指スモノニシテ如此ハ公然ノ  
僭用ニ非サルヲ以テ罪トナラサルナリ法文上公然ノ文字ナキヲ以  
テ如此場合モ罰スル如クナレ凡各人家ニ在テ如何ナル衣服ヲ着シ  
勳章ヲ佩用スレハトテ毫モ人ヲ害スルコトナクハ假令法文ニ公然  
ノ文字ナキモ理論上公然僭用シタル時ノミヲ罰スルモノト爲サ、  
ル可ラス

第九節 公撰ノ投票ヲ偽造スル罪

(第二百三十一條)(第二百三十二條)



本節ノ犯罪ノ性質タルヤ政治上ニ關係ヲ及ホスモノニシテ國事犯ナリ何ントナレハ其害ノ波及スル所社會ノ構成權ニ影響ヲ來スカ故ナリ

公選トハ政治上ニ關スル投票ヲ指スモノニシテ夫ノ人民カ村内ニ於テ總代ヲ撰擧スル如キ或ハ公撰ノ如クナレモ決シテ然ラス是レ其一村内ノ私事ニシテ他村ニ對シテハ公撰ト云フヲ得ス故ニ是等ハ本節ヲ以テ問フヘキモノニアラサルナリ故ニ本節ノ罪ハ必ス社會ノ政治上ニ關スル投票ノ時ニ限ルモノナリ

第二百三十三條 公選ノ投票ヲ偽造シ又ハ其數ヲ増減シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ二圓以上二十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

増減トハ投票ノ數ヲ抜キ差シスルコトニシテ其意廣ク且ツ此罪ヤ本來重キモノナリ何ントナレハ人民代議士ヲ撰ムニ其人物ノ適セサル者僥倖ヲ以テ當撰トナルカ如キ不幸ヲ來セハナリ

第二百三十四條 賄賂ヲ以テ投票ヲ爲サシメ又ハ賄賂ヲ受ケテ投票ヲ爲シタル者ハ二月以上二年以下ノ輕禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

賄賂トハ唯金錢財物ノミニ限ラス凡テ利益ヲ以テ人ニ陷ハシムルモノヲ總稱スルノ語ナリ此罪ハ前條ニ比スレハ反テ輕キモノナリ何ントナレハ前條ハ全ク偽リノ投票ニシテ本條ハ全ク無キモノニアラス只賄賂ヲ以テ其意ヲ變セシメタルニ過キス又或ハ其撰ム所

(第二百三十三條)(第二百三十四條)



意ニ適シタルヤモ亦計リ知ル可カラサレハナリ

第二百三十五條

投票ヲ檢査シ及ヒ其數ヲ計算スル

者其投票ヲ偽造シ又ハ増減シタル時ハ六月以上三

年以下ノ輕禁錮ニ處シ四圓以上四十圓以下ノ罰金

ヲ附加ス

本條ハ其罪重シ何ントナレハ投票ヲ檢査シ又ハ其數ヲ計算スル者  
ハ犯シ易ク從テ其害大ナレハナリ

第二百三十六條

調書ヲ造リ投票ノ結局ヲ報告スル

者其數ヲ増減シ其他詐偽ノ所爲アル時ハ一年以上

五年以下ノ輕禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰

金ヲ附加ス

本條ハ投票ノ効果ヲ報告スル者其數ヲ増減シタルノ罪ナリ凡ソ投  
票ノ効果ハ結局ニ至リ生スルモノナリ然ルニ其投票ノ調書ヲ造リ  
之ヲ報スル者ニシテ詐偽ノ所爲アレハ報告者ハ重大ナル責任ニ  
背キタルノミナラス社會ノ害モ亦大ナリ是レ本條ノ刑重キ所以ナ  
リ

増減トハ一ヲ去リニヲ入ル、如キチ云フ然ルニ投票ヲ増減セスシ  
テ其數ヲ詐稱シタルトハ如何結局ニ至リ惡結果ヲ生スルハ實際ニ  
増減シタルト同一ナルニ因リ本條ニ問フ可キモノナリ

人ヲ撰擧シタル後偽造ノ投票發覺シタルトハ其撰擧ハ無効ナルヤ  
否ヤ己ニ撰擧ヲ爲シタル後投票ノ數僅ニ一二ノ増減アルヲ以テ其  
撰擧ヲ無効ニセハ大ニ煩雜ナレトモ之ヲ無効トモサレハ人民ノ撰擧

(第二百三十五條)(第二百三十六條)



ノ意ニ反スルニ至ルヲ以テ已ムヲ得サルナリ  
 佛國ノ法律ハ現場ニ於テ發覺シタル時即チ現行犯ニ非サレハ罰セ  
 ス是レ其投票ハ現場ニ非サレハ實ニ其有効無効ノ證據ヲ擧クルニ  
 難ク且ツ黨派ノ情狀ニヨリ大ニ危險ヲ來スアレハナリ佛國ニハ  
 數黨派アリ互ニ自黨ノ勢力ヲ撰擧ノ多數ニ占メンコトヲ望ミ競フテ  
 投票スルコト恰モ沸クカ如ク狂スルカ如シ故ニ些少ノ瑕瑾アルカ好  
 シヤ瑕瑾ナキモ常ニ他黨ノ投票ヲ無効ニ歸セシメントスルハ勢ノ  
 已ムヲ得サル所ニシテ法律上之ヲ無効ト爲スカ如キコトノ規定アラ  
 ハ互ニ其有効無効ヲ争ヒ遂ニ底止スル所ヲ知ラサルニ至ラン是ヲ  
 以テ偽造投票ハ現行犯ノミヲ罰シ後日ニ至テ發覺スルモ其投票ヲ  
 無効ト爲サ、ルナリ

### 第五章 健康ヲ害スル罪

本章ノ罪ハ公衆ノ健康ヲ害スル場合ヲ云フモノニシテ一私人ノ健  
 康ヲ害シタル時ヲ云フモノニ非サルナリ

#### 第一節 阿片烟ニ關スル罪

本節ノ罪ハ本邦ノ法律ニノミ規定アル所ナリ阿片ハ其味美ナルヨ  
 リ人々之ヲ吸食シ其健康ニ大害ヲ來スハ已ニ支那ニ於テ實見スル  
 所ナリ本邦ハ夙ニ此物品ノ販賣及ヒ吸食ヲ禁シテ此害ヲ防禦セリ  
 是レ罪ノ性質ヨリモ其刑重キ所以ナリ阿片トハ藥用品ニ非ス吸食  
 ニ供スルモノヲ云フ何ントナレハ藥用阿片ハ官ノ特許ヲ得ハ之ヲ  
 販賣スルヲ得ヘキモノナレハナリ

#### 第二百三十七條 阿片烟ヲ輸入シ及ヒ製造シ又ハ之

ヲ販賣シタル者ハ有期徒刑ニ處ス

販賣トハ職業トシテ賣捌クノ謂ヒナリ是ヲ以テ友人ニ讓與スル如

(第二百三十七條)



キハ本條ノ罪ニアラサルナリ何ントナレハ本條ノ販賣トハ輸入及  
ヒ製造ニ對スルモノニシテ賣捌クノ意ナレハナリ然レハ他ノ物品  
ト交換シタル時ハ如何交換トハ物品ヲ以テ爲スモノナリト雖モ其  
利益ヲ得ルノ目的タルヤ販賣ト異ナル所ナシ故ニ賣捌ノ方法ヲ以  
テ交換シタル時ハ即チ本條ノ罪ナリ元來刑法ハ比附援引シテ其意  
味ヲ擴張スルハ最モ禁スル所ナレモ此場合ハ其意義ヲ擴張シテ比  
附援引シタルニ非ラス販賣ノ精神ニ付キ適用スルモノナリ何ント  
ナレハ交換モ亦販賣ノ一種ナレハナリ

第二百三十八條 阿片烟ヲ吸食スルノ器具ヲ輸入シ  
及ヒ製造シ又ハ之ヲ販賣シタル者ハ輕懲役ニ處ス  
器具ハ附從ノ物品ニシテ又自ラ製シ得ヘキヲ以テ之ヲ輸入シ製造  
スル者其罪前條ヨリ輕シ

第二百三十九條 稅關官吏情ヲ知テ阿片烟及ヒ其器  
具ヲ輸入セシメタル者ハ前二條ノ刑ニ照シ各一等  
ヲ加フ

本條ハ稅關官吏ノ阿片ヲ輸入スル情ヲ知テ輸入セシメ之ヲ停止セ  
サル場合ニシテ其職務ヲ執行スルキ之ヲ犯スヲ要ス故ニ稅關官吏  
輸入者ト相謀テ輸入セシムルト雖モ職務ヲ行ハサル時ニ當テ此罪  
ヲ犯スキハ平人ト同シク論シ本條ヲ以テ問フヘキニアラサルナリ

第二百四十條 阿片烟ヲ吸食スル爲メ房屋ヲ給與シ  
テ利ヲ圖ル者ハ輕懲役ニ處ス  
人ヲ引誘シテ阿片烟ヲ吸食セシメタル者亦同シ

人或ハ曰ク本條ハ房屋ヲ給與シ利ヲ圖リタルキノミ罰スルノ條ニ  
(第二百三十八條)(第二百三十九條)(第二百四十條) 三百五十九



シテ假令房屋ヲ給スルモ利ヲ圖ラサルキハ罪トシ論スルヲ得サルナリト是レ決シテ然ラス本條ハ房屋ヲ給與スルヲ職業トシ常ニ吸食セシムル爲メニ備フル者ヲ罰スルノ條ナリ故ニ今阿片ヲ吸食スルニ當テ偶然他ノ家ヲ借り吸食シテ金圓ヲ與ヘタルキノ如キ其房屋ヲ貸シタル者ハ本條ノ罪ニアラスシテ第二百四十一條ノ從犯ナリ何ントナレハ罪ヲ犯スニ容易ナラシメタルヲ以テナリ若シ夫レ職業ノ如ク爲スキハ人ヲ誘引シテ吸食セシムルノ恐レアルヲ以テ本條ヲ特設シタルモノナリ故ニ吸食所ヲ備ヘ職業ノ如クスル者ハ偶マ利ヲ得サルキト雖モ本條ニ問ハサル可ラス法律ノ精神モ亦如此ナルコトハ草按註解ニ因テ明了ナリ

第二百四十一條 阿片烟ヲ吸食シタル者ハ二年以上三年以下ノ重禁錮ニ處ス

本條ハ講說ヲ俟タスシテ明了ナリ

第二百四十二條 阿片烟及ヒ吸食ノ器具ヲ所有シ又ハ受寄シタル者ハ一月以上一年以下ノ重禁錮ニ處ス

所有ノ文字注意セサル可ラス他人ノ所有物ヲ借用シ之ヲ所持スルモ所有ニアラス又受寄ニモアラサルユヘ罪トナラス然レモ是亦危険ナリ故ニ所持云々トセハ如何ン

第二節 飲料ノ淨水ヲ汚穢スル罪

飲用水ハ最モ人ノ健康ニ關係ヲ及ホスモノ故ニ本節ニ於テ之ヲ保護セリ

第二百四十三條 人ノ飲料ニ供スル淨水ヲ汚穢シ因

(第二百四十一條)(第二百四十二條)(第二百四十三條) 三百六十一



テ之ヲ用フルヲ能ハサルニ至ラシメタル者ハ十日以上一月以下ノ重禁錮ニ處シ二圓以上五圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ハ有意犯ナルヲ以テ故意ナキ所爲ハ罰セス草按ニハ故意ノ文字アリタレモ第七十七條ニ罪ヲ犯スノ意ナキ所爲ハ之ヲ論セストアルニ因リ故意ノ文字ヲ刪除セシト雖モ本條ノ如キハ之ヲ揭ケサレハ其有意犯タルヤ無意犯タルヤ判然區別スルヲ得サルナリ

第二百四十四條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ用ヒテ水質ヲ變シ又ハ腐敗セシメタル者ハ一月以上一年加スノ重禁錮ニ處シ三圓以上三十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條モ用ヒテノ文字ヨリ思考シ來ラハ有意犯ナルヲ明カナリ是ヲ以テ故意ノ文字ハ別段必要トセサルナリ

第二百四十五條 前條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ殴打創傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

本條ハ人ヲ殺スノ意ナキ場合ニシテ人ヲ疾病又ハ死ニ致スハ偶然ノ結果ナリ若シ人ヲ殺スノ目的ヲ以テ前條ノ罪ヲ犯シタルトキハ殴打創傷ニ問フ可キモノニ非ス毒殺ノ條ニ問フ可キモノナリ

### 第三節 傳染病豫防規則ニ關スル罪

本節ノ罪ハ特別規則ニ關スルモノナリ其特別規則ニ背キタル時ハ本節ノ刑ヲ適用スルモノニシテ本節ハ其刑ノミヲ規定シ其違背ノ

(第二百四十四條)(第二百四十五條)



方法細目ハ傳染病豫防規則ニ讓レリ

第二百四十六條 傳染病豫防ノ爲メ設ケタル規則ニ

違背シテ入港ノ船舶ヨリ上陸シ又ハ物品ヲ陸地ニ

運搬シタル者ハ一月以上一年以下ノ輕禁錮ニ處シ

又ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ノ罪ハ道徳ニ反スルノ點少シト雖ヒ社會ニ害ヲ及ホスヤ甚ク  
大ナリ故ニ外國ノ法律ハ其刑大ニ重シ我刑法ハ少シク輕キニ過ク  
ルカ如シ而シテ本條ハ無意犯ニシテ偶然規則ニ違背シタル時ト雖  
凡之ヲ罰ス故ニ有意犯ノ法條ニハ故意ノ文字ヲ掲ケサレハ本條ノ  
如キ無意犯ノ場合ト容易ニ區別シ難シ

第二百四十七條 船長自ラ前條ノ罪ヲ犯シ又ハ人ノ

犯スヲ知テ制セサル者ハ前條ノ刑ニ一等ヲ加フ

本條ハ船長トシテ責任重キカ故ニ一等ヲ加ヘタルナリ又人ノ犯ス  
ヲ制セサレハトテ之ヲ罪トシ論スルハ理ニ適セサルカ如シト雖凡  
船中ニ在テハ船長全權ヲ有スルカ故ニ從テ犯罪ヲ制止スルノ任  
レハナリ

第二百四十八條 傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シ

テ流行地方ヨリ他處ニ出タル者ハ十五日以上六月

以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ十圓以上百圓以下ノ罰金

ニ處ス

本條ハ内地ノ傳染病規則ニ違反シタル者ヲ罰スルモノニシテ已ニ  
内地ニ流行スルヲ以テ其刑前條ノ如ク外國或ハ遠地ヨリ入港スル

(第二百四十六條)(第二百四十七條)(第二百四十八條) 三百六十五



第二百四十九條 獸類ノ傳染病流行ノ際豫防規則ニ違背シテ獸類ヲ他處ニ出シタル者ハ十一日以上二月以下ノ輕禁錮ニ處シ又ハ五圓以上五十圓以下ノ罰金ニ處ス

此節ニ記スル所ノ刑禁錮又ハ罰金トアリ是レ其罪ノ結果ノ大小ヲ量リ裁判官ニ於テ其一ヲ撰テ科スルモノニ一時ニ体刑ト罰金トノ兩様ヲ科スルコト得サルナリ如此定メタル所以ノモノハ元來本節ノ罪無意犯ニシテ其意ノ有無ヲ問ハサルヲ以テ全ク犯スノ意ナク且ツ害ノ生セサルキハ憫諒ス可キニ因リ此場合ハ体刑ヲ加ヘスシテ罰金ニ處センカ爲メナリ

#### 第四節 危害品及健康ヲ害ス可キ物品製造ノ

##### 規則ニ關スル罪

本節ノ罪モ亦特別規則ニ關スルモノニシテ其刑ノミナ此ニ規定セリ

第二百五十條 官許ヲ得スシテ危害ヲ生ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ二十圓以上二百圓以下ノ罰金ニ處ス  
若シ健康ヲ害ス可キ物品ノ製造所ヲ創設シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

本條モ無意犯ナリ危害ヲ生スヘキ物品トハ其意漠トシテ何物ヲ指シタルカ實ニ知ル可ラス唯裁判官ノ危害ト認ムルト否ヤトニ因テ

(第二百四十九條)(第二百五十條)



或ハ罰シ或ハ罰セサルノミ故ニ官許ヲ得スシテ些少ノ危害ヲ生ス可キ物品ノ製造所ヲ創設スト雖モ罰スルコトアルヘシ然レモ既ニ官許ヲ得スシテトアル以上ハ法律ヲ以テ官許ヲ要スルコトヲ定メタルモノニ非サレハ假令ヒ其物品實ニ危害ヲ生スルニモモヨ本條ノ問フ所ニアラサルヘシ

佛國ニ於テハ官許ヲ要スル製造ヲ左ノ三段ニ區別セリ

第一 健康ニ害アル製造所即チ人ノ健康ニ害アル惡水惡烟若クハ臭氣惡質ノ蒸氣ヲ發出スル製造所是ナリ

第二 危險ナル製造所即チ火藥硝石及ヒ瓦斯又ハ火災ヲ生シ易キ危害ヲ生ス可キ製造所是ナリ某國ニテハ金屬鑄造所及ヒ若干馬力ノ蒸氣器械ヲ用フル製造所ヲモ此部ニ加ヘタリ

第三 他人ノ迷惑ヲ生スヘキ製造所即チ塵埃若クハ薪石炭ノ煙又

ハ鳴響等ヲ發スルニ因テ人ノ妨害ヲ爲スカ如キ製造所是ナリ

### 第二百五十一條 官許ヲ得テ前條ニ記載シタル製造

所ヲ創設スト雖モ危害ヲ豫防シ健康ヲ保護スル規

則ニ違背シタル者ハ前條ノ例ニ照シ各一等ヲ減ス

本條ハ別ニ規則アルコトヲ認メタルモノニシテ若シ規則ナキハ罪トナラス

### 第二百五十二條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病死

傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ

從テ處斷ス

本節ノ罪ハ元來無意犯ニシテ人ヲ殺シ又ハ創傷スル目的ヲ以テ犯シタルニ非サルカ故ニ過失殺傷ニ問ヘトモ若シ人ヲ殺傷スルノ目

(第二百五十一條)(第二百五十二條)



的ヲ以テ犯シタルキハ謀殺罪ナリ

第五節 健康ヲ害ス可キ飲食物及ヒ藥劑ヲ販賣スル罪

第二百五十三條 人ノ健康ヲ害ス可キ物品ヲ飲食物ニ混和シテ販賣シタル者ハ三圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ有意犯ナリ故ニ飲食物ニ混和スルモ偶然混和シタルキハ罪トナラス而シテ其健康ヲ害スル物品ナルト否ヤトハ鑑定人ヲメ鑑定セシムルモノナリト雖モ裁判官ハ必スシモ此鑑定ニ從ハサル可ラサルニ非ス

茲ニ混和物アル情ヲ知リテ販賣シタル者ノイテ規定セサルハ是レ

蓋シ脱漏ナラソカ

第二百五十四條 規則ニ違背シテ毒藥劇藥ヲ販賣シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

毒藥劇藥ノ解并ニ其種類ハ藥品取扱規則ニアツテ就テ看ル可シ

第二百五十五條 前二條ノ罪ヲ犯シ因テ人ヲ疾病又ハ死ニ致シタル者ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

本條モ第二百五十二條ト名ク人ヲ害スルノ意ヲキ時ニ適用スルノ條ニシテ若シ意アリテ犯シタルキハ本條ニ適用スルヲ得サルナリ

第六節 私ニ醫業ヲ爲スノ罪

醫業ヲ爲スニハ必ス官許ヲ受クルヲ要スルモノハ完全ナル醫術ヲ  
(第二百五十三條)(第二百五十四條)(第二百五十五條) 三百七十一



施行シ社會公衆ノ生命ヲ安康ニ保持セントスルノ度ニ出テタルモノナリ若シ官許ヲ得タル醫師ニシテ治療ノ方法ヲ誤リ人ヲ死傷ニ致シタル若キハ人事ノ防キ得可キニ非ラス故ニ法律ハ唯人事ノ防キ得可キヲ即チ官許ヲ受サル者ノ醫業ヲ爲スヲ禁シタルノミ

第二百五十六條 官許ヲ得スシテ醫業ヲ爲シタル者ハ十圓以上百圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ハ唯官許ヲ受サルノ故ヲ以テ罰スルナリ

第二百五十七條 前條ノ犯人治療ノ方法ヲ誤リ因テ人ヲ死傷ニ致シタル時ハ過失殺傷ノ各本條ニ照シ重キニ從テ處斷ス

本條ハ前條ヨリ起リタルモノニシテ治療ノ方法ヲ誤ルハ過失ニ出

ツルヲ以テ過失殺傷ニ問フモノナリ本條ニヨレハ官許ヲ得タル醫師ハ如何ナル過誤アルモ決シテ罪トナラサルカ如クナレハ決シテ然ラス官許ノ醫師治療ノ方法ヲ誤ルキハ其罪ヲ問ハサレモ若シ過失アルキハ過失殺傷ヲ以テ論スルハ勿論ナリ

(第五十一回)

### 第六章 風俗ヲ害スル罪

本章ニ規定スル所ノ罪種々アリ猥褻ノ罪賭博ノ罪及ヒ神佛ニ對スル不敬ノ罪是ナリ而シテ各其性質ヲ異ニセリ故ニ本章ノ表題ノミニ付テハ充分ノ解釋ヲ下スヲ得ス因テ各條ニ就テ講述セン

第二百五十八條 公然猥褻ノ所行ヲ爲シタル者ハ三十圓以上三十圓以下ノ罰金ニ處ス

(第二百五十六條)(第二百五十七條)(第二百五十八條)



本條ハ公然猥褻ノ所行ヲ爲ス者ヲ罰スルノ條ナリ其之ヲ罰スル所以ノモノハ其所行實ニ醜體ヲ顯ハシ人ノ見ルニ忍ヒサル所ニシテ大ニ社會淳良ノ風儀ヲ害スルヲ以テナリ然レモ是レ固ト人類ノ自然ニ出テ免ル能ハサルノ弊ナルヲ以テ公然此所行ヲ爲シタルモ非サレハ罰セサルナリ又公然之ヲ爲スト雖モ有形上ニ現出セサルモハ社會ノ風儀ヲ害スルヲ大ナラサルヲ以テ罰セス故ニ公然猥褻ノ事ヲ語ルモ罪トナラサルナリ而シテ此所行ヲ爲ス者ハ罪トナレモ被害者ハ罪トナラサルナリ又此所行ハ唯男女ノ間ノミニ行ハルニ非ス一人一已ト雖モ亦爲シ能ハサルニ非ス公然トハ其意廣漠トシテ指ス所ヲ確知スルヲ得スト雖モ蓋シ往來ノ如キ人ノ容易ニ看得ル所ヲ云フモノナラン然ラハ深夜人ノ通行ナキ往來ニ於テ猥褻ノ所行ヲ爲シタルモハ公然ト云フヲ得可キ乎

又室内ニ於テ此所行ヲ爲シ外ヨリ目撃セラレタル時ハ如何是レ亦公然ト云フ可キ乎未タ判然セサレモ草案ニハ公ノ場所又ハ公衆ノ目視シ得ヘキ場所云々トアリ此意ニ依ル時ハ明瞭ニシテ夜中ト雖モ道路ハ公ノ場所ナリ又室内ト雖モ公衆ノ目視シ得ル處ナレハ何モレ罪トナルモノナリ

又馬車或ハ瀛車中ニ於テ此所行ヲ爲シタル時ハ如何我國ニ於テハ未タ之レアラスト雖モ歐洲各國ニ於テハ其例多シ佛國大審院ノ判決ニヨレハ馬車又ハ蒸氣車ヲ一時買切リタル時ニ於テハ固ヨリ問フ所ニアラスト雖モ然ラスシテ誰人ヲ問ハス一般ニ乘込ミタル場合ハ公然ナリト判定セリ本條ニ云フ所ノ公然トハ夫ノ第四百四十一條ノ公然演說スル如キ場合ノ公然トハ其趣ヲ異ニス何ントナレハ公然深夜人ナキ所ニ於テ演說スルモ罪アリトスル如キハ當ラサレ



ハナリ是ヲ以テ觀レハ字面上ハ同シト雖モ其意ニ至テハ同シカラサルナリ

草案ニハ故意ヲ以テ公然猥褻ノ所行ヲ爲ス者云々トアリ本條ハ有意犯ニシテ此故意ノ文字最モ必要ナリ故ニ室内ニ於テ猥褻ノ所行ヲ爲シタルキ風ノ爲メニ簾ヲ吹上ラレ偶然猥褻ノ所行顯ハレタル如キハ故意ヲ以テ公然云々ト云フヲ得ス故ニ罪トナラサルナリ又學校其他劇場寄席或ハ茶屋等ノ如キモ人ノ出入セサルキ又ハ會席料理店ノ如キモ亦公然ニアラス然レモ數人打込ノ割烹店彼ノ京橋ノ松田屋ノ如キ處ニ於テ爲スキハ罪アリトス

第二百五十九條 風俗ヲ害スル冊子圖畫其他猥褻ノ物品ヲ公然陳列シ又ハ販賣シタル者ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

風俗ヲ害スル冊子圖畫トハ春畫又ハ劇シキ猥褻ノ事ヲ記シタル人情本ノ如キ是レナリ而シテ此猥褻ノ事タルト否ヤトハ裁判官ノ判定ニ任ス若シ綿密ニ之ヲ規定セハ法律自カラ猥褻ニ涉ルノ恐アレハナリ公然陳列スルトハ販賣スル爲メ又ハ人ニ觀セシムル爲メ店頭或ハ其他人ノ見易キ場所ニ陳列スルヲ云フ故ニ自家ノ奥室等ニ置ク如キハ人ノ目視シ得ル時ト雖モ罪トナラス唯公衆ノ目ニ觸レシムル爲メ故テニ陳列シタル者ヲ罰スルナリ

第二百六十條 賭場ヲ開張シテ利ヲ圖リ又ハ博徒ヲ招結シタル者ハ三月以上一年以下ノ重禁錮ニ處シ十圓以上百圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條以下三條ハ賭博ニ關スル罪ナリ此賭博ハ罪トナシテ論ス可キ

(第二百五十九條)(第二百六十條)



モノナルヤ否ヤノ點ニ付テハ學者間議論紛々トシテ未ダ一定セサルナリ惟フニ此事タル眞理ノ點ヨリ論スル時ハ決シテ罪トナシ問フヘキ事ニ非サルナリ何ントナレハ罪トナル可キ程ノ道德ヲ害セサレハナリ若シ道德ニ反スルモノトシテ罪アリトセハ偶生ノ利ヲ目的トセル商業ノ如キモ皆罰セサル可ラサルニ至ラン

然レモ一方ヨリ見レハ大ニ社會ヲ害スルモノナリ何ントナレハ唯一時ノ僥倖ヲ之レ冀ヒ偶生ノ利ヲ圖ルニ汲々トシテ精神ヲ此一方ニ傾ケ人民ハ怠惰ニ流レ産業ヲ勉ムルノ心ナク此事倍々盛ナルニ從ヒ社會ニ害毒ヲ生シ遂ニ邦家ノ衰微ヲ來スニ至レハナリ故ニ法律ヲ以テ之ヲ豫防セサル可ラス今之ヲ禁シ之ヲ罰スルモノハ全ク智力ヲ要セサル所ノ偶然ノ利ヲ圖ル賭博ノミニ限り夫ノ競馬玉突等ノ如キモノハ之ヲ禁セスト夫レ如此佛國ニ於テハ其議論一定

セリト雖モ我國ニ於テハ智力ヲ要スルト又全ク偶然ニ出ツルモノトナ論セス財物ヲ賭スル時ハ罰スルモル、如シ

賭場ヲ開張スルトハ自ラ主トナリ常ニ其坐ヲ構ヘテ賭博ヲ開クニシテ彼ノ所謂寺ヲ爲スト是ナリ又博徒ヲ培結スルトハ賭博者ヲ集メテ徒黨ヲ結フヲ云フ故ニ本條ハ賭博ヲ以テ平常職業トスル如キ者ヲ罰スルノ法條ナリ若シ利ヲ圖ラスシテ開張シタル時又ハ一時房屋ヲ給與シタル時或ハ招集ニ應シタル者ノ如キハ本條ノ罪ニアラスシテ次條ニ因テ罰スヘキモノナリ

第二百六十一條 財物ヲ賭シテ現ニ博奕ヲ爲シタル者ハ一月以上六月以下ノ重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス其情ヲ知テ房屋ヲ給與シ

(第二百六十一條)

三百七十九



タル者亦同シ俱飲食物ヲ賭スハ者ハ此限ニアラス  
賭博ノ器具財物其現場ニ在ル者ハ之ヲ沒收ス

財物ヲ賭シ云々抑ハ財物トハ金錢其他表服米穀ハ至ル迄總テ財產  
タル可キ物ヲ云フ現ニトハ理行犯ノ場合ヲ指シタルモノナリ若シ  
然ラサレハ其文意適セズ立法者現ニノ文字ヲ適用スル屢々ニシテ  
一定セス其意甚タ漠然タルカ如シ何ントナレハ第四百四條ニ於テ二人  
以上現ニ罪ヲ犯シ云々トアリ此現ニノ文字ハ現行犯ヲ指シタルニ  
非スシテ實際ニ犯シタルモノト云フノ意ナリ若シ本條モ亦現ニノ  
文字ヲ指シテ實際ニト云フノ意ニ解スルモノトセハ每條實際ナラ  
サルハナク因テ悉ク現ニノ文字ヲ加ヘサルヲ得ス以是觀之本條現  
ニノ文字現行犯ヲ指シタルモノナリ斯ク解シ來ラハ或ハ其當ヲ得  
サルカ如シト雖モ草案ニ於テハ現行ノ時トアリ又我舊律モ賭博罪

ハ現行犯ニアラサレハ其罪ヲ罰セサリシ故ニ其現行犯タルヤ明カ  
ナリトス然レモ現ニノ一字ヲ以テ此意ヲ含蓄セシムルハ少シク難  
キカ如シ

本條ハ財物ヲ賭スル者ヲ罰シ飲食物ヲ賭スル者ヲ罰セス飲食物ト  
ハ其意汎博ナルカ如ク又一方ヨリ見レハ其意狹隘ナリ今酒或ハ米  
穀數百石ヲ賭スル場合ハ如何尙ホ飲食物ナリトシテ之ヲ罰セスト  
セハ大ニ不都合ヲ生スヘシ因テ惟フニ飲食物トハ即時ニ消費スル  
物ヲ云フノ意ナリト解セサル可ラス

第二項 賭博ノ器具財物云々此賭博ノ器具トハ賭博ニ用サタル物  
品ヲ云フ故ニ賭博ニ用サタル物品ハ假令其現場ニ在ルモ沒收スル  
ヲ得ス例ヘハ夜中蠟燭ヲ點シテ賭博ヲ爲スモ其蠟燭ハ賭博ノ器具  
ニ非サルヲ以テ沒收スルヲ得サルナリ然ルニ或ル人ハ此蠟燭ヲ沒



収セサルヲ不當ナリト論シタル由ナレハ若シ之ヲ沒収スルトセハ其賭場ニ在ル疊建具等ヲモ沒収セサル可ラサルカ如キ奇怪ナルヲ生スルニ至ル可シ又財物トハ已ニ説明セシ如ク金錢貨幣米穀等ナリ

賭博ノ器具ハ犯罪ニ用キタル物件ナレハ之ヲ沒収スルコトハ已ニ總則ノ規定スル所ニシテ故ラニ此ニ之ヲ記載スルハ重複タルヲ免レサルカ如シト雖モ總則ノ沒収ハ其現場ニ在ルト否ヤトテ分タヌ沒収スルモノナレハ此賭博器具ノ沒収ハ現場ニ在ル物件ノミニ限レリ故ニ總則ノ沒収ノ意ヲ狹隘ニスル爲メ特ニ此ニ記載シタルモノナリ

又財物ハ犯罪ニ因テ得タル物件ト云フ可ラサルヲ以テ總則ヲ適用スルコトヲ得ス例ハ博徒各百圓宛ヲ持寄り賭博ヲ爲シ勝負ニ因テ

其金圓ニ差額ヲ生シタルハ犯罪ニ因テ得タル物件ノ名義ヲ附シ沒収スルコトヲ得レハ其差ナク各百圓ヲ維持シタル時ハ犯罪ニ因テ得タル物件ト云フヲ得ス然ルニ之ヲ沒収スルモノハ此點ニ付テハ總則ノ意ヲ擴メタルモノナリ

茲ニ一問題アリ博徒其得タル金錢ヲ懷中ニ藏メ置キタルキモ尙ホ之ヲ沒収シ得可キヤ如何現場ノ物件トハ其場ニ顯ハレタルモノ、ミチ指シ夫ノ懷中ニ包藏セル金錢ノ如キハ人ノ見得可キモノニ非サレハ現場ニ在ル物件ト云フヲ得ス已ニ物場ノ物件ニアラストセハ沒収ス可キモノニ非サルナリ佛國大審院ハ假令懷中ニ在ルモノ之ヲ以テ現ニ賭博ヲ爲シタルモノナレハ即チ現場ニ在ルモノナリトシテ之ヲ沒収セリ因テ大ニ學者ノ非難スル所トナレリ然レハ此等ノ事實ハ裁判官ノ認定ス可キコトニシテ發覺ノ際忽然懷中ニ藏メタ



ル如キハ現場ニ在ルモノトシテ没収スルモ可ナリ又債主權ヲ賭スル如キハ現場ニ在ラサルモノユヘ没収スルヲ得サルナリ

本條現行犯ノミヲ罰スルノ理如何此ニ所謂現行犯トハ現ニ行フハ發覺シタルモノニシテ此場合ノミヲ罰スル所以ハ已ニ論セシ如ク賭博ハ道德ニ反スルノ點甚タ少ク罪トシ論スルノ理薄弱ナルヲ以テ之ヲ罰スルハ已ニ立法者ノ憚ル所ナリ然レモ之ヲ罰セサルハ大ニ社會ヲ害スルニ因リ現行犯ノミヲ罰シテ非現行犯ハ罰セサルナリ若シ賭博ヲ爲スノ際巡查ニ認めラレ皆逃走シタルモ或ハ後ニ自首シタル時ハ如何現行中ニ發覺シタルモノナレハ尙ホ現行犯トセサル可ラス

第二百六十二條 財物ヲ醜集シ富籤ヲ以テ利益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者ハ一月以上六月以下ノ

重禁錮ニ處シ五圓以上五十圓以下ノ罰金ヲ附加ス

本條ニ財物ヲ醜集シ富籤ヲ以テ利益ヲ僥倖スルノ業ヲ興行シタル者云々トアリ是レ富ノ定解ナリ此富ナルモノハ種々ノ事件相集合シテ成ルモノニシテ今富ヲ興行セシカ爲メ富札ヲ作り之ヲ人ニ賣捌キタルモハ興行ト云フ可キ乎將タ抽籤ヲ爲シタル時ヲ興行ト云フ可キ乎其如何ヲ決センニハ富ノ性質ヲ探究セハ解得スルヲ得ヘシ夫レ富トハ財物ヲ害シ籤ヲ抽クニシテ富札ヲ賣捌ク事ヨリ其抽籤ヲ爲スニ至ル全体ノ間ヲ指シタルモノナリ故ニ其間ニ一步ヲ投スレハ罪トナルモノニシテ夫ノ札ヲ賣捌ク如キモ富ナリ全体ヲ爲シ終ルモ亦富ナリ故ニ此罪ハ悉ク既遂犯ニシテ未遂犯ナルモノナシ

此富ナル者ハ前條ノ罪ト異ナリ其札ヲ賣ル者ヲ罰シテ買フ者ヲ罰

(第二百六十二條)



セス元來之ヲ買フ者ハ其從犯トシテ罰スルモ可ナリ然ルニ買者ニ對シテ罪ナキハ畢竟賣者アルカ爲メ偶然買フ者アルニ至ル故ニ立法者ハ豫メ其根源ヲ防キタルモノナリ然レモ我國ニ於テハ買者ニ對スルモ之レカ制裁アルモノアリ彼ノ近來世上ニ盛ンナリシ西班牙無盡ノ如キハ己ニ其害波及シ每期殆ト五六万圓ノ金銀貨ヲ外出セリト故ニ其之ヲ買フ者ヲ禁シタリ

佛國ニモ此例アリ嘗テ伊太利ニ於テ大無盡ヲ興行シ爲メニ佛國ノ貨幣ハ伊太利ニ向テ外出セリ因テ佛政府ハ自ラ富ヲ爲シ人民ノ富ヲ爲スヲ禁シテ盛ニ之ト競争ヲ始メタリシカ千七百八十九年大革命以後之ヲ廢シ現今ハ政府ノ許可ヲ得サレハ富ヲ爲スヲ能ハサルモノトセリ故ニ貧民救助等ノ如キ有益ノ事ニ付テハ許可セリ是レ蓋シ良法ナリ

### 第二百六十三條 神祠佛堂墓所其他禮拜所ニ對シ公

然不敬ノ所爲アル者ハ二圓以上二十圓以下ノ罰金ニ處ス

若シ説教又ハ禮拜ヲ妨害シタル者ハ四圓以上四十圓以下ノ罰金ニ處ス

本條ノ罪ヲ規定スル所以ノモノハ元來神佛ニ對シテ敬ス可キ者ナリ然ルチ自分ノ尊敬セサル故ヲ以テ他人ノ尊敬ヲ妨害スルノ惡行ヲ爲シ信仰者ヲ害スルヲ以テ之ヲ罰ス此罪ハ重ニ道德ヲ害スルモノナリ

此ニ云フ對シテノ文字穩當ナラサルカ如シ第百十七條ノ天皇三后皇太子ニ對シ云々ノ文法ヨリ解釋シ來ラハ或ハ其現場ニアラサル

### (第二百六十三條)